

投映型フルカラープロジェクタ

ViewLight[®] MT1075J

ビューライト

取扱説明書

本機を安全にお使いいただくために
ご使用の前に必ずお読みください



- | | |
|-----------------------|---|
| 1. 添付品や名称を
確認する | 1 |
| 2. 設置と接続 | 2 |
| 3. 映像を投写する
(基本操作) | 3 |
| 4. 便利な機能 | 4 |
| 5. ビューワを使う | 5 |
| 6. オンスクリーン
メニュー | 6 |
| 7. 本体のお手入れ/
ランプの交換 | 7 |
| 8. 付録 | 8 |

はじめに

このたびは、NEC 投映型フルカラープロジェクタ MT1075J(以降「MT1075J本体」を「本機」と呼びます)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品は、NEC PC98-NXシリーズやDOS/V対応機(IBM PC/AT互換機)、Apple Macintoshなどに接続して、文字や図形をスクリーンに鮮明に投映するプロジェクタです。

本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用の前に、この取扱説明書(本書)をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお読みください。

本製品には「保証書」を添付しています。保証書は、お買い上げの販売店から必ずお受け取りのうえ、取扱説明書とともに、大切に保存してください。

本機は、日本国内向けモデルです。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。

この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ViewLight、ビューライト、AccuBlendは、NECビューテクノロジー株式会社の登録商標です。
- IBM、PC/ATは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Macintosh、PowerBookは、米国Apple Computer, Inc.の商標です。
- Microsoft、Windows、PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では(3)項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例

	△ 記号は注意(警告を含む)をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
	⊘ 記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。



警告

本機は日本国内専用です



国内では交流100ボルト以外
使用禁止

- 日本国内で使用する場合は交流100ボルトで使用してください。
添付の電源コードは国内使用専用です。
日本国外で本機を使用する場合は、電源コードの仕様を確認してください。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源コードを使用すれば、海外でも使用可能です。電源コードは必ず使用する国の規格・電源電圧に適合したものを使ってください。
詳細に関してはNECプロジェクタ・カスタマサポートセンターまでお問い合わせください。

電源コードの取り扱いは大切に



- 電源コードは大切に取扱ってください。
コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
 - ・添付されているもの以外の電源コードは使用しない
 - ・コードの上に重い物をのせない
 - ・コードをプロジェクタの下敷きにしない
 - ・コードの上を敷物などで覆わない
 - ・コードを傷つけない、加工しない
 - ・コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
 - ・コードを加熱しない

電源コードが傷んだら(芯線の露出・断線など)販売店に交換をご依頼ください。

故障したときは電源プラグを抜く



電源プラグを
コンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする場合やプロジェクタを落したり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災・感電の原因となります。販売店へ修理をご依頼ください。

水場や水にぬれるような所には置かない



水ぬれ禁止

- 次のような水にぬれるようなおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクタの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・雨天や降雪中、海岸や水辺で使用しない
 - ・風呂やシャワー室で使用しない
 - ・プロジェクタの上に花びん、植木鉢を置かない
 - ・プロジェクタの上にコップ、化粧品、薬品を置かない

万一プロジェクタの内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

警告

次のような所では使用しない



- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
 - ・暖房の近くや振動の多い所
 - ・湿気やほこりの多い場所
 - ・油煙や湯気の当たるような場所
 - ・調理台や加湿器のそば

内部に物を入れない



異物挿入禁止

- プロジェクタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。万一異物がプロジェクタ内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

キャビネットは絶対にあけない



分解禁止

- プロジェクタのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。また改造しないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご相談ください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。

プロジェクタのレンズをのぞかない



レンズをのぞかない

- プロジェクタのレンズをのぞかないでください。動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。

ランプ交換は電源を切ってから



電源プラグをコンセントから抜く

- ランプの交換は、電源を切り約90秒間待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約60分おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となります。詳細は130～132ページをご覧ください。

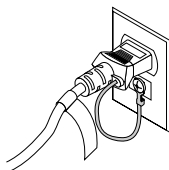
天吊りの設置について



- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置につきましては販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。

注意

機器のアースは確実にとってください



- 本機の電源プラグはアースつき2芯プラグです。機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。詳細は32ページをご覧ください。

ぬれた手で電源プラグに触れない



ぬれた手は危険

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない



- プロジェクタの通風孔をふさがないでください。またプロジェクタの下に紙や布などの柔らかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。プロジェクタを設置する場所は周囲から適当な空間(目安として10cm以上)あけてください。

動作中にレンズキャップをしない



- 動作中にレンズにふたをしないでください。ふたの部分が高温になり溶けることがあります。
- 動作中にレンズの前に金魚鉢、凸レンズ(虫眼鏡)などを置かないでください。火災の原因となることがあります。

移動するときは電源コードを抜く



電源プラグを
コンセントから抜く

- 移動させる場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認のうえ、行ってください。

持ち運ぶときはキャリングハンドルを持つ



- プロジェクタを持ち運ぶときはキャリングハンドルを持ってください。落としたりしてけがをするおそれがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く



電源プラグを
コンセントから抜く

- 長期間、プロジェクタをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は電源コードを抜く



電源プラグを
コンセントから抜く

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

投写中は排気口に触らない



- 投写中および投写終了直後は、排気口付近を触らないでください。排気口付近が高温になる場合があります、やけどの原因となることがあります。

注意

電池の取り扱いについて



- 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 - ・電池をショート、分解、火に入れたりしない
 - ・指定以外の電池は使用しない
 - ・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
 - ・電池を入れるときは、極性(＋と－の向き)に注意し、表示どおりに入れる

レーザーポインタのレーザー光源をのぞかない



レーザー光源を
のぞかない

- レーザーポインタのレーザー光源をのぞき込まないでください。また、レーザー光を人に向けしないでください。
レーザー光が目にあたると目を痛める原因となることがあります。
お子様には使用させないでください。

点検・工事について



内部の掃除を
販売店で

- 1年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。プロジェクタの内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の掃除費用につきましては販売店などにご相談ください。

お願い

●性能確保のため、次の点にご留意ください。

- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。
高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- 本機を長時間連続して使用される場合
 - ・本機を長時間にわたり連続して使用される場合は、[ファン高速モード]を「オン（チェックマークを付ける）」にしてください(▶ 109ページ)。
 - ・たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して(5時間/日または260日/年を超えて)使用する場合は、あらかじめ当社にご相談ください。
 - ・パソコンなどで同じ絵柄の静止画を長時間投写すると、その絵柄が画面に若干残りますが、しばらくすると消えます。これは液晶パネルの特性上発生するもので、故障ではありません。パソコン側でスクリーンセーバー機能をお使いになることをおすすめします。
- 本機は、設置角度 $\pm 75^{\circ}$ 以内で使用してください。
ただし、設置角度が上 $\pm 15^{\circ} \sim 75^{\circ}$ または下 $\pm 15^{\circ} \sim 75^{\circ}$ の範囲で使用した場合、ランプの寿命が最大約25%短くなります。
- スクリーンへの外光対策をしてください。
スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。
外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて
ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。
スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- 持ち運びについて
本体側面のキャリングハンドルを持って運んでください。
その際、レンズに傷が付かないように必ずレンズキャップを取り付けてください。また、振り回したりして、プロジェクタ本体に強い衝撃を与えないでください。
- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、レンズ面には手をふれないでください。
また、本機を使用されないときは、添付のレンズキャップをかぶせておいてください。
- 廃棄について
本体廃棄の際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

●ランプ取り扱い上の注意

- プロジェクタの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。
ランプは、衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより、大きな音をともなうて破裂したり、不点灯状態となることがあります。また、ランプが破裂や不点灯に至るまでの時間、条件には、ランプの個体差や使用条件によって差があり、本書に記してある指定の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。なお、指定の使用時間を超えてお使いになった場合は、ランプが破裂する可能性が高くなりますので、ランプ交換の指示が出た場合には、すみやかに新しいランプに交換してください。
- ランプ破裂時には、ランプハウス内にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部に含まれるガスがプロジェクタの通風孔から排出されることがあります。ランプ内部に使用されているガスには水銀が含まれていますので、破裂した場合は窓や扉をあけるなど十分に換気を行ってください。ガスを吸い込んだり、目に入ったりした場合には、すみやかに医師にご相談ください。
- ランプが破裂した場合には、プロジェクタ内部にガラスの破片が散乱している可能性があります。プロジェクタ内部の清掃、ランプの交換その他の修理について、必ずお買い上げの販売店またはNECプロジェクタ・カスタマサポートセンターに依頼し、お客様ご自身でプロジェクタ内部の清掃、ランプ交換を行わないでください。

●電源プラグを抜く際の注意

以下のような場合は電源プラグをコンセントから絶対に抜かないでください。

機器が故障するおそれがあります。

- 砂時計アイコンが表示されている
- 「しばらくお待ちください」というメッセージが表示されているとき(電源を切るとこのメッセージが表示されます)
- 電源を切ったあとのファンの回転中(ファンは約90秒間回転します)
- PCカードアクセスインジケータが点灯しているとき(ビューワ使用中)またはLAN使用中
フラッシュメモ리카ードやLANカード使用時はカードの内容が壊れるおそれがあります。

目次

はじめに	表紙裏
本機を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください	1
お願い	6
目次	8
本書の表記について	10

1. 添付品や名称を確認する 11

1-1. 特長	12
1-2. 添付品の確認	13
1-3. 本体各部の名称	14
1-4. リモコン各部の名称	18

2. 設置と接続 23

2-1. 設置と接続の流れ	24
2-2. スクリーンとプロジェクタを設置する	25
2-3. パソコンと接続する	26
2-4. RGBモニタと接続する	28
2-5. DVDプレーヤなどのAV機器と接続する	29
2-6. 書画カメラと接続する	31
2-7. 電源コードを接続する	32

3. 映像を投写する(基本操作) 33

3-1. 映像を投写する流れ	34
3-2. 本機の電源を入れる	35
3-3. 入力信号を選択する	37
3-4. 投写画面の位置と大きさを調整する	38
3-5. 台形歪みを調整する	41
3-6. 映像を自動調整する	43
3-7. 本機の音量を調整する	43
3-8. レーザーポインタを使う	44
3-9. 本機の電源を切る	45
3-10. あとのかたづけ	45

4. 便利な機能 47

4-1. 「プロジェクタモード」と「パソコンモード」の切り替え	48
4-2. 映像と音声を消去する	49
4-3. 動画を静止画にする	49
4-4. ポインタを表示／非表示／移動する	50
4-5. 映像を拡大する	51
4-6. 本機の操作説明を投写する	52
4-7. 自動で台形歪みを補正する(オートスクエアショット)	53
4-8. 市販のUSBマウスを使って操作する	55
4-9. 本機のリモコンでパソコンのマウス操作を行う	57
4-10. 投写画面に文字や図形を描く(チョークボード)	58
4-11. 本機のUSBハブ機能を使用する	61
4-12. USBメモリ、およびUSBメモリカードリーダーを使用する	62

5. ビューワを使う 63

5-1. ビューワでできること	64
5-2. フラッシュメモリカードヘデータを保存する	64
5-3. フラッシュメモリカードを本機にセットする	65
5-4. フラッシュメモリカードのデータを映す(ビューワ)	67
5-5. 本機で投写している画像を保存する(キャプチャ)	70
5-6. ファイル一覧画面で選択する(ファイル選択)	74

6. オンスクリーンメニュー 79

6-1. オンスクリーンメニューの基本操作	80
6-2. オンスクリーンメニュー一覧	85
6-3. 信号選択	87
6-4. 映像調整	90
6-5. 音声調整	91
6-6. 画像設定	91
6-7. ピクチャーマネージメント	96
6-8. 機器設定	98
6-9. ツール	123
6-10. ヘルプ	124
6-11. データリセット	126

7. 本体のお手入れ／ランプの交換127

7-1. フィルタの清掃	128
7-2. レンズの清掃	128
7-3. キャビネットの清掃	129
7-4. ランプとフィルタの交換	130

8. 付録133

HTTPを使用したブラウザによる操作	134
故障かな?と思ったら	136
インジケータ表示一覧表	139
投写距離とスクリーンサイズ	141
対応解像度一覧	143
外観図	144
RGB INPUT端子のピン配列と信号名	145
仕様	146
関連商品一覧	147
トラブルチェックシート	148
保証と修理サービス(必ずお読みください)	150
海外でご使用になる場合:トラベルケアのご紹介	151
索引	159
ビューライトクラブのご案内	裏表紙

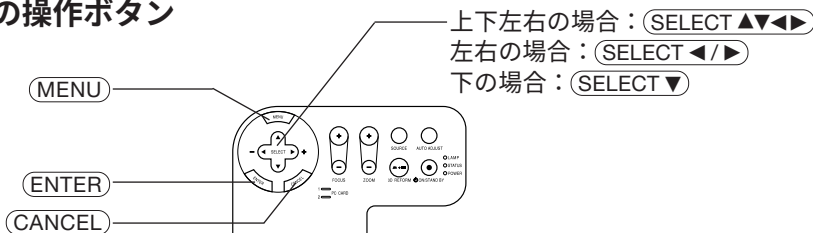
本書の表記について

マークの意味

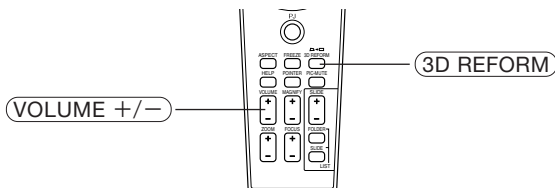
	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
	注意や制限事項を表しています。
	補足説明や役立つ情報を表しています。
	本書内の参照ページを表しています。

操作ボタンの表記例

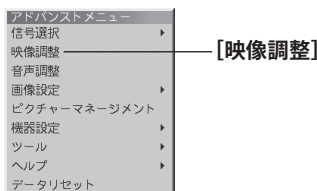
●本体の操作ボタン



●リモコンの操作ボタン



オンスクリーンメニュー項目の表記例



参考

- 本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

第 1 章

添付品や名称を確認する

.....

1-1. 特長	12
1-2. 添付品の確認	13
1-3. 本体各部の名称	14
1-4. リモコン各部の名称	18

1-1. 特長

●液晶方式の小型高輝度プロジェクタ

液晶方式を採用し、小型で、高輝度を実現しました。

●アドバンスド・アキュブレンド機能によりU-XGAまでの解像度に対応

XGA(1024×768ドット)にフル対応、NEC独自のアドバンスド・アキュブレンド機能によりU-XGA(1600×1200ドット)の入力信号までカバー。

●投写画面の台形歪みは、上下左右から補正可能

プロジェクタで投写した画面が台形に歪んだ場合でも、リモコン(オンスクリーンメニュー)を使って、上下左右の台形補正ができる“3Dリフォーム”機能を搭載。

●イメージセンサを使った各種調整機能

- ・オートフォーカス
投写面を検出し、ワンタッチでピントを合わせることができます。
- ・壁色補正
投写している壁面の色を検出し、スクリーンが設置されていないところでも見やすい色合いにワンタッチで補正することができます。
- ・オートスクエアショット
スクリーンの輪郭を検出し、スクリーンに収まるように投写画面を自動で補正することができます。

●DVI(デジタル)やBNCなどの豊富な入出力端子、ステレオスピーカ内蔵

アナログRGB、5芯のBNC、DVI(デジタル)、ビデオ、S-ビデオなど、豊富な入出力端子を装備しています(アナログRGBとBNCは、コンポーネント入力にも対応しています)。また、5ワット+5ワットのステレオスピーカを内蔵しており、高画質、高音質な視聴が行えます。

●特定色を調整&記憶できる、ピクチャーマネージメント機能

プレゼンテーションや映画など、映像ソースに応じた映像補正機能を搭載。5つの映像モードから選択できます。また、お客様が調整した状態を本体内のメモリに4つまで記憶できます。

●セキュリティやパスワードを設定して、他人の無断使用を防止

フラッシュメモリカードをプロテクトキーにして、無断で本機を使用できないようにすることができます。

また、パスワードを設定することにより、他人が勝手に本機の設定内容を変更できないようにします。

●無線LAN対応^(注1)

別売の無線LANカードを本体のPCカードスロットにセットすると、無線LANに対応したパソコンの画面を信号ケーブルを接続することなしに投写することができます。

(注1) MacintoshではHTTPサーバ機能とメール通知機能のみLAN環境で使用できます。

●プロジェクタだけでプレゼンテーションができるビューワ搭載

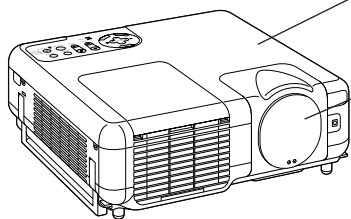
フラッシュメモリカード^(注2)に記録したプレゼンテーション資料(パソコンで作成)、デジタルカメラで撮影した画像のメモリカード再生^(注3)など、その場にパソコンがなくてもプレゼンテーションが行えます。

(注2) 市販のPCMCIA-Type 2(ATA仕様)のフラッシュメモリカードを使用してください。

(注3) 再生できないフラッシュメモリカードもあります。

1-2. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。



プロジェクタ(本機)

パソコンやDVDプレーヤなどを接続して、画面や映像を大きなスクリーンに映す機器です。

レンズキャップ(024F36881)

本機のレンズに装着し、移動時や保管時にレンズを保護します。

レンズキャップ用ヒモ(プッシュリベット付き) (024C05051) (024C04531)

レンズキャップを本機に取り付けるためのヒモです
(● 15ページ)。

リモコンケーブル(07N520019)



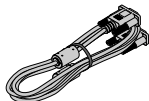
本機とリモコンをリモコンケーブルで接続すると、リモコンを本機に向けずにリモコン操作が行えます(● 21ページ)。

電源コード(アース付き)(07N080107)



AC100V(アース付き)と本機に接続します。

RGB信号ケーブル(ミニD-Sub 15ピン) (07N520032)



パソコンの画面をスクリーンに投写する場合に使用します
(● 26ページ)。

USBケーブル(07N520013)



本機とパソコンをUSBケーブルで接続すると、本機のリモコンでパソコンのマウス操作が行えます(● 57ページ)。
また、添付のCD-ROMに収録されているDynamic Image Utilityを使って、パソコンから本機を制御することができます。

クイックガイド(07N8P4511)

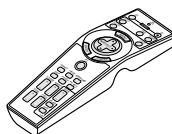
機器の接続、電源「ON」、投写画面の調整、操作ボタンの働きなど、基本的な操作方法をコンパクトにまとめて説明しています。

取扱説明書(本書)(07N8P4491)

本機の使いかた、安全のため守っていただきたいこと、保証とサービスなどについて記載しています。



リモコン(07N900363)



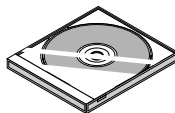
本機の電源の入／切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。
ご購入後はじめて使用するときは、添付の単3乾電池2本をセットしてください
(● 20ページ)。

単3乾電池(リモコン用)2本



添付のリモコンにセットします。

CD-ROM(07N950432)



ユーティリティソフトを収録しています。
内容については、添付のアプリケーションガイドをご覧ください。

アプリケーションガイド(07N8P1903)

添付のCD-ROMに収録されているソフトウェアについて記載しています。

保証書

プロジェクタの保証内容・条件を記載しています。

ビューライトクラブ申込書

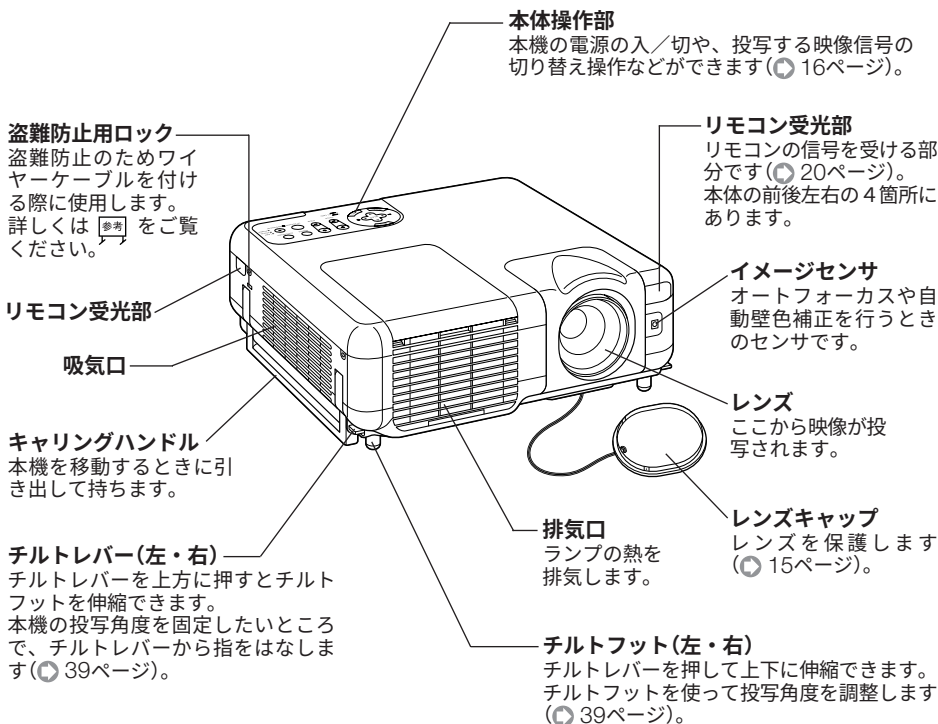
ビューライトクラブに入会していただくと、会員ならではのサービスが受けられます。
入会金・会費は無料です。



- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

1-3. 本体各部の名称

● 本体前面

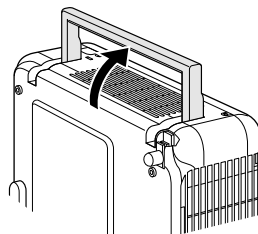


参考

- 本機を移動するときは、図のようにキャリングハンドルを起こし、キャリングハンドルを持って運びます。

注意

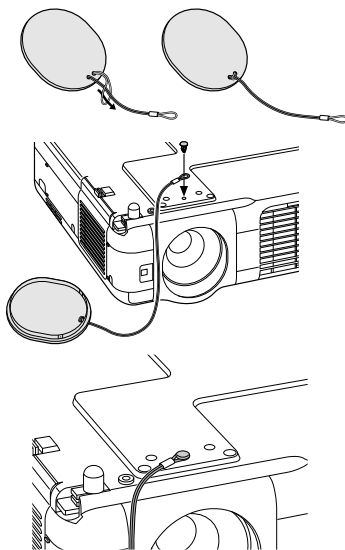
- 運ぶときはレンズ保護のためレンズキャップを付けてください。
- 側面を下にして立てたまま投写しないでください。故障の原因となることがあります。



- 盗難防止用ロックについて
- 盗難防止用ロックは、キーケーブルロック等のセキュリティワイヤーに対応しています。製品についてのお問い合わせ先は、以下のとおりです。

日本ポラデジタル株式会社 第3営業部
〒104-0032 東京都中央区八丁堀1丁目5番2号 はごろもビル
Tel : 03-3537-1070 Fax : 03-3537-1071

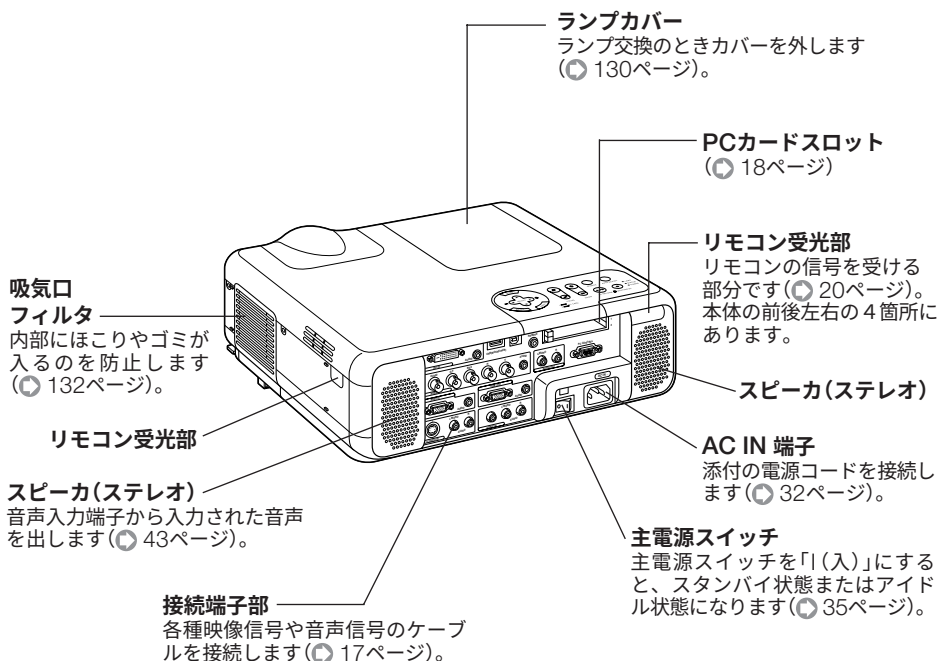
- レンズキャップの取り付けかた
 - ① 添付のレンズキャップ用ヒモを図の様にレンズキャップの穴に通す。
 - ② 添付のプッシュリベットで本体底面にあるレンズキャップ用ヒモ固定用穴に差し込む。



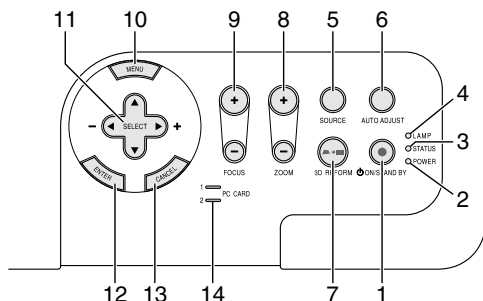
1

添付品や名称を確認する

本体背面



● 本体操作部



1 POWER (ON / STAND BY) ボタン

本機の電源を入／切(スタンバイ状態)します。
電源を入／切(スタンバイ状態)するときは、2秒以上押してください。

2 POWERインジケータ

電源が入っているときは緑色に点灯します(● 35ページ)。
電源が切れている(スタンバイ状態)ときはオレンジ色に点灯します。

3 STATUSインジケータ

本機の状態を表します。
本体キーロック中に操作ボタンを押したときや、本機に異常が発生したときに、点灯／点滅します。
詳しくは「インジケータ表示一覧表」(● 139ページ)をご覧ください。

4 LAMPインジケータ

ランプの交換時期がきたことやランプモードの状態(エコモード)をお知らせします(● 140ページ)。

5 (SOURCE) ボタン

RGB1、RGB2、DVI(デジタル)、ビデオ、Sビデオ、ビューワなどの入力を切り替えます。
短く押すと「入力信号リスト」を表示します。
また、1秒以上押し続けると次のように切り替わります。

→RGB1→RGB2→ビデオ→Sビデオ→DVI(デジタル)→ビューワ・・・

入力されていない信号は飛び越します(● 37ページ)。

6 (AUTO ADJUST) ボタン

RGB信号の画像を投写している場合に、最適な状態に自動調整します(● 43ページ)。
また、2秒以上押すと、オートフォーカスや自動壁色補正が作動します(● 40ページ)。

7 (3D REFORM) ボタン

上下左右方向の台形歪みを調整します(● 41ページ)。

8 (ZOOM +/-) ボタン

投写画面の大きさの微調整を行います(● 39ページ)。

9 (FOCUS +/-) ボタン

投写画面のピントを合わせます(● 40ページ)。

10 (MENU) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します(● 80ページ)。

11 (SELECT ▼▲▶▶) ボタン(音量調整ボタンを兼用)

- ・オンスクリーンメニューを表示しているときに (SELECT ▼▲▶▶) ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます(● 80ページ)。
- ・ポインタを表示しているときは、ポインタの移動や画面拡大の表示位置の調整に使用できます(● 50、51ページ)。
- ・オンスクリーンメニューやポインタなどを表示していないときは、(SELECT ▼▲▶▶) ボタンで音量の調整ができます(● 43ページ)。
- ・ビューワ表示中は、(SELECT ▼▲▶▶) ボタンでスライドを切り替えたりできます(● 69ページ)。

12 (ENTER) ボタン

オンスクリーンメニューを表示しているときに (ENTER) ボタンを押すと、項目を決定します(● 80ページ)。
各種調整・設定画面を表示しているときは、調整・設定値を確定してメニュー表示に戻ります。

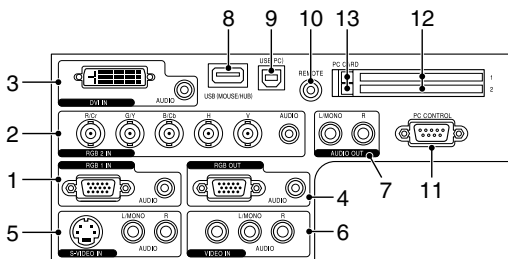
13 (CANCEL) ボタン

オンスクリーンメニューを表示しているときに (CANCEL) ボタンを押すと、メニューを閉じます。
各種調整・設定画面を表示しているときは、調整・設定値を調整・設定前の状態に戻してメニュー表示に戻ります。

14 PCカード(1、2)アクセスインジケータ

PCカードへのアクセス(データの読み込み／書き込み)中に点灯します(● 66ページ)。

接続端子部



1 RGB1入力端子(RGB 1 IN) (ミニD-Sub15ピン)

パソコンのアナログRGB出力端子と接続します(● 26ページ)。

音声入力端子(AUDIO IN) (ステレオ・ミニ)

本機のRGB1入力端子に接続したパソコンの音声出力端子と接続します。

2 RGB2入力端子(RGB 2 IN) (BNC 5 芯)

市販のBNCケーブル(5 芯タイプ)を使用してパソコンのディスプレイ出力端子などと接続します(● 26ページ)。

音声入力端子(AUDIO IN) (ステレオ・ミニ)

本機のRGB2入力端子に接続したパソコンの音声出力端子と接続します。

3 DVI入力端子(DVI IN) (DVI-D 24ピン)

パソコンのDVI-D出力端子と接続します(● 26ページ)。

音声入力端子(AUDIO IN) (ステレオ・ミニ)

本機のDVI入力端子に接続したパソコンの音声出力端子と接続します。

4 RGBモニタ出力端子(RGB OUT) (ミニD-Sub15ピン)

RGB1入力端子(RGB 1 IN)とRGB2入力端子(RGB 2 IN)のうち、投写されているほうの映像信号を出力します(● 28ページ)。

音声出力端子(AUDIO OUT) (ステレオ・ミニ)

RGB1入力端子(RGB 1 IN)とRGB2入力端子(RGB 2 IN)のうち、投写されているほうの音声信号を出力します。

5 S-ビデオ映像入力端子(S-VIDEO IN) (ミニDIN-4ピン)

ビデオデッキやDVDプレーヤなどのS映像出力端子と接続します(● 30ページ)。

音声入力端子(AUDIO IN) (RCA-フォノ)

本機のS-ビデオ映像入力端子(S-VIDEO IN)に接続した機器の音声出力端子と接続します。

6 ビデオ映像入力端子(VIDEO IN) (RCA-フォノ)

ビデオデッキやDVDプレーヤなどの映像出力端子と接続します(● 30ページ)。

音声入力端子(AUDIO IN) (RCA-フォノ)

本機のビデオ映像入力端子(VIDEO IN)に接続した機器の音声出力端子と接続します。

7 音声出力端子(AUDIO OUT) (RCA-フォノ)

本機から投写されている映像の音声信号を出力します。

VOLUMEの操作によって音量が調整できます。オーディオ機器などの音声入力端子と接続します。

8 USBポート(タイプA) (USB(MOUSE/HUB))

- 市販のUSBマウスを使って、本機のオンスクリーンメニュー操作をするときに接続します(● 55ページ)。
- USBに対応したスキャナなどのパソコン周辺機器を接続することができます(USBハブ機能)(● 61ページ)。

9 USBポート(タイプB) (USB(PC))

添付のUSBケーブルを使ってパソコンのUSBポート(タイプA)と接続すると、次のことが行えます。

- 本機のリモコンでパソコンのマウス操作が行えます(● 57ページ)。
- 添付のCD-ROMに収録しているDynamic Image Utilityを使って、パソコンから本機へ投写する画像を送信したり、パソコンから本機の電源のON/OFFや入力信号の切り替えなどを制御(プロジェクタコントロール機能)することができます。

10 リモコン端子

(REMOTE) (ステレオ・ミニ)

添付のリモコンケーブルを使って本機のリモコンと接続すると、有線でのリモコン操作が行えます。リモコンの赤外線送信ができない場合に使用します(㊦ 21ページ)。

11 PCコントロール端子

(PC CONTROL) (D-Sub9ピン)

添付のCD-ROMに収録しているDynamic Image Utilityを使用すると、パソコンから本機を制御することができます。

市販のRS-232Cクロスケーブルを使って、パソコンのシリアルポート(RS-232C)と接続してください。

12 PCカードスロット(PC CARD1、2)

市販のフラッシュメモ리카ードやLANカードなどを挿入します(㊦ 65ページ)。

本機には2つのPCカードスロットがあり、「1」、「2」と番号で識別します。

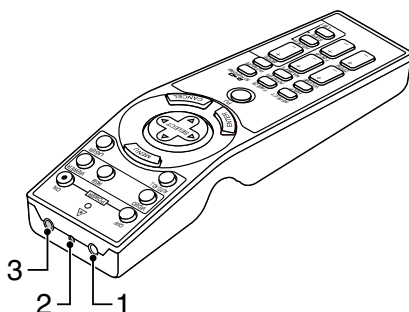


● 本機の工場出荷時は、PCカードスロットに「ダミーカード」がセットされています。本機をご購入後、はじめてフラッシュメモ리카ードやLANカードをセットする際は、まずダミーカードを取り出してください。

13 PCカード取り出しボタン

フラッシュメモ리카ードやLANカードをPCカードスロットから取り出すときに押します(㊦ 66ページ)。取り出しボタンは、「スロット1」用と「スロット2」用の2つがあります。

1-4. リモコン各部の名称

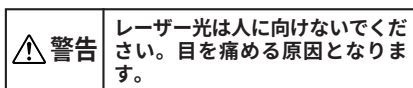


1 リモコン送信部

赤外線によるリモコン信号が送信されます。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

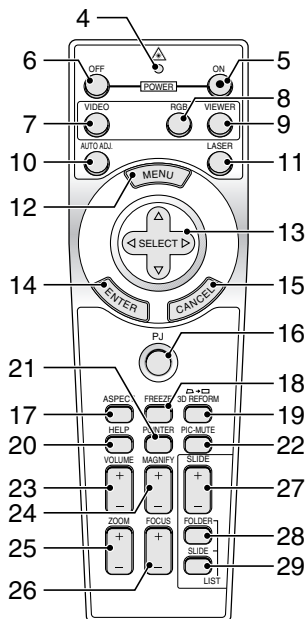
2 レーザー発光部

レーザーポインタの光を発射します。



3 リモコンケーブル接続端子

本機とリモコンをリモコンケーブルで接続すると、リモコンを本機に向けずにリモコン操作が行えます(㊦ 21ページ)。



4 リモコン送信中インジケータ

赤外線送信中またはレーザー発光中は赤く点灯します。

5 POWER (ON) ボタン

2秒以上押して、スタンバイ時(POWERインジケータがオレンジ色に点灯)に本機の電源を入れます。

6 POWER (OFF) ボタン

2秒以上押すと、本機の電源が切れます(スタンバイ状態)。

7 (VIDEO) ボタン

ビデオ入力、S-ビデオ入力を選択します。

(VIDEO) ボタンを押すごとに、ビデオ入力とS-ビデオ入力が切り替わります。

8 (RGB) ボタン

RGB1、RGB2、DVI(デジタル)を選択します。

(RGB) ボタンを押すごとに、RGB1→RGB2→DVI(デジタル)→RGB1→・・・と入力信号が切り替わります。

9 (VIEWER) ボタン

ビューワを表示します。

10 (AUTO ADJ.) ボタン

映しているRGB信号の画像を最適な状態に自動調整します(● 43ページ)。

また、2秒以上押すと、オートフォーカスや自動壁色補正が作動します(● 40ページ)。

11 (LASER) ボタン

レーザーポインタが発光します。

12 (MENU) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

13 (SELECT ▼▲◀▶) ボタン

パソコンモードのとき……パソコンのマウスとして動作します(● 48、57ページ)。

プロジェクタモード (PJ) ボタン16が赤く点灯)のとき……オンスクリーンメニュー操作やポインタ移動、(MAGNIFY +/-) ボタンを使った画面拡大時の表示位置調整に使います。

14 (ENTER) (左クリック) ボタン

パソコンモードのとき……マウスの左ボタンの動作をします。

2～3秒押すとドラッグモードになります(● 57ページ)。

プロジェクタモードのとき……オンスクリーンメニューを表示しているときは、項目を決定します。各種調整・設定画面を表示しているときは、調整・設定値を確定してメニュー表示に戻ります。

15 (CANCEL) (右クリック) ボタン

パソコンモードのとき……マウスの右ボタンの動作をします。

プロジェクタモードのとき……オンスクリーンメニューを表示しているときは、メニューを開じます。各種調整・設定画面を表示しているときは、調整・設定値を調整・設定前の状態に戻してメニュー表示に戻ります。

16 (PJ) ボタン

(SELECT ▼▲◀▶) ボタン、(CANCEL) ボタン、(ENTER) ボタンの動作をプロジェクタモードに切り替えます。

プロジェクタモードのときは赤く点灯します。もう一度押すとパソコンモードに戻ります(● 48ページ)。

17 (ASPECT) ボタン

アスペクト調整項目を表示します(● 91ページ)。

18 (FREEZE) ボタン

表示されている画像が静止画となります。もう一度押すと戻ります。

19 (3D REFORM) ボタン

上下左右方向の台形歪みを調整します(● 41ページ)。

20 (HELP) ボタン

ヘルプを表示します(● 52ページ)。

各種調整・設定画面を表示しているときは、選択している項目のヘルプを表示します。

21 (POINTER) ボタン

ポインタを表示します。画面拡大時にこのボタンを押すと表示位置の調整ができます(● 50ページ)。

22 (PIC-MUTE) ボタン

映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります(オンスクリーンメニュー表示中に押した場合は、映像と音声は消えますが、メニューは消えません)。

23 (VOLUME +/-) ボタン

内蔵スピーカの音量と音声出力端子(AUDIO OUT)の音量を調整します。

24 (MAGNIFY +/-) ボタン

画面の拡大・縮小(もとに戻す)をします(● 51ページ)。

25 (ZOOM +/-) ボタン

投写画面の大きさの微調整を行います(● 39ページ)。

26 (FOCUS +/-) ボタン

投写画面のピントを合わせます(● 40ページ)。

27 (SLIDE +/-) ボタン

ビューワのスライド画面の切り替えや、フォルダ/スライド一覧表示のカーソル送りに使います(● 70ページ)。

28 (FOLDER LIST) ボタン

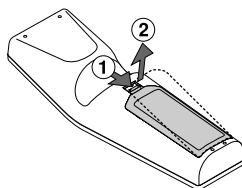
フラッシュメモ리카ードに保存されたフォルダ一覧を表示します(● 70ページ)。

29 (SLIDE LIST) ボタン

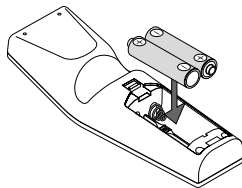
フラッシュメモ리카ードに保存されたスライド一覧を表示します(● 70ページ)。

●電池の入れかた

1 リモコン裏面の電池ケースのふたを外す。



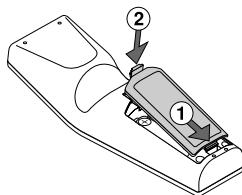
2 ケース内部に印刷されている＋、－の向きに合わせて単3乾電池をセットする。



3 もと通りにふたをする。



- 乾電池を交換するときは、2本とも同じ種類の単3乾電池をお買い求めください。
- (SELECT ▼▲▶) ボタンを押しながら乾電池をセットすると、リモコンが正常に動作しなくなる場合があります。その場合は、乾電池を取り出し、もう一度セットしなおしてください。

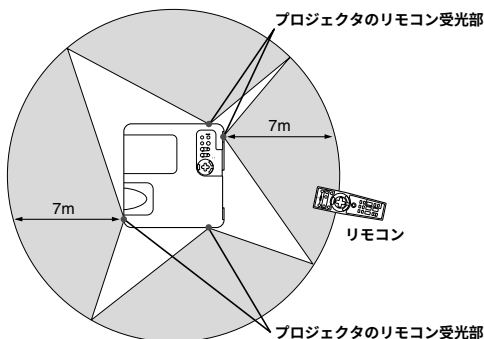


●リモコンの有効範囲

リモコンケーブルを使用せず赤外線でリモコンを操作する場合、リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

リモコンをスクリーンに反射させて本体前面のリモコン受光部で受信することもできます。

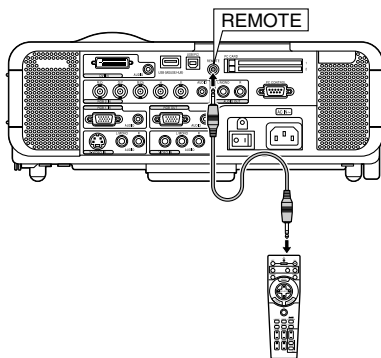
【水平方向の受光範囲】



(注) 有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

●リモコンケーブルを使用する

本体のリモコン受光部とリモコンの間に遮へい物などがあるときや、有効範囲外でリモコン操作するときは、添付のリモコンケーブルを使用してください。



- リモコンケーブルで本機とリモコンを接続すると、自動的にアイドル状態に切り替わります(▶ 109ページ)。

●リモコンの使用上の注意

- ・ 赤外線送信の場合、本機のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中で障害物があって信号がさえぎられていると動作しません。
- ・ 赤外線送信の場合、本体から約7m以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- ・ リモコンを落としたり、誤った取り扱いはいしないでください。
- ・ リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- ・ できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- ・ 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- ・ レーザーポインタの使用上の注意については、「3-8. レーザーポインタを使う」(▶ 44ページ)をご覧ください。

第2章

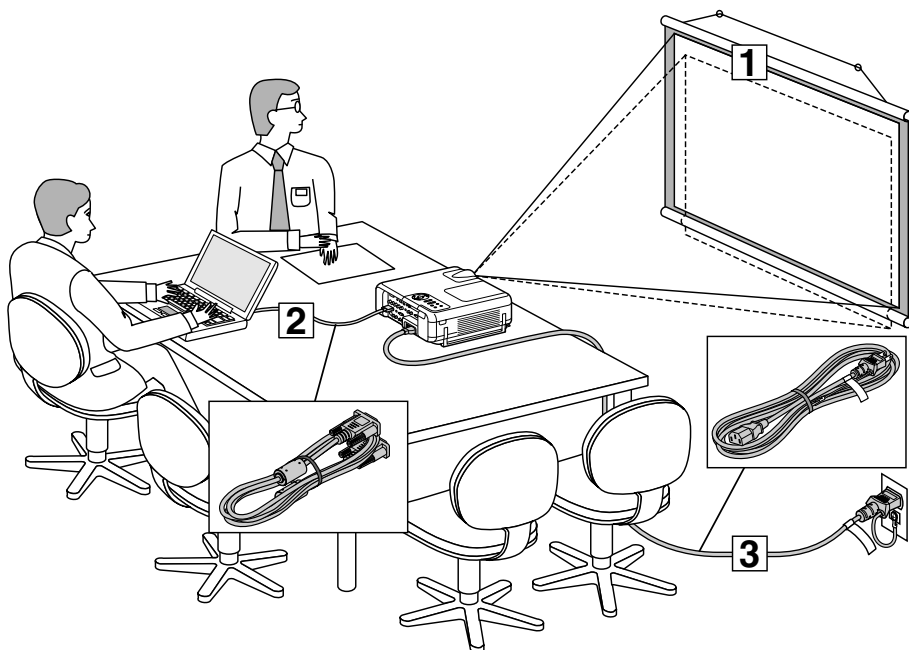
設置と接続

.....

2-1. 設置と接続の流れ	24
2-2. スクリーンとプロジェクタを設置する ...	25
2-3. パソコンと接続する	26
2-4. RGBモニタと接続する	28
2-5. DVDプレーヤなどのAV機器と接続する ...	29
2-6. 書画カメラと接続する	31
2-7. 電源コードを接続する	32

2-1. 設置と接続の流れ

プロジェクタを設置する場合は、次の流れで行います。



ステップ 1

スクリーンとプロジェクタを設置する (➡ 25ページ)



ステップ 2

パソコンやビデオデッキなどをプロジェクタに接続する

- パソコンと接続する場合 (➡ 26ページ)
- RGBモニターと接続する場合 (➡ 28ページ)
- DVDプレーヤーやビデオデッキなどのAV機器と接続する場合 (➡ 29ページ)
- 書画カメラと接続する場合 (➡ 31ページ)



ステップ 3

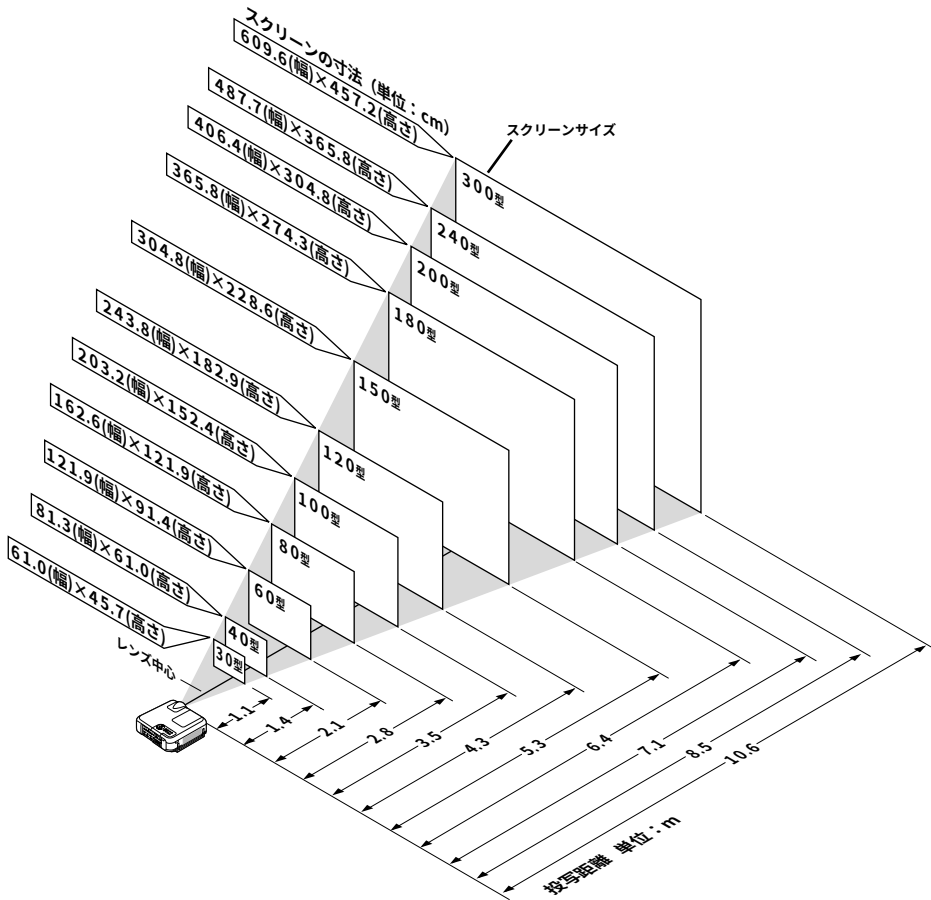
電源コードを接続する (➡ 32ページ)

2-2. スクリーンとプロジェクタを設置する

下図を参照して、適切な画面サイズとなる位置にプロジェクタを設置してください。

例1：100型のスクリーンに投写する場合は、下図より3.5m離して設置します。

例2：スクリーンから5.3m離してプロジェクタを設置すると、下図より約150型の画面となります。



2

設置と接続



- この図のスクリーン寸法は、ズームのテレ(投写面積が最小)側とワイド(投写面積が最大)側の間の値です。

(ZOOM +/-) ボタンを操作すると、画面のサイズを約±15%の範囲で変更することができます。

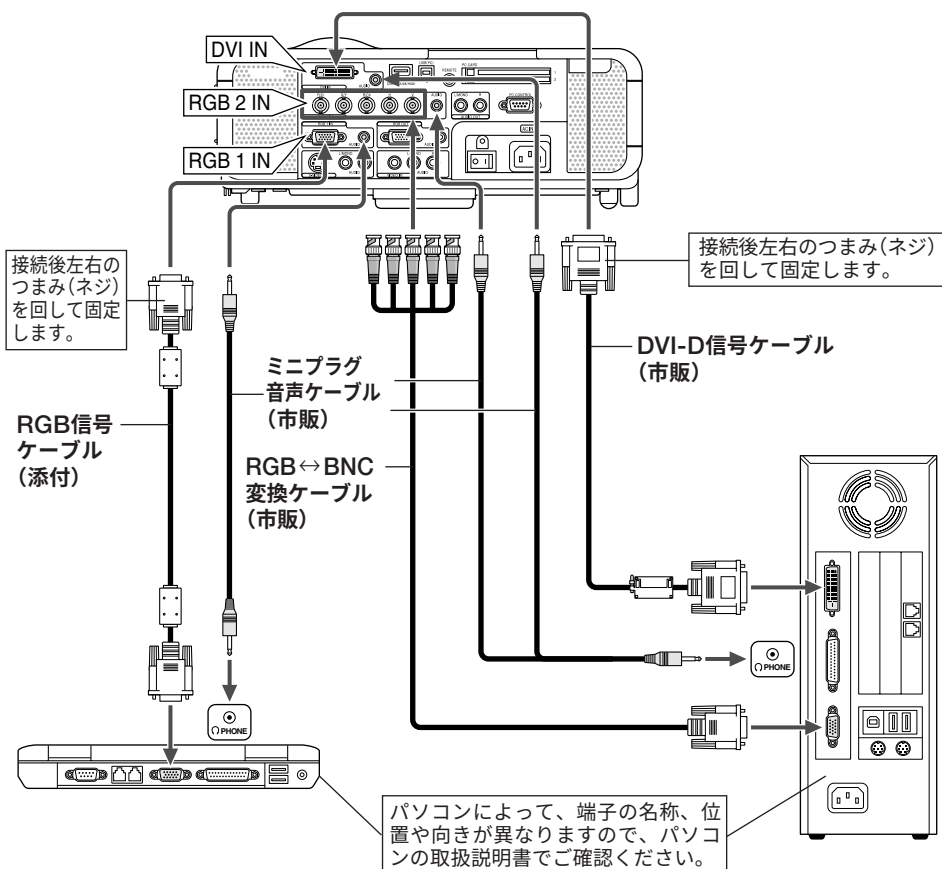
なお、図の各寸法は、設計値のため実際の寸法と多少の誤差がありますので目安としてください。

- 投写距離と画面サイズについては、付録の「投写距離とスクリーンサイズ」(141～142ページ)をご覧ください。

2-3. パソコンと接続する

パソコン側のディスプレイ出力端子(ミニD-Sub15ピン)と、本機のRGB1入力端子(RGB 1 IN)を、添付のRGB信号ケーブルで接続します。

パソコン側のディスプレイ出力端子が5芯タイプのBNC端子の場合は、市販のBNCケーブル(5芯タイプ)で本機のRGB2入力端子(RGB 2 IN)に接続します。また、パソコン側がDVI-D出力端子の場合は、市販のDVI-D信号ケーブル(フェライトコア付き)で本機のDVI入力端子(DVI IN)に接続します。



注意

- パソコンや本機の電源を切ってから接続してください。
- 音声ケーブルをヘッドホン端子と接続する場合、接続する前にパソコンの音量を低めに調整してください。そして、パソコンと本機を接続して使用する際に、本機の音量とパソコンの音量を相互に調整し、適切な音量にしてください。
- パソコンにミニジャックタイプの音声出力端子がある場合は、その端子に音声ケーブルを接続することをおすすめします。
- 当社製のビデオユニット(形名ISS-6020J、ISS-6010J)のビデオコード出力には対応していません。

- スキャンコンバータなどを介してビデオデッキを接続した場合、早送り・巻き戻し再生時に正常に表示できない場合があります。
- DVI(デジタル)入力時の注意事項
 - DVI-D信号ケーブルは、DDWG Revision1.0に準拠した5m以内のものをお使いください。
 - DVI-D信号ケーブルを接続するときは、本機とパソコンの電源が切れた状態で行ってください。
 - DVI(デジタル)信号を投写する際は、ケーブル接続後、まず本機の電源を入れ、DVI(デジタル)入力を選択します。最後にパソコンを起動してください。
上記の手順通りに操作しないと、映像が投写されないことがあります。映像が投写されない場合はパソコンを再起動してください。
 - パソコンのグラフィックカードによっては、アナログRGB(D-Sub)とDVI-D(またはDFP)の両端子を有するものがあります。この場合、D-Sub端子にRGB信号ケーブルを接続していると、DVI-D信号が出力されないものがあります。
 - 本機の電源が入っているときにDVI-D信号ケーブルを抜かないでください。
一度抜いて、再度接続した場合、映像が正常に投写されないことがあります。
その場合はパソコンを再起動してください。
 - 本機のDVI(デジタル)入力は、VGA(640x480)、SVGA(800x600)、XGA(1024x768)、1152x864およびSXGA(1280x1024／垂直走査周波数 60Hzまで)に対応しています。

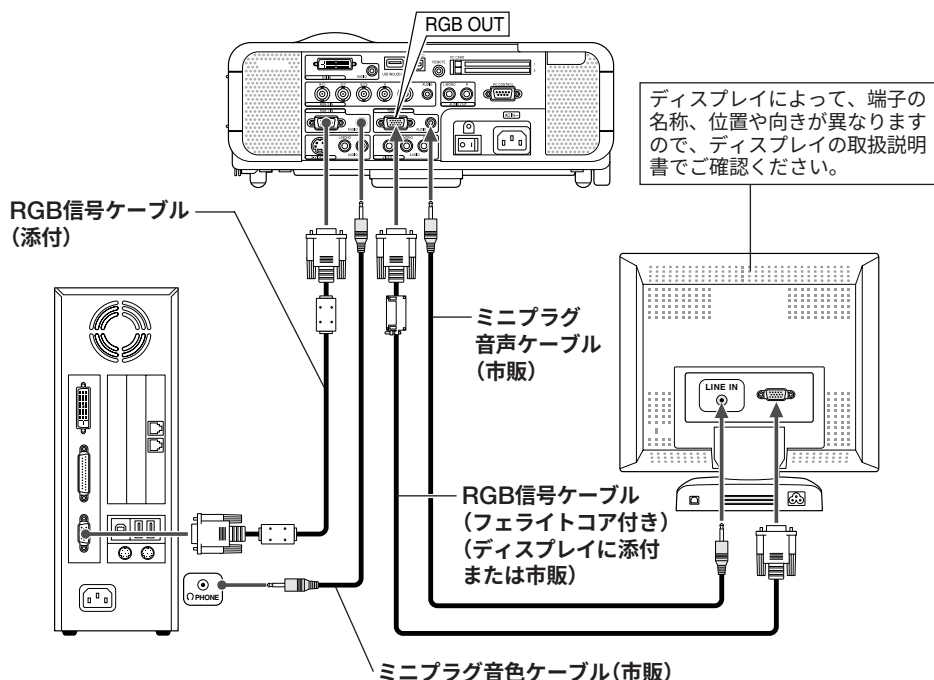
参考

- RGB1入力端子(RGB 1 IN)のみ、Windowsのプラグ・アンド・プレイに対応しています。
- Macintoshとの接続では、Macintosh用信号アダプタ(市販品)が必要になる場合があります。
- パソコンと本機を離して使用する場合は、別売のマルチシンク10mケーブル(形名 VL-CA10MD)を使用してください。また、信号の減衰を補うため、別売のRGB信号分配ユニット(形名 VL-DA102)の使用をおすすめします。

2-4. RGBモニタと接続する

図のように、デスクトップパソコンと本機を接続したときなど、本機で投写している画面と同じ画面を、手もとのディスプレイにも表示(モニタ)して確認できます。

本機のRGBモニタ出力端子(RGB OUT)は、RGB入力端子(RGB 1 IN)とRGB2入力端子(RGB 2 IN)のうち、投写されているほうの映像信号を出力します。



注意

- 本機のRGBモニタ出力端子(RGB OUT)は、1台のディスプレイへ映像信号を出力するためのものです。
複数のディスプレイやプロジェクタを連続してつなぐような使いかたはできません。

参考

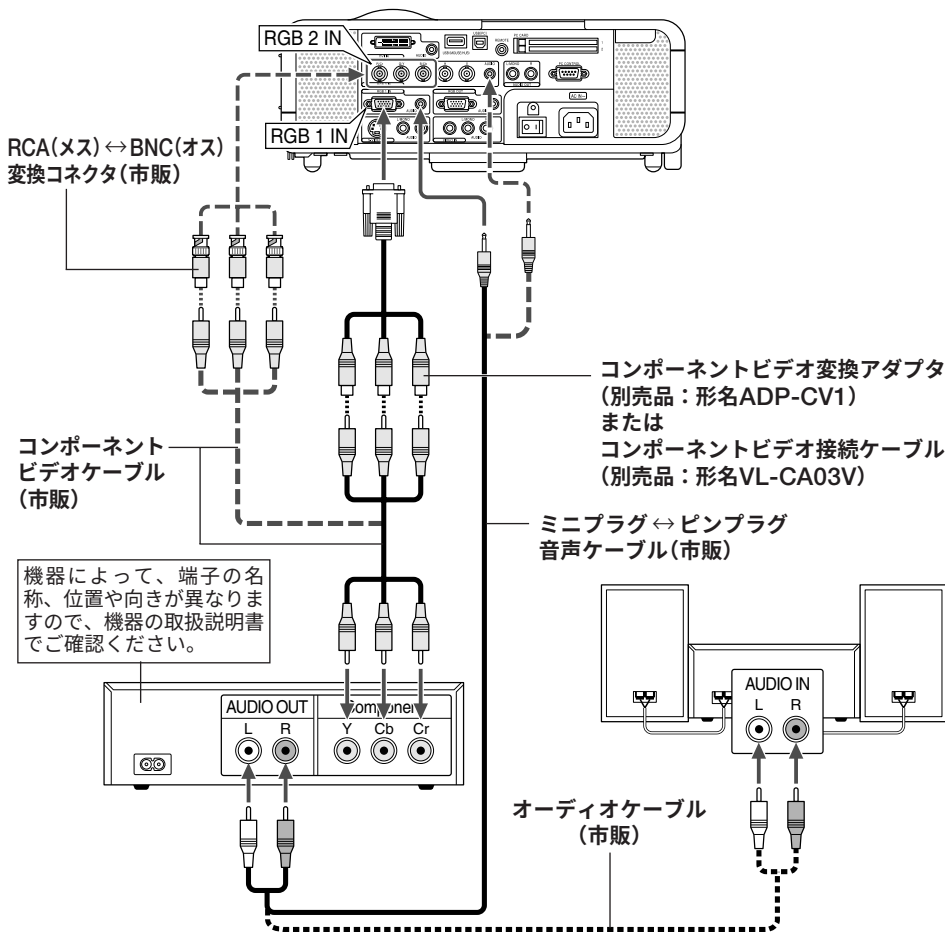
- 本機のアイドル状態をスタンバイ状態に切り替えると、本機の電源が入っていないとき(POWERインジケータのみがオレンジ色で点灯しているとき)にRGBモニタ出力端子(RGB OUT)から映像信号が出力されなくなります(109ページ)。
ただし、本機の電源の入/切時、および電源を切ったあとのファン回転中(ファンは約90秒間回転します)に、画面が乱れることがあります。

2-5. DVDプレーヤなどのAV機器と接続する

DVDプレーヤなどのYCbCr出力端子との接続

DVDプレーヤの色差出力端子(DVD映像出力)やハイビジョンビデオなどのYPbPr出力端子(HD映像出力)を使って本機で映すことができます。

DVDプレーヤの音声はオーディオ機器と接続してください。

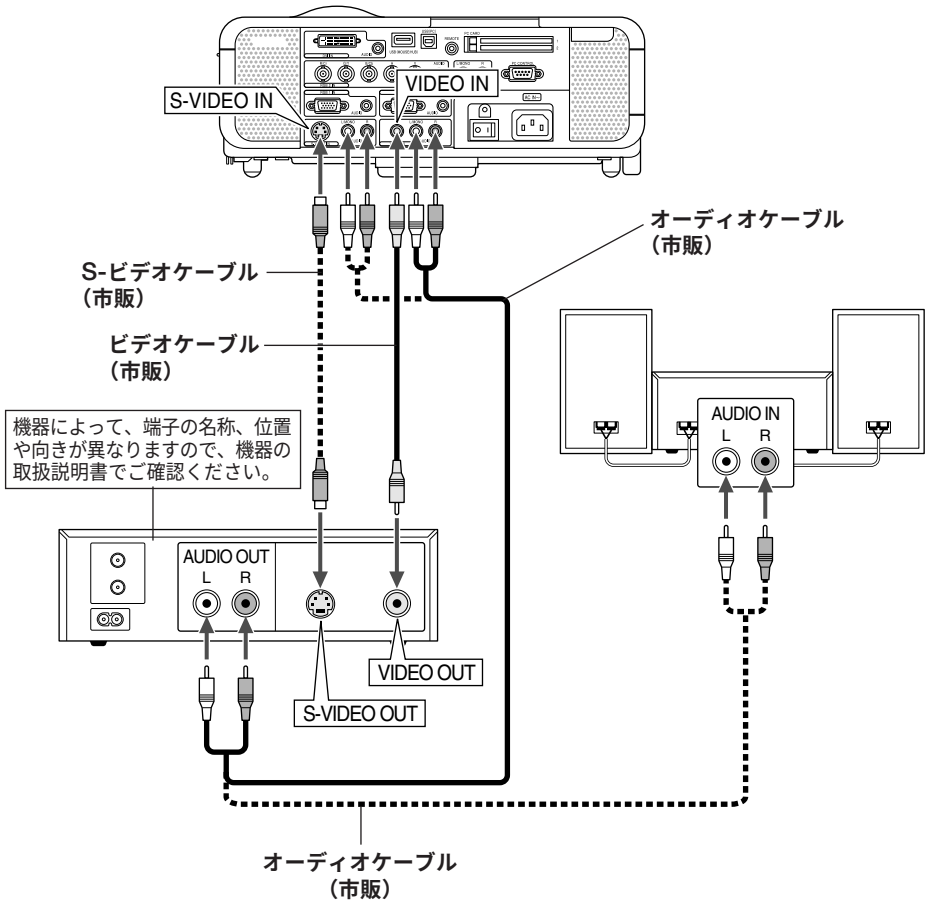


参考

- 通常は自動でRGBとコンポーネントを判別して切り替えますが、判別できない場合は、本機のオンスクリーンメニューから[機器設定]→[セットアップ]→[ページ3]→[信号選択]の設定画面でRGB信号を[コンポーネント]に設定してください(107ページ)。
- D端子付きの映像機器と接続する場合は、別売のD端子変換アダプタ(形名ADP-DT1)をお使いください。

ビデオ機器との接続

ビデオデッキ、テレビチューナなどのビデオ機器の映像を映す場合は、市販のケーブルを使用してください。

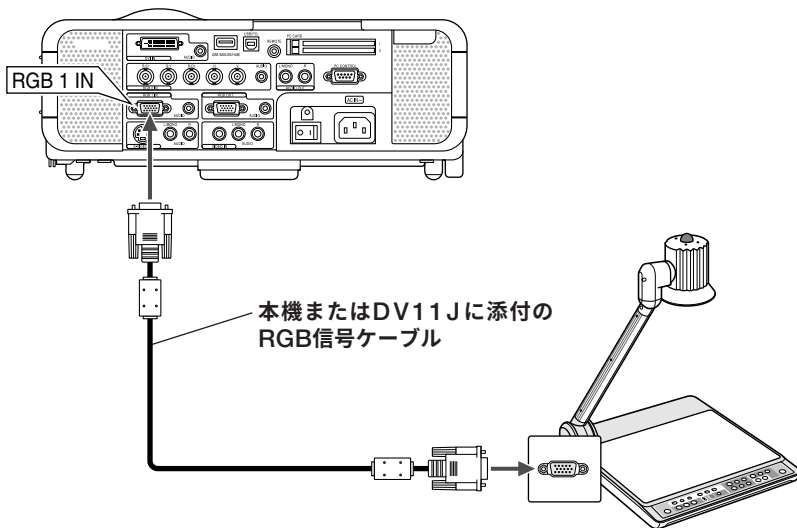


2-6. 書画カメラと接続する

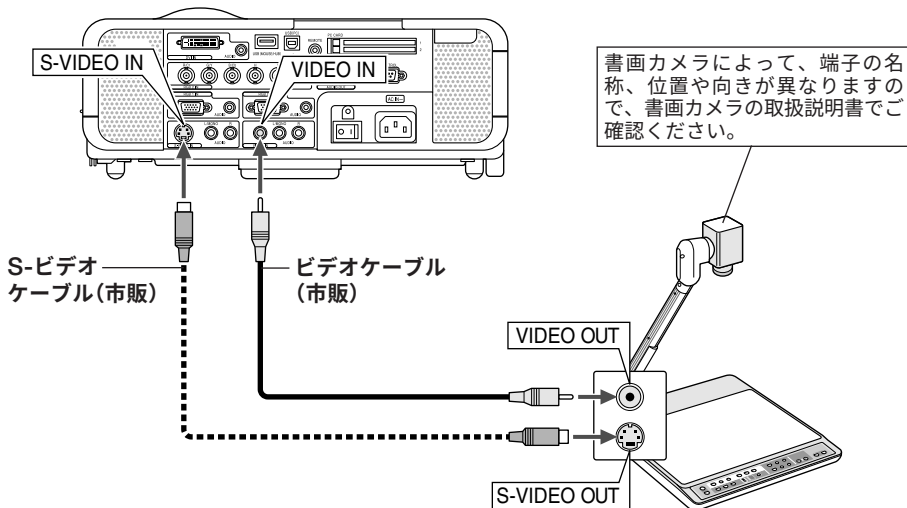
本機と別売の資料提示装置 (DV11J) を接続すると、印刷された資料や個体をスクリーンに投写することができます。

また、RGB端子、ビデオ端子、S-ビデオ端子を装備している市販の書画カメラも接続することができます。

●DV11Jの場合



●ビデオ出力の書画カメラの場合



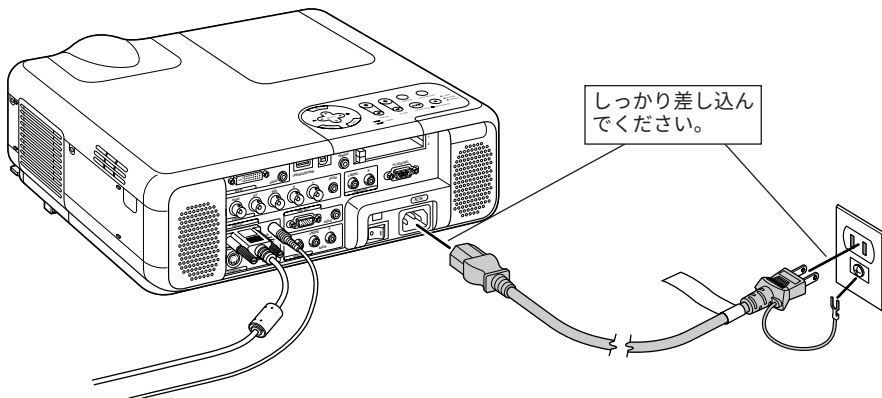
2-7. 電源コードを接続する

本機のAC IN端子と、AC100Vアース付きのコンセント(アース工事済み)を、添付の電源コードで接続します。



注意

機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。感電の原因となりますので、アース工事は専門業者にご依頼ください。アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。



注意

- 次のような場合は、電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
 - ・ 砂時計アイコンが表示されているとき
 - ・ 「しばらくお待ちください」というメッセージが表示されているとき(電源を切るとこのメッセージが表示されます)
 - ・ 電源を切ったあとのファンの回転中(ファンは約90秒間回転します)
 - ・ PCカードアクセスインジケータが点灯しているとき(ビューワ使用中)またはLAN使用中
フラッシュメモリカードやLANカード使用時はカードの内容が壊れるおそれがあります。

第3章

映像を投写する(基本操作)

.....

3-1. 映像を投写する流れ	34
3-2. 本機の電源を入れる	35
3-3. 入力信号を選択する	37
3-4. 投写画面の位置と大きさを調整する ...	38
3-5. 台形歪みを調整する	41
3-6. 映像を自動調整する	43
3-7. 本機の音量を調整する	43
3-8. レーザーポインタを使う	44
3-9. 本機の電源を切る	45
3-10. あとかたづけ	45

3-1. 映像を投写する流れ

ステップ 1

本機の電源を入れる (▶ 35ページ)



ステップ 2

入力信号を選択する (▶ 37ページ)



ステップ 3

投写画面の位置と大きさを調整する (▶ 38ページ)



ステップ 4

映像や音声を調整する

- 画質を調整する場合 (▶ 43ページ)
- 本機の音量を調整する場合 (▶ 43ページ)



ステップ 5

プレゼンテーションを行う

- レーザーポインタを使う場合 (▶ 44ページ)



ステップ 6

本機の電源を切る (▶ 45ページ)



ステップ 7

あとかたづけ (▶ 45ページ)

3-2. 本機の電源を入れる

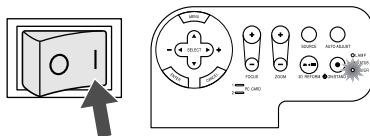
準備：「2. 設置と接続」(23ページ)を参照のうえ、機器の接続を行ってください。

重要

- 本機の電源コードの取り付け、取り外しは、主電源スイッチが「O(切)」の状態で行ってください。
主電源スイッチが「I(入)」の状態では電源コードの取り付け、取り外しを行うと、故障の原因となります。
- 本機の電源の入／切は、「主電源スイッチ」と「POWER (ON/STAND BY) ボタン(リモコンはPOWER (ON) (OFF) ボタン)」の2段階の操作で行います。
- 電源を入れる(23ページ)
 - 1 「主電源スイッチ」を「I(入)」にする。
本機がスタンバイ状態になります。
 - 2 「POWER (ON/STAND BY) ボタン(リモコンはPOWER (ON) ボタン)」を2秒以上押す。
本機の電源が入ります。
- 電源を切る(45ページ)
 - 1 「POWER (ON/STAND BY) ボタン(リモコンはPOWER (OFF) ボタン)」を2秒以上押す。
本機がスタンバイ状態になります。
 - 2 ファンの回転が終わったら、「主電源スイッチ」を「O(切)」にする。
本機の電源が切れます。

1 主電源スイッチを「I(入)」にする。

本機のPOWERインジケータがオレンジ色で点灯します(アイドル状態またはスタンバイ状態)。アイドル状態のときはさらにSTATUSインジケータが緑色で点灯します。



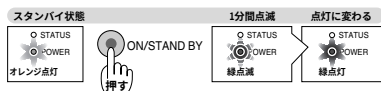
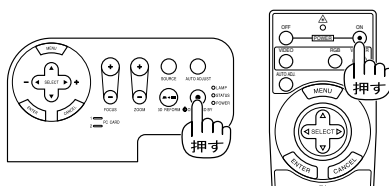
2 POWER (ON/STAND BY) ボタンを2秒以上押す。

本機の電源が入り、約30秒後スクリーンが明るくなります。

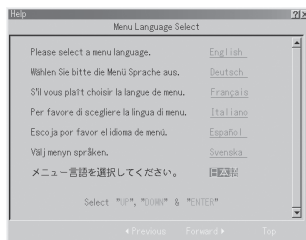
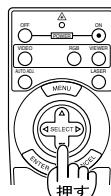
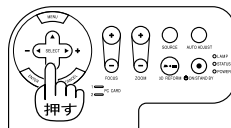
- リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを2秒以上押します。
- 信号が入力されていないときは、青い画面(ブルーバック：工場出荷状態)が表示されます。
- ご購入後はじめて電源を入れたときは「Menu Language Select(言語選択)」画面が表示されます。

次のページのように操作して「日本語」を選択してください。

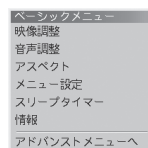
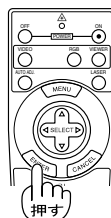
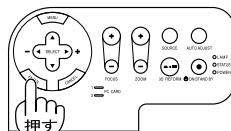
なお、映像がぼやけている場合は、(FOCUS +/-) ボタンを押して画面のピントを合わせてください(40ページ)。



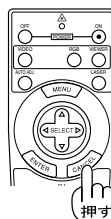
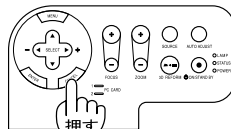
- ① **SELECT ▼** ボタンを押して、緑色のカーソルを[日本語]に合わせる。



- ② **ENTER** ボタンを押す。
選択した言語でオンスクリーンメニューが表示されます。



- ③ **CANCEL** ボタンを押す。
オンスクリーンメニューが消えます。



注意

- 本機の電源が入っている間は、レンズからレンズキャップを外しておいてください。高温になりレンズキャップが変形する場合があります。
- 次のような場合は、POWER (ON/STAND BY) ボタンを押しても電源が入りません。
 - ・ 内部の温度が異常に高いと保護のため電源が入りません。しばらく待って(内部の温度が下がって)から電源を入れてください。
 - ・ ランプの寿命がきた場合は電源が入りません。ランプを交換してください。
 - ・ 電源を入れてもランプが点灯せず、STATUSインジケータが点滅(6回周期の点滅)している場合は、1分以上待って再度電源を入れてください。
- POWERインジケータ点滅中(約1分間)は電源を切ることができません。
- 電源を入れたとき、ランプが安定して点灯するまで(3~5分)映像がちらつく場合があります。これはランプの特性上発生するもので故障ではありません。
- 本機は、フラッシュメモ리카ードをプロテクトキーとしたセキュリティ機能を搭載しています。詳しくは、「6-8. 機器設定」の「セキュリティ」(▶ 120ページ)をご覧ください。

3-3. 入力信号を選択する

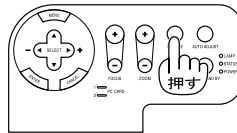
信号選択画面から選択する

1 本機に接続しているパソコンやビデオデッキなどの電源を入れる。

ビデオデッキなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

2 (SOURCE) ボタンを短く押す。

信号選択画面が表示されます。



3 (SOURCE) ボタンを数回短く押して、投写したい入力信号にカーソルを合わせる。

(SOURCE) ボタンを短く押すたびに、次の入力信号にカーソルが移動します。



4 (ENTER) ボタンを押す。

- (ENTER) ボタンを押さずに、約 2 秒経過すると、カーソルが合っている信号に自動的に切り替わります。

投写する入力信号を自動検出する

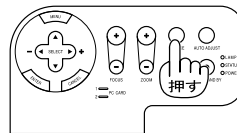
1 本機に接続しているパソコンやビデオデッキなどの電源を入れる。

ビデオデッキなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

2 (SOURCE) ボタンを1秒以上押す。

投写可能な信号を自動検出します。

- 1秒以上 (SOURCE) ボタンを押すたびに、RGB1 → RGB2 → ビデオ → S-ビデオ → ... と映像 (入力信号) が切り替わります。入力がないときは次の信号に移ります。



リモコンを使って選択する

1 本機に接続しているパソコンやビデオデッキなどの電源を入れる。

ビデオデッキなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

2 リモコンの (VIDEO)、(RGB)、(VIEWER) ボタンを押す。

- (VIDEO) ボタンを押すごとに、ビデオ入力とS-ビデオ入力が切り替わります。
- (RGB) ボタンを押すごとに、RGB1 → RGB2 → DVI (デジタル) → RGB1 → ... と入力信号が切り替わります。



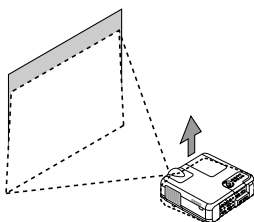
参考

- 入力信号がないときは、青い画面(ブルーバック：工場出荷状態)が表示されます。ビデオデッキやDVDプレーヤなどは再生(PLAY)操作をしてください。
- パソコンの画面がうまく投写できない場合は、138ページを参照してください。
- ビューフまたはLANに切り替えると、DVI入力部の音声入力端子に入力された音声信号がスピーカーから出力されます。

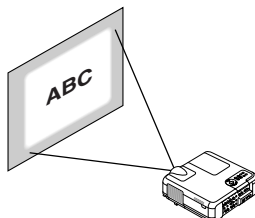
3-4. 投写画面の位置と大きさを調整する

チルトフット、(ZOOM +/-) ボタン、(FOCUS +/-) ボタン、(AUTO ADJUST) ボタン(リモコンは(AUTO ADJ.) ボタン)、(3D REFORM) ボタンなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

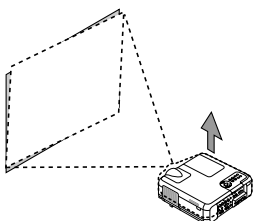
投写角度(投写画面の高低)の調整(チルトフット)



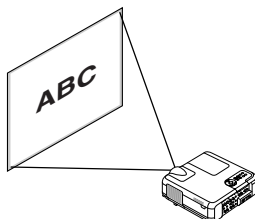
投写画面の大きさの微調整((ZOOM +/-) ボタン)



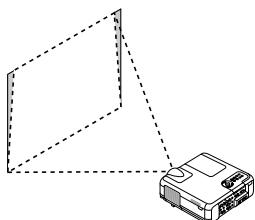
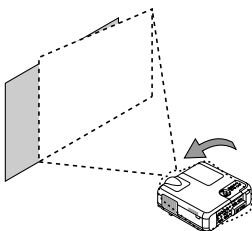
投写画面の左右の傾き調整(チルトフット)



投写画面のピント合わせ((AUTO ADJUST) ボタン(の長押し)および(FOCUS +/-) ボタン)



投写画面の台形歪み補正((3D REFORM) ボタン)



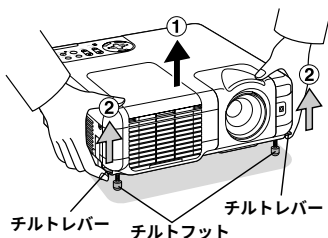
※3Dリフォームについては、「3-5. 台形歪みを調整する」(41ページ)をご覧ください。
 ※ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

● 投写角度(投写画面の高低)、および左右の傾きの調整(チルトフット)

1 本機の前部を持ち上げる。

2 左右のチルトレバーを押し上げる。

チルトフットのロックが外れ、左右のチルトフットが伸縮します。

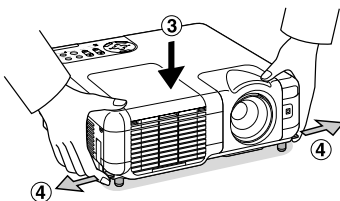


3 チルトレバーを押したまま、本機の投写角度、および左右の傾きを調整する。

4 角度を固定したいところでチルトレバーから指を離す。

チルトフットがロックされ、投写角度が固定されます。

- チルトフットは、最大44mm伸ばすことができます。
- チルトフットにより、最大10°本機を傾けることができます。



- チルトフットは、本機の投写角度、および傾き調整以外の用途には使用しないでください。
チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。

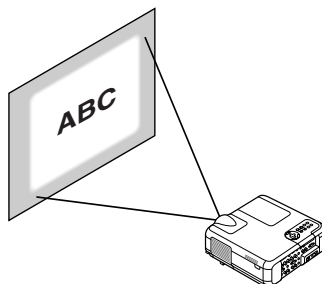
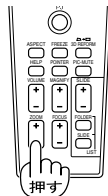
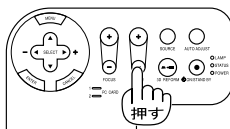
● 投写画面の大きさの微調整(ZOOM +/- ボタン)

1 ZOOM +/- ボタンを押す。

ZOOM +/- ボタンを操作すると、画面サイズを約±15%の範囲で変更することができます。



- レンズのズーム位置を最小にして[台形補正]を行い、その後ズーム位置を最大にすると、画面が台形補正前の状態(工場出荷状態)に戻ってしまいます。その場合は、再度[台形補正]の調整を行ってください(98ページ)。



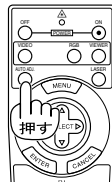
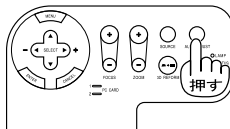
● 投写画面のピント合わせ (AUTO ADJUST ボタン(の長押し)および FOCUS +/- ボタン)

● オートフォーカスで調整する

1 (AUTO ADJUST) ボタンを 2 秒以上押す。

画面に調整用のパターンが表示され、しばらくすると投写画面のフォーカスが自動調整されます。

- ・リモコンで操作する場合は、(AUTO ADJ.) ボタンを 2 秒以上押します。



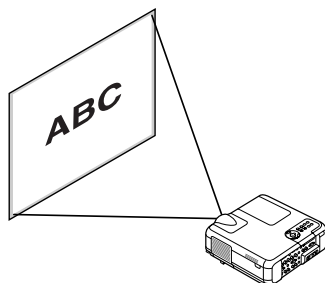
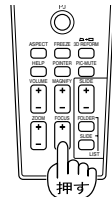
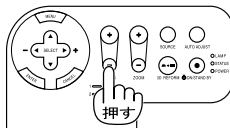
- (AUTO ADJUST) ボタンまたは (AUTO ADJ.) ボタンを短かく押すと、オートフォーカス機能ではなく映像の自動調整機能(▶ 43ページ)が作動しますので注意してください。
- オートフォーカスの有効範囲は、スクリーンサイズが40型から150型までです。また、部屋の明るさやスクリーンの状態によっては、適切に調整できないことがあります。
- イメージセンサの受光部の前に障害物があったり、周囲の光の影響により、イメージセンサが正常に動作しなかった場合、「オートフォーカスに失敗しました。」というエラーメッセージが表示されます。この場合は、障害物を取り除いたり、周囲の光を変えたりして、再度オートフォーカスを行ってください。



- (AUTO ADJUST) ボタンまたは (AUTO ADJ.) ボタンを 2 秒以上押したとき(長押し)の動作は、アドバンスメニューの[機器設定]→[自動調整選択]で設定します(▶ 112ページ)。
[自動調整選択]画面では、「フォーカス」(オートフォーカス)と「壁色補正」が設定できます。工場出荷時は[フォーカス]にチェックマークが付いています。

● 手動で微調整する

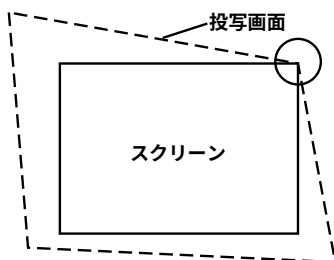
1 (FOCUS +/-) ボタンを押す。



3-5. 台形歪みを調整する

台形歪みの調整は3Dリフォーム機能で行います。

- 1 **スクリーンがすべて含まれるように、投写画面の範囲を調整する。**
- 2 **スクリーンと投写画面の角を合わせる（図は右上の角）。**



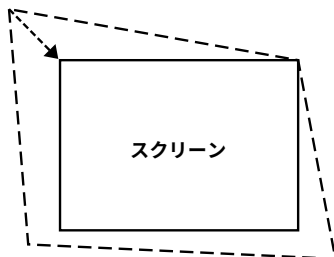
- 3 **(3D REFORM) ボタンを押す。**
3Dリフォーム(4点補正)画面が表示されます。



- 4 **(SELECT▼▲◀▶) ボタンを押して、画面の外枠を動かしたい角の「▲」を選ぶ（図は左上の▲）。**

- 5 **(ENTER) ボタンを押す。**

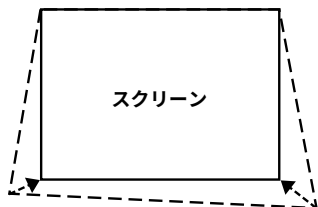
- 6 **(SELECT▼▲◀▶) ボタンを押して、投写画面の角がスクリーンの角に近づくように動かす。**



- 7 **(ENTER) ボタンを押す。**

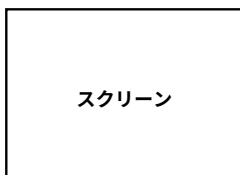
- 8 **(SELECT▼▲◀▶) ボタンを押して、別の角の「▲」を選ぶ。**

- 9 **5～8の操作を繰り返し、台形歪みを調整する。**



- 10 **台形歪みの調整が終わったら、3Dリフォーム(4点補正)画面で[終了]を選んで、(ENTER) ボタンを押す。**

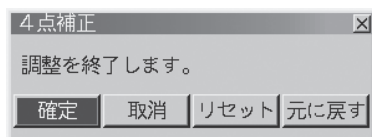
調整終了画面が表示されます。



11 (SELECT◀/▶) ボタンを押して、[確定]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

4点補正の調整が確定されます。

- [取消]を選択して(ENTER)ボタンを押すと、3Dリフォーム(4点補正)画面に戻ります。



参考

- 3Dリフォームの調整値を工場出荷状態に戻すには、操作 11 で[リセット]を選び、(ENTER) ボタンを押します。または、(3D REFORM) ボタンを2秒以上押します。
- 3Dリフォーム画面が表示されているときに(3D REFORM) ボタンを押すと、押すごとに「4点補正」画面と「台形補正」画面が交互に表示されます。
- アドバンスドメニューの[機器設定]→[セットアップ]→[ページ4]の[3Dリフォーム保存]にチェックマークを付けると、本機の電源を入れなおしても、3Dリフォームの調整結果を保持しておくことができます(C 109ページ)。本機の工場出荷時は、[3Dリフォーム保存]にチェックマークは付いていません。
- 3Dリフォームを自動で行う「オートスクエアショット」機能があります。詳しくは53ページをご覧ください。
- 市販のUSBマウスを本機に接続すると、4点補正をUSBマウスで操作することができます。その場合、「4点補正」画面は表示されません。左クリックで4つの角の位置合わせを行い、右クリックで調整終了画面を表示します。USBマウスの接続については55ページをご覧ください。

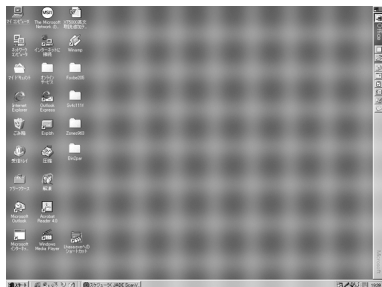
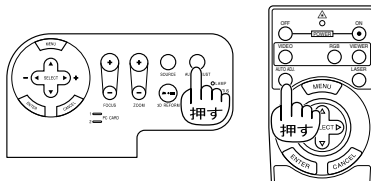
3-6. 映像を自動調整する

パソコンの画面を投写している場合、投写画面の端が切れていたり、映りが悪いときに、ワンタッチで画質を調整します。

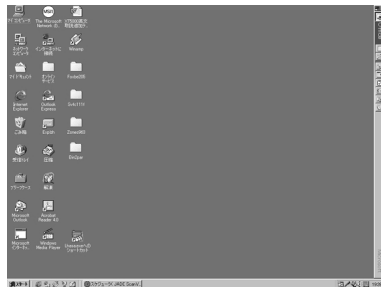
1 [AUTO ADJUST] ボタンを押す。

[秒時計]アイコンが表示され、しばらくすると投写画面の表示が自動調整されます。

- ・リモコンで操作する場合は、[AUTO ADJ.] ボタンを押します。



【映りが悪い画面の例】



【自動調整後の画面の例】



- [AUTO ADJUST] ボタンまたは [AUTO ADJ.] ボタンを2秒以上押す(長押しする)と、映像の自動調整機能ではなくオートフォーカスや壁色補正(▶ 40ページ)が作動しますので注意してください。



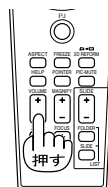
- 自動調整を行っても表示位置がずれていたり、画面に縦縞が出たりして映りが悪い場合は、手動で画面の調整を行ってください(▶ 93ページ)。
- パソコンの画面がうまく投写できない場合は、138ページを参照してください。

3-7. 本機の音量を調整する

本機の内蔵スピーカの音量を調整します。

1 リモコンの [VOLUME +/-] ボタンを押す。

- ＋側…音量が大きくなります。
- －側…音量が小さくなります。



- 画面に本機のオンスクリーンメニューが表示されていないときは、本体の [SELECT ▲/▼] ボタンでも音量を調整できます。

3-8. レーザーポインタを使う

レーザーポインタ機能を使って、効果的なプレゼンテーションが行えます。リモコンの先端からレーザー光(赤い光)を出し、説明したいところをピンポイントで指すことができます。



警告

レーザーポインタのレーザー光源をのぞかない
次の事項をお守りください。レーザー光が目にあたると視力低下・視覚障害の原因となります。

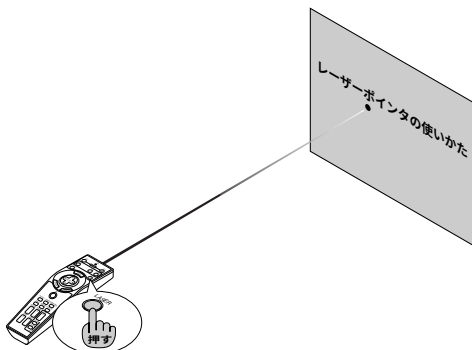
- ・レーザーポインタのレーザー光源をのぞき込まない
- ・レーザー光を人に向けない
- ・子供には使用させない

1 リモコンの (LASER) ボタンを押す。

リモコンの先端からレーザー光(赤い光)が出ます。

2 (LASER) ボタンから指を離す。

レーザー光(赤い光)が消えます。



参考

- リモコン側面および底面に次の内容が記載されています。

クラス2レーザー製品 最大出力：1mW

波長：650nm

JIS C 6802(1998)

製造者：F & T



JQA

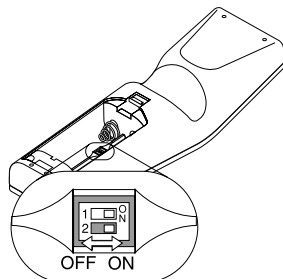
- レーザーの発光を禁止する場合は、電池ケースの底にあるレーザー光の有効／禁止スイッチを操作してください。

必要に応じて「スイッチ2」を細いボールペンの先などを使って設定してください。工場出荷状態は「有効」に設定されています。お子様が使用できる環境に置かれる場合は「禁止」に設定してください。

なお、「スイッチ1」は適応プロジェクタの設定ですので切り替えないでください(スイッチ1はONに設定されています)。

ON側… 有効((LASER) ボタンを押すとレーザーが発光します。)【工場出荷状態】

OFF側… 禁止((LASER) ボタンを押してもレーザーは発光しません。)

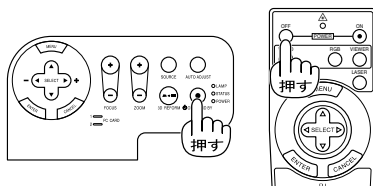


3-9. 本機の電源を切る

1 POWER (ON/STAND BY) ボタンを2秒以上押す。

電源が切れPOWER インジケータがオレンジ色に変わります(アイドル状態またはスタンバイ状態)。

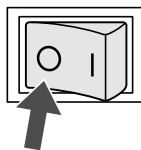
- ・リモコンで操作する場合は、POWER (OFF) ボタンを2秒以上押します。



- 電源を入れた直後の約1分間は、電源を切ることができません。

2 主電源スイッチを「O(切)」にする。

本機のPOWERインジケータが消え、主電源が切れます。



- 次のような場合は、主電源スイッチを切ったり、電源プラグをコンセントから抜かないでください。

機器が故障するおそれがあります。

- ・砂時計アイコンが表示されているとき
- ・「しばらくお待ちください」というメッセージが表示されているとき(電源を切るとこのメッセージが表示されます)
- ・電源を切ったあとのファンの回転中(ファンは約90秒間回転します)
- ・PCカードアクセスインジケータが点灯しているとき(ビューワ使用中)またはLAN使用中
フラッシュメモリカードやLANカード使用時はカードの内容が壊れるおそれがあります。

3-10. あとかたづけ

準備：本機の主電源スイッチが「O(切)」になっていることを確認してください。

- 1 電源コードを取り外す。
- 2 各種信号ケーブルを取り外す。
- 3 チルトフットを伸ばしていたら、もとに戻す。
- 4 レンズにレンズキャップを取り付ける。

第4章

便利な機能

.....

4-1. 「プロジェクタモード」と 「パソコンモード」の切り替え	48
4-2. 映像と音声を消去する	49
4-3. 動画を静止画にする	49
4-4. ポインタを表示／非表示／移動する ...	50
4-5. 映像を拡大する	51
4-6. 本機の操作説明を投写する	52
4-7. 自動で台形歪みを補正する (オートスクエアショット)	53
4-8. 市販のUSBマウスを使って操作する ...	55
4-9. 本機のリモコンでパソコンの マウス操作を行う	57
4-10. 投写画面に文字や図形を描く (チョークボード)	58
4-11. 本機のUSBハブ機能を使用する	61
4-12. USBメモリ、およびUSBメモリカード リーダーを使用する	62

4-1. 「プロジェクタモード」と「パソコンモード」の切り替え

本機のリモコンには、「プロジェクタモード」と「パソコンモード」という2つの操作モードがあります。プロジェクタモードとパソコンモードでは、(SELECT ▼▲▶) ボタン、(ENTER) ボタン、(CANCEL) ボタンの働きが異なりますので注意してください。

● プロジェクタモード

(SELECT ▼▲▶) ボタン	本機の音量調整やオンスクリーンメニューの項目選択を行います。
(ENTER) ボタン	選択した項目を決定します。
(CANCEL) ボタン	操作を取り消します。

● パソコンモード

本機のリモコンを使って、本機とUSBケーブルで接続しているパソコンのマウス操作を行うモードです(▶ 57ページ)。

(SELECT ▼▲▶) ボタン	マウスカーソルを移動します。
(ENTER) ボタン	左クリックの働きをします。
(CANCEL) ボタン	右クリックの働きをします。

「プロジェクタモード」と「パソコンモード」の切り替え

リモコンの操作モードは、リモコンの(PJ) ボタンの点灯状態で確認することができます。

(PJ) ボタン点灯時(赤色)	プロジェクタモードです。
(PJ) ボタン消灯時	パソコンモードです。

- リモコンの (PJ) ボタンを押すと、(PJ) ボタン自体が赤く点灯します。
- もう一度 (PJ) ボタンを押すと、(PJ) ボタンは消灯します。
- POWER (ON) (OFF) ボタン、(MENU) ボタンなどを押すと、プロジェクタモード((PJ) ボタンが赤色点灯) になります。
- プロジェクタモード((PJ) ボタンが赤色点灯) のときに、約60秒間リモコン操作を行わないと、自動的にパソコンモード((PJ) ボタンが消灯) に変わります。



プロジェクタ
モード



パソコン
モード

4-2. 映像と音声を消去する

1 リモコンの (PIC-MUTE) ボタンを押す。

投写されている画像と、内蔵スピーカおよび音声出力端子(AUDIO OUT)から出力されている音声が一時的に消えます。

- もう一度 (PIC-MUTE) ボタンを押すと、画像と音声が出ます。



参考

- 画像は消えますが、オンスクリーンメニュー表示は消えません。

4-3. 動画を静止画にする

1 リモコンの (FREEZE) ボタンを押す。

ビデオの映像を投写しているときなど、動画が静止画になります。

- もう一度 (FREEZE) ボタンを押すと、動画に戻ります。

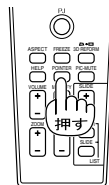


参考

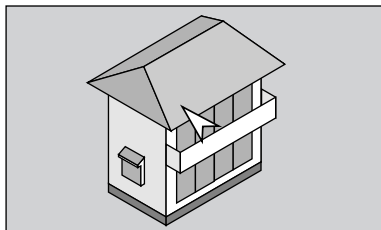
- (FREEZE) ボタンを押すと、押すときに投写されていた画像を静止画メモリに保存し、静止画メモリ内の画像(静止画)を映します。静止画表示中、ビデオなどの映像再生は先に進行しています。

4-4. ポインタを表示／非表示／移動する

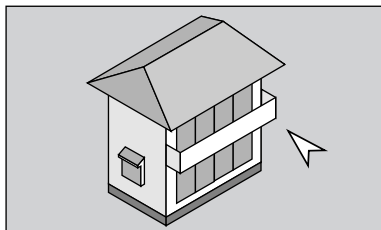
1 リモコンの (POINTER) ボタンを押す。



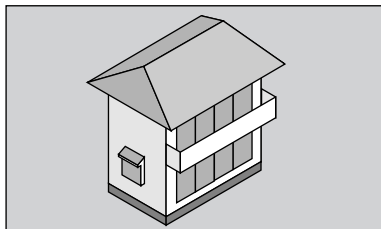
画面にポインタが表示されます。



2 (SELECT▼▲◀▶) ボタンを押す。
ポインタが移動します。



3 再び (POINTER) ボタンを押す。
ポインタが消えます。



注意

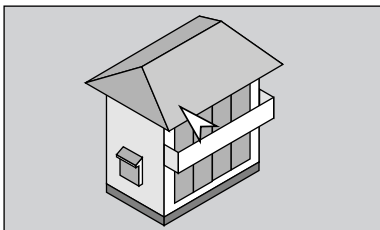
- (POINTER) ボタンを押して60秒間操作をしないと、リモコンはパソコンモードに戻ります。
- (PJ) ボタンを押して (PJ) ボタンを再び点灯させると (SELECT▼▲◀▶) ボタンが動作します。

参考

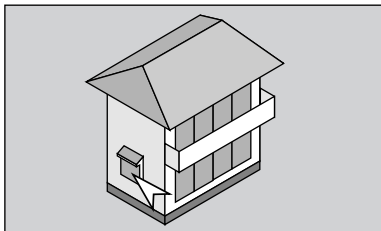
- ポインタの形状は、アドバンスメニューの[機器設定]→[メニュー設定(ページ1)]で選択できます(103ページ)。

4-5. 映像を拡大する

- 1** リモコンの (POINTER) ボタンを押す。
画面にポインタが表示されます。



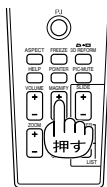
- 2** (SELECT▼▲◀▶) ボタンを押して、拡大したい位置までポインタを移動する。



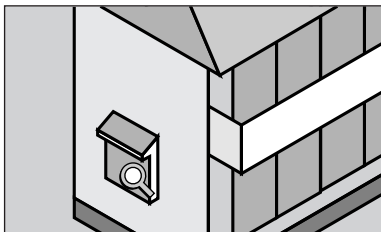
- 3** (MAGNIFY +) ボタンを押す。

押すごとに画像が拡大します。

- 最大 4 倍まで拡大できます。
- 画像が拡大すると、ポインタが「Q」に変わります。



- 4** (SELECT▼▲◀▶) ボタンを押す。
拡大した画像の表示領域が移動します。



- 5** (MAGNIFY -) ボタンを押す。

押すごとに画像が縮小します。

- 拡大する前の画像に戻ると、「Q」が通常のポインタ表示に戻ります。



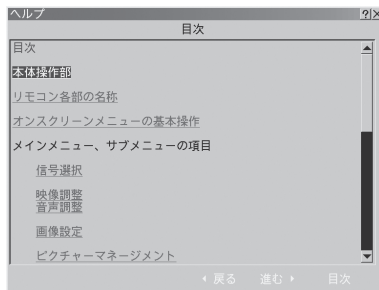
- ポインタを表示しなくても、(MAGNIFY +) ボタンで画面を拡大することができます。ポインタが表示されていない場合は、画面を中心にして拡大(おおよもとのサイズに戻る)します。
また、画面を拡大したとき、(SELECT▼▲◀▶) ボタンを押して投写範囲を移動することができます。

4-6. 本機の操作説明を投写する

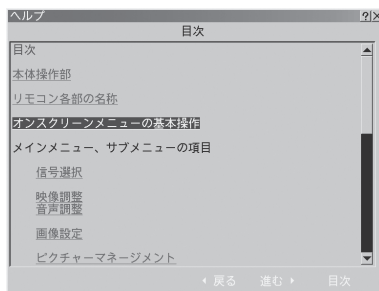
1 リモコンの **(HELP)** ボタンを押す。



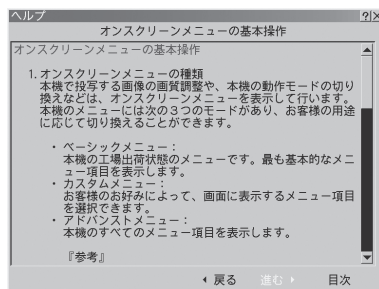
ヘルプの目次画面が表示されます。



2 **(SELECT▼/▲)** ボタンを押して、説明を表示したい項目にカーソルを合わせる。



3 **(ENTER)** ボタンを押す。
説明画面が表示されます。



4 **(SELECT◀)** ボタンを押す。
もとの画面に戻ります。

5 **(CANCEL)** ボタンを押す。
ヘルプ画面が閉じます。

4-7. 自動で台形歪みを補正する(オートスクエアショット)

オートスクエアショットは、本機に内蔵しているイメージセンサでスクリーンの輪郭(外枠)を感知(検出)し、スクリーンに収まるように投写画面を自動的に補正する機能です。



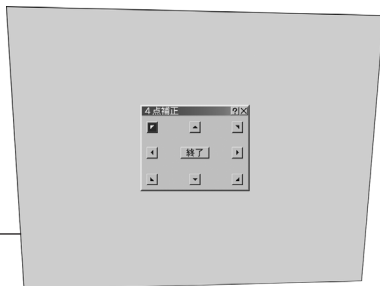
- オートスクエアショットは、30～200型のスクリーンサイズに対応しています。
- スクリーンとその背景が同じ明るさになっているときなど、本機に内蔵しているイメージセンサでスクリーンの輪郭(外枠)が読み取れない場合は、オートスクエアショットは実行できません。また、スクリーンに汚れ、傷、変色などがあると、輪郭を誤って検出してしまう場合があります。
- 本機のイメージセンサとスクリーンの間に障害物があると、スクリーンを検出できません。
- オートスクエアショットは、反射型スクリーンには対応していません。拡散型(マット系)や回帰型(ビーズ系)などのスクリーンを使用してください。

● オートスクエアショットの実行

1 希望する設置位置から映像を投写する。

2 **(3D REFORM)** ボタンを押す。

3Dリフォーム(4点補正)画面が表示されます。



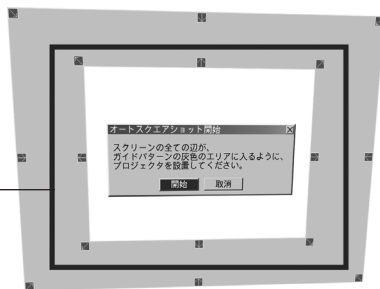
3 **(AUTO ADJUST)** ボタンを2秒以上押す。

自動調整が可能な範囲を示す“ガイドパターン”が表示されます。

- リモコンで操作する場合は **(AUTO ADJ.)** ボタンを2秒以上押します。

4 スクリーンの輪郭(外枠)が“ガイドパターン”の灰色のエリアに収まるように、プロジェクタの設置位置や投写角度を調整する。

スクリーンの外枠



5 [開始]にカーソルが合っていることを確認し、(ENTER) ボタンを押す。

- ・中止する場合は(SELECT) ボタンで[取消]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。
- オートスクエアショットが実行されます。処理時間が約20秒かかります。

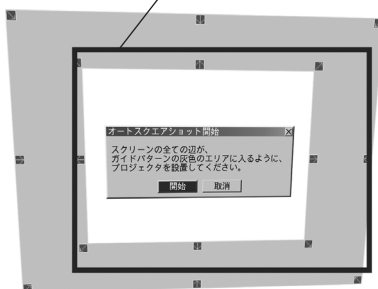


注意

- [アスペクト]が「スタジアム」のとき、オートスクエアショットは作動しません(▶ 91 ページ)。
- 右の図のように、ガイドパターンの灰色のエリアからスクリーンの輪郭(外枠)がはみ出しているときは、オートスクエアショットを実行しても台形歪みは補正されません(画面は変化しません)。
- オートスクエアショットの実行中にパソコンから本機を操作する*と、正常に補正できないことがあります。

*Dynamic Image Utility 2.0、Image Express Utility 1.0、HTTPサーバ機能などを使用すると、パソコンから本機を操作できます。

スクリーンの外枠



参考

- オートスクエアショットの動作は、アドバンスメニューの[機器設定]→[自動調整選択]で設定します(▶ 112 ページ)。

4-8. 市販のUSBマウスを使って操作する

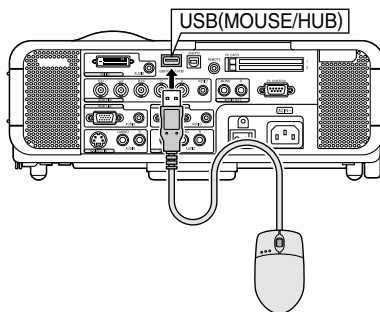
市販のUSBマウスを本機に接続すると、USBマウスを使って、オンスクリーンメニューなどを操作することができます。

また、本機とパソコンを添付のUSBケーブルで接続すると、本機に接続しているUSBマウスを使ってパソコンを操作することができます(▶ 56ページ)。

● USBマウスの接続

1 USBマウスの平形プラグを、本機のUSBポート(タイプA)に差し込む。

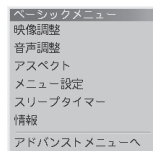
- USBマウスを接続すると、画面にマウスカーソルが表示されます。
- 約10秒間マウス操作を行わないと、マウスカーソルは消えます。
- 再びマウス操作を行うと、マウスカーソルが表示されます。



● USBマウスでの操作

1 USBマウスで左クリックする。

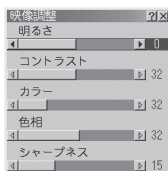
オンスクリーンメニュー(工場出荷状態は、ベーシックメニュー)が表示されます。



3 選択したい項目にマウスカーソルを移動し、左クリックする。

項目が選択されます。

【操作例】



- 調整は[◀] [▶]を左クリックします。
調整バーをクリックしたまま、左右にドラッグ(移動)して調整することもできます。
- 調整を確定する場合は、[×]を左クリックします。
- [?]を左クリックすると、その項目の[ヘルプ]を表示します。
- メニュー画面(調整ウインドウ)のタイトルバー部分を左クリックしたままドラッグすると、メニュー画面の表示位置を移動できます。
- メニュー画面以外のところを左クリックすると、オンスクリーンメニューが表示されます。
複数のメニュー画面(調整ウインドウ)を同時に表示しながら調整することができます。



- USBマウスによっては、本機で使用できないものがあります。
使用可能なUSBマウスについては、当社ホームページ (http://www.nevt.co.jp/pjs/support/move_check.html) をご覧ください。



- マウスポインタの形状(デザイン)は変更することができます。アドバンストメニューの[機器設定]→[メニュー設定(ページ1)]の[マウスポインタ]で選択します(➡ 103ページ)。
- “スクロールボタン”または“スクロールホイール”付きのUSBマウスの場合は、次の操作が行えます。
 - ・ [ヘルプ]などスクロールバーが表示されているメニュー上で、“スクロールボタン”または“スクロールホイール”を使って画面をスクロールすることができます。
 - ・ 各種調整メニュー上で、“スクロールボタン”または“スクロールホイール”を使って調整バーを動かすことができます。
 - ・ メニュー表示以外の部分にマウスポインタを動かして“スクロールボタン”または“スクロールホイール”をクリックすると、チョークボードツールバーの表示／消去ができます。

● 本機に接続したUSBマウスでパソコンのマウス操作を行う

1 市販のUSBマウスを本機に接続する (➡ 前ページ)。

2 添付のUSBケーブルを使用して、本機とパソコンを接続する(➡ 次ページ)。



- 本機にUSBマウスを接続して操作する場合、本機のUSBポート(タイプB)の接続状態によって、動作が異なります。
工場出荷時、USBマウスの動作は次のように設定されています。
 - ・ 本機とパソコンをUSBケーブルで接続しているとき
本機に接続しているUSBマウスで、パソコンのマウス操作が行えます。
 - ・ 本機とパソコンが接続されていないとき
本機に接続しているUSBマウスで、本機のオンスクリーンメニューを操作できます。
- USBマウスの動作は、アドバンストメニューの[機器設定]→[セットアップ]→[ページ2]→[マウス設定]の[操作モード]で切り替えることができます(➡ 107ページ)。
- Windows 98/Me/2000/XP以外のOSでは使用できません。

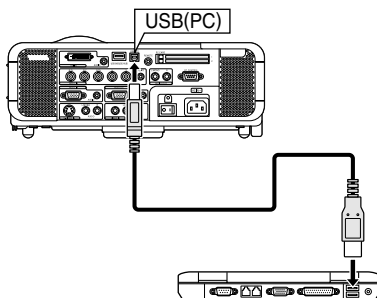
4-9. 本機のリモコンでパソコンのマウス操作を行う

本機のリモコンを使って、本機と接続しているパソコンのマウス操作を行います。リモコンは、パソコンモードに切り替えて操作します(● 48ページ)。

● USBケーブルの接続

添付のUSBケーブルを使用して、本機とパソコンを接続します。

1 USBケーブルの角形のプラグを本機 のUSBポート(タイプB)に差し込む。



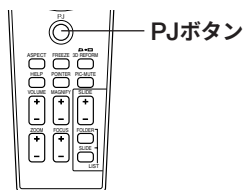
2 USBケーブルの平形のプラグをパソコンのUSBポート(タイプA)に差し込む。

- 注意**
- Windows 98/Me/2000/XPおよびMac OS以外のOSでは使用できません。
 - USBポートからプラグを抜いて再び差し込む場合は、抜いたあと5秒以上おいてから差し込んでください。瞬間的なプラグの差し込みを行うと、パソコンが本機を正しく認識できないことがあります。

● リモコンを使ったパソコンのマウス操作

1 本機のリモコンの (PJ) ボタンが赤く点灯していないことを確認する。

(PJ) ボタンが赤く点灯している場合は、(PJ) ボタンを押して、(PJ) ボタンを消灯してください。



2 (SELECT ▼▲▶▶) ボタン、(ENTER) ボタン、(CANCEL) ボタンを押してパソコンを操作する。

- (SELECT ▼▲▶▶) ボタン……マウスカーソルを移動します。
- (ENTER) ボタン …………… 左クリックの働きをします。
- (CANCEL) ボタン …………… 右クリックの働きをします。

- 参考**
- パソコンモードのとき (ENTER) ボタンを2～3秒押し続けてから離すとドラッグモードになります。そのまま (SELECT ▼▲▶▶) ボタンを押すとドラッグ操作ができます。ドラッグ&ドロップするときは (ENTER) ボタンを、ドラッグモードを解除するときは (CANCEL) ボタンを押します。
 - リモコンを使って、本機の音量調整やオンスクリーンメニューの選択を行う場合は、リモコンをプロジェクタモードに切り替えてください(● 48ページ)。

4-10. 投写画面に文字や図形を描く(チョークボード)

市販のUSBマウスを本機に接続すると、あたかも“ホワイトボードに図形を描く”ように、投写画面にフリーハンド(自由曲線)の図形を描くことができます。この機能を「チョークボード」と言います。

- PCカードスロットにフラッシュメモリカードをセットすると、チョークボード画面をキャプチャすることができます(70ページ)。
- チョークボードは、USBマウスを本機に接続していないとオンスクリーンメニューから選択できません(白文字)。
- チョークボードの状態では、オンスクリーンメニューは表示できません。メニューを表示する場合は、チョークボードを終了してください。
- 本体の(SOURCE)ボタンやリモコンの入力選択ボタンで入力信号が切り替えられたときは、チョークボードは強制終了します。
- キャプチャーツールバーを表示しているときにチョークボードを選択すると、キャプチャ機能は強制終了します。

チョークボード画面を表示する

準備：本機に市販のUSBマウスを接続してください(55ページ)。

1 USBマウスで左クリックする。

オンスクリーンメニュー(工場出荷状態は、ベリックメニュー)が表示されます。

- ・アドバンストメニューが表示された場合は、手順 3 へ進みます。

2 [アドバンストメニューへ]を左クリックする。

一時的にアドバンストメニューに切り替わります。

3 [ツール]→[チョークボード]を左クリックする。

画面の左下にチョークボードツールバーが表示されます。



参考

- USBマウスが“スクロールボタン”または“スクロールホイール”をクリックしても、チョークボードツールバーが表示できます。

チョークボードツールバー(各アイコンの働き)

-  **移動** 左クリックしたままドラッグすると、チョークボードツールバーを移動できます。
-  **ペン** 左クリックすると、マウскарソルがペンカーソルに変わり、描画モードになります。
ペン種類選択：左クリックするとペンの太さを選択できます。
-  **カラー** 左クリックして、ペンの色を選択します。
-  **キャプチャ** チョークボードで描いた図形と投写画面を合成し、キャプチャ(画面の保存)を実行します(71ページ)。
-  **消しゴム** 左クリックすると、マウскарソルが消しゴムカーソルに変わり、消去モードになります。
消しゴム種類選択：左クリックすると消しゴムの太さを選択できます。
-  **クリア** 左クリックすると、描画した絵柄がすべて消去されます。
-  **ドライブ** チョークボード画面をキャプチャ(画面の保存)するときのPCカードスロットを切り替えます。
-  **非表示** 左クリックすると、一時的にチョークボードツールバーを消します。
画面上で右クリックすると、チョークボードツールバーが表示されます。
-  **終了** 左クリックすると、チョークボードを終了します。画面上に描画した絵柄は消えます。

線を引く

- 1 [ペン]アイコンの▲を左クリックして、ペンの太さを左クリックで選択する。**
- 2 [カラー]アイコンを左クリックして、線の色を左クリックで選択する。**
- 3 [ペン]アイコンを左クリックする。**
マウскарソルをチョークボードツールバーからはなすと、マウскарソルがペンカーソルに変わります。
- 4 左クリックしたままマウスを移動する。**
マウスの軌跡通りに線が描かれます。



●線を消す

- 1** [消しゴム]アイコンの▲を左クリックして、消しゴムの大きさを左クリックで選択する。

マウスカーソルをチョークボードツールバーからはなすと、マウスカーソルが消しゴムカーソルに変わります。

- 2** 左クリックしたままマウスを移動する。

マウスの軌跡通りに線が消えます。

●画面全体を消去する

- 1** [クリア]アイコンを左クリックする。

描画した絵柄が消去されます。

● チョークボードを終了する

- 1** [終了]アイコンを左クリックする。

チョークボード画面が閉じます。

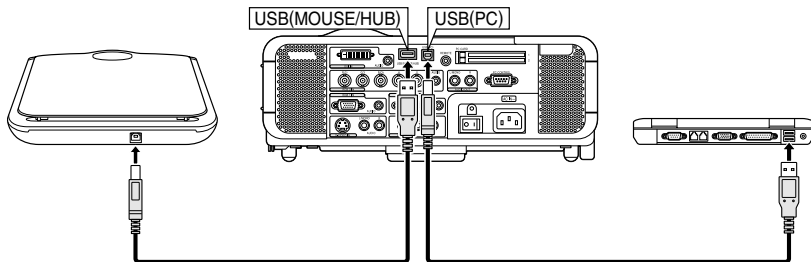
参考

- USBマウスの“ スクロールボタン ”または“ スクロールホイール ”をクリックしても、
チョークボードを終了できます。

4-11. 本機のUSBハブ機能を使用する

本機とパソコンを添付のUSBケーブルで接続して使用する場合、同時に本機のUSBポート(タイプA)にUSB対応のスキャナなどを接続して使用することができます(USBハブ機能)。

● 接続例：本機のUSBポートにパソコンとスキャナを接続する場合



● 使用例：スキャナで読み取った画像をプロジェクタで投写する

1 添付CD-ROMに収録しているDynamic Image Utilityをパソコンにインストールする。

- ・インストール方法については、アプリケーションガイドをご覧ください。

2 スキャナで画像を読み取る。

注意 ● スキャナドライバなどはすでにパソコンにインストールされているものとします。

3 スキャナで読み取った画像をDynamic Image Utilityで呼び出す。

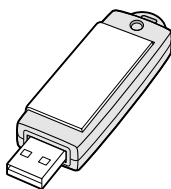
4 スキャナで読み取った画像を、USBケーブルを介してパソコンから本機(プロジェクタ)へ送信し投写する。

- 注意**
- 本機のUSBハブ機能は、アドバンスメニューの[機器設定]→[セットアップ]→[ページ2]→[マウス設定]の[操作モード]が「自動」に設定されているときに動作します。[マウス設定]の[操作モード]が「プロジェクタ」に設定されている場合は、本機のUSBポート(タイプA)にはUSBマウスしか接続できません。
 - 一部の「USBホストコントローラ」を採用しているパソコンと接続した場合は、動作しないことがあります。
 - 本機のUSBポート(タイプB)にUSBハブを接続する場合は、500mAの供給が可能なUSBハブ(セルフパワーハブ)を使用してください。外部電源がないUSBハブ(バスパワーハブ)などは動作しません。
 - 接続する機器によっては、本機のUSBハブ機能で認識できない場合があります。

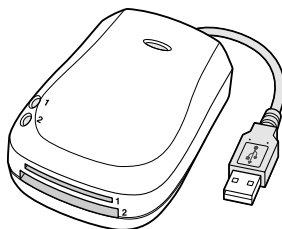
4-12. USBメモリ、およびUSBメモリカードリーダーを使用する

本書では、データの保存場所として、フラッシュメモリカードを主にして説明していますが、本機のビューワやセキュリティ(プロテクトキー)において、市販のUSBメモリが使用できます。また、市販のUSBメモリカードリーダーを本機に接続すると、各種メモリカード内のデータを扱ったり、各種メモリカードをプロテクトキーとして使用できます。

- 本機で使用可能なUSBメモリ、およびUSBメモリカードリーダーについては、当社ホームページ http://www.nevt.co.jp/pjs/support/move_check.html でご確認ください。
- 市販のUSBメモリ、またはUSBメモリカードリーダーの端子を、本機のUSBポート(タイプA)「USB(MOUSE/HUB)」に挿入します。
- ビューワツールバー(㊦ 68ページ)、キャプチャツールバー(㊦ 71ページ)、ファイル選択画面(㊦ 75ページ)の[ドライブ]で「USB1」～「USB4」を選択します。USBドライブは最大4つまで認識できます。
- セキュリティでプロテクトキー(㊦ 121ページ)として使用する場合は、[ドライブ]で「USB1」～「USB4」を選択します。



USBメモリ



USBメモリカードリーダー

注意

- 本機にUSBマウスを接続しているときは、USBメモリおよびUSBメモリカードリーダーは使用できません(HUBを使用した同時使用にも対応していません)。
- USBメモリ、またはUSBメモリカードリーダーのアクセスランプが点灯・点滅しているとき(メモリ内のデータを読み書きしているとき)は、次の操作に注意してください。誤った操作を行うと、USBメモリまたはメモリカードが破損するおそれがあります。重要なデータは、パソコンなどにバックアップをとっておいてください。
 - ・ 本機のUSBポートからUSBメモリを抜いたり、USBメモリカードリーダーの端子を抜かないでください。
 - ・ USBメモリカードリーダーからメモリカードを抜かないでください。
 - ・ 本機の主電源スイッチを切ったり、電源プラグを抜かないでください。
- 「USB1」～「USB4」のドライブ表示は、USBメモリまたはUSBメモリカードリーダーが本機に接続されているときのみ表示されます。また、USBメモリカードリーダー本体のドライブ表示と異なる場合があります。
- USBメモリおよびメモリカードによっては、本機のプロテクトキーとして使用できないものがあります。

第5章

ビューワを使う

.....

5-1. ビューワでできること	64
5-2. フラッシュメモリカードへ データを保存する	64
5-3. フラッシュメモリカードを 本機にセットする	65
5-4. フラッシュメモリカードのデータを映す (ビューワ)	67
5-5. 本機で投写している画像を保存する (キャプチャ)	70
5-6. ファイル一覧画面で選択する (ファイル選択)	74

5-1. ビューワでできること

ビューワとは、本機のPCカードスロットにフラッシュメモリカードをセットして、フラッシュメモリカード内のデータを投写する機能です。

ビューワには次のような特長があります。

- プレゼンテーションで使用する発表資料などを、あらかじめフラッシュメモリカードに保存しておくと、パソコンと本機を接続することなしに、発表資料をスクリーンに投写することができます。パソコンを持ち運ぶ必要がなく便利です。
- 本機を使って広告などを映す際、画像の自動切り替えができます。
- ワープロや表計算ソフトの画面、またはビデオ映像などをキャプチャし、ビューワで投写することができます(キャプチャ)。
- デジタルカメラで撮影した画像を投写できます(JPEG、BMPのみ)。
- JPEG、BMP、Text、HTML、Index*といった5種類のファイルを選択して投写できます(ファイル選択)。

*添付のCD-ROMに収録されているDynamic Image Utilityで作成したファイル形式。



- フラッシュメモリカードは、最寄りのパソコンショップなどでお買い求めください。
- 本機で使えるフラッシュメモリカードは、PCMCIA-Type 2(ATA仕様)のフラッシュメモリカードです。
- コンパクトフラッシュ、SDカードなどをアダプタを用いて変換した場合、本機で使えないことがあります。使用可能なカードについては、当社ホームページ(http://www.nevt.co.jp/pjs/support/move_check.html)をご覧ください。
- 本機は、FAT32形式やNTFS形式でフォーマットされたフラッシュメモリカードやUSBメモリを認識できません。本機にセットしたフラッシュメモリカードやUSBメモリが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。本機のビューワやセキュリティで使用するフラッシュメモリカードやUSBメモリは、FAT16形式またはFAT形式でフォーマットしてください。フォーマット方法については、お使いのWindowsの取扱説明書またはヘルプファイルを参照してください。

5-2. フラッシュメモリカードへデータを保存する

フラッシュメモリカードにデータを保存するには、次の方法があります。

● Dynamic Image Utilityを使う

添付のCD-ROMに収録されているDynamic Image Utilityをパソコンにインストールして、パソコンで作成したPowerPointファイルなどを、フラッシュメモリカードに保存します。

Dynamic Image Utilityで作成したファイルは、Index形式になります。

Dynamic Image Utilityについては、別冊の「アプリケーションガイド」およびDynamic Image Utilityのヘルプをご覧ください。

● Windowsのエクスプローラなどを使って、ファイルをコピーする

ビューワを使って投写できるのは、JPEG、BMP、Text、HTML、Index*などの形式のファイルです。

本機でファイルを選択する方法については、「5-6. ファイラー一覧画面で選択する(ファイル選択)」(74ページ)をご覧ください。

デジタルカメラで撮影した画像を保存する

デジタルカメラで撮影したJPEGおよびBMP形式のファイルを、フラッシュメモリカードにコピーしてください(77ページ)。

ワープロや表計算ソフトの画面、またはビデオ映像を保存する

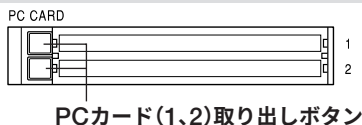
本機のキャプチャ機能を使用します。

詳しくは、「5-5. 本機で投写している画像を保存する(キャプチャ)」(70ページ)をご覧ください。

5-3. フラッシュメモリカードを本機にセットする

重要

- フラッシュメモリカードには表と裏があり、PCカードスロットに挿入する向きが決まっています。逆に挿入しようとしてもできないようになっていますが、無理に押し込もうとすると本体内のピンが折れて、PCカードスロットが壊れてしまいます。必ずラベル面を上に向けて挿入してください。
- 本機にはPCカードスロットが2つあり、上側を「1」、下側を「2」と番号を付けて呼びます。
フラッシュメモリカードを2枚セットしたり、フラッシュメモリカードとLANカードをセットできます。
- LANカードのセット／取り出しも、フラッシュメモリカードと同様に操作してください。



準備：本機の工場出荷時は、PCカードスロットに“ダミーカード”がセットされています。本機をご購入後、はじめてフラッシュメモリカードやLANカードをセットする際は、まずダミーカードを取り出してください(次ページ「PCカードスロットからの取り出し」)。

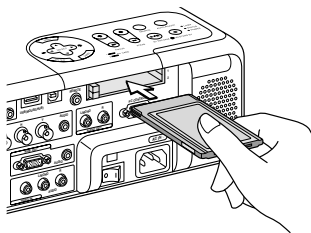
PCカードスロットを使用していないときは、ダミーカードをセットしておくことをおすすめします。PCカードスロット内にほこりや異物が入り込むのを防止することができます。

PCカードスロットへのセット

- 1 ラベル面を上にして水平にゆっくりと差し込む。

注意

- 挿入しづらい場合は、無理に押し込まないでください。



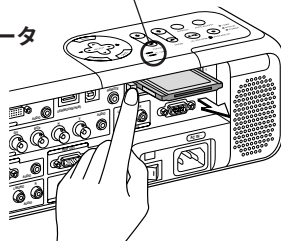
●PCカードスロットからの取り出し

- 1 PCカード(1、2)アクセスインジケータが消灯していることを確認する。

注意

- PCカードアクセスインジケータが点灯しているとき(カード内のデータを読み書きしているとき)は取り出さないでください。フラッシュメモリカードが破損します。

PCカード(1、2)
アクセス
インジケータ



- 2 PCカード(1、2)取り出しボタンをゆっくりと押す。

PCカード(1、2)取り出しボタンが約10mm手前に出てきます。

- 3 PCカード(1、2)取り出しボタンをゆっくりと押す。

セットしているカードが少し手前に出てきます。

- 4 フラッシュメモリカードをゆっくり引き出す。

- 5 PCカード(1、2)取り出しボタンをゆっくりと奥まで押し込む。

PCカード(1、2)取り出しボタンが押し込まれた位置でとまります。

5-4. フラッシュメモリカードのデータを映す(ビューフ)

ビューフをスタートする

準備：フラッシュメモリカードを本機のPCカードスロットにセットしてください
(65ページ)。

1 [SOURCE] ボタンを数回押して、「ビューフ」を選択する(37ページ)。

ビューフ画面が表示されます。

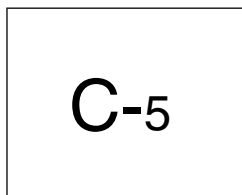
- ・リモコンで操作する場合は、[VIEWER] ボタンを押してください。
- ・オンスクリーンメニューから選ぶ場合は、[信号選択] で「ビューフ」を選択してください
(87ページ)。

ビューフ画面

・ビューフには次の3つの画面があります。

ビューフツールバーの各アイコンを選択して表示を切り替えます(68ページ)。

スライド画面



スライド一覧

C-1	C-2	C-3	C-4
C-5	C-6	C-7	C-8
C-9	C-10	C-11	C-12
03:0005/0012			

フォルダー一覧

A-1	B-1	C-1	D-1
E-1	F-1	G-1	H-1
I-1	J-1	K-1	L-1
03:0001/0012			

- ・スライド一覧では、最大12個のスライドが表示できます。
- ・フォルダー一覧では、最大12個のフォルダが表示できます。
- ・スライド一覧とフォルダー一覧の画面左下には、インデックスが表示されます。

【インデックス表示の意味】

01:0001/0012

- フォルダ内の全スライド数
- 選択しているスライド番号
- 選択しているスライドが入っているフォルダ番号



- ・フォルダー一覧では、最大12個のフォルダが表示できます。右下に表示されるフォルダは、キャプチャした画像専用フォルダです。キャプチャした画像が保存されているときに表示されます。
- ・本機のビューフで表示できる最大画像サイズは、2560×1920ドットです。本機の表示画素数を超える画像は、縮小して表示します。
- ・ビューフを選択しているときは、DVI入力部の音声入力端子に入力された音声信号がスピーカから出力されます。

ビューワツールバー(各アイコンの働き)

ビューワ画面の左下に、ビューワツールバーが表示されます。

- ビューワツールバーが表示されていない場合は、**(MENU)** ボタンを押してください。また、市販のUSBマウスを接続しているときは、右クリックしてください。



- | | | |
|--|----------------|---|
| | 移動 | USBマウスを接続時左クリックしたままドラッグすると、ビューワツールバーを移動できます。リモコンでは操作できません。 |
| | 逆送り | スライド一覧／フォルダー一覧で、選択項目を左に移動します。再生画面では、前の画面を表示します。 |
| | 順送り | スライド一覧／フォルダー一覧で、選択項目を右に移動します。再生画面では、次の画面を表示します。 |
| | 再生 | スライドの再生(投写開始)を行います。 <ul style="list-style-type: none">● スライド一覧画面のときは、選択しているスライドから再生します。フォルダー一覧画面のときは、選択しているフォルダの先頭のスライドから再生します。● 自動的にスライドを切り替える場合は、ビューワオプションで[自動再生]を選択します(106ページ)。 |
| | 停止 | スライドの自動再生時に、再生を停止します。 |
| | スライド一覧 | 選択されているフォルダのスライド一覧を表示します。 |
| | フォルダー一覧 | フォルダー一覧を表示します。 |
| | ドライブ | PCカードスロット1と2を切り替えます。 |
| | 設定 | ビューワオプションの設定画面を表示します(106ページ)。 |
| | 削除 | キャプチャした画像を削除します(73ページ)。キャプチャした画像以外は削除できません。 |
| | 表示 | ビューワツールバーを消します。 <ul style="list-style-type: none">● (CANCEL) ボタンを押しても消すことができます。● 再びビューワツールバーを表示するには、(MENU) ボタンを押します。また、USBマウスを接続しているときは、右クリックしてください。 |

スライドを投写する

- 1 スライド画面が表示されているときは、**(SELECT ◀/▶)** ボタンで  (フォルダー一覧) アイコンにカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。

フォルダー一覧が表示されます。

 A-1 	B-1	C-1	D-1
E-1	F-1	G-1	H-1
I-1	J-1	K-1	L-1
01:0001/0012			

- 2 **(SELECT ◀/▶)** ボタンで  /  (逆送り／順送り) アイコンにカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを数回押して、表示するスライドを含んだフォルダを選択する。

A-1	B-1	 C-1 	D-1
E-1	F-1	G-1	H-1
I-1	J-1	K-1	L-1
03:0001/0012			

- 3 **(SELECT ◀/▶)** ボタンで  (スライド一覧) アイコンにカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。

フォルダ内のスライドの一覧が表示されます。

 C-1 	C-2	C-3	C-4
C-5	C-6	C-7	C-8
C-9	C-10	C-11	C-12
03:0001/0012			

- 4 **(SELECT ◀/▶)** ボタンで  /  (逆送り／順送り) アイコンにカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを数回押して、画面に大きく投写したいスライドを選択する。

- 5 **(SELECT ◀/▶)** ボタンで  (再生) アイコンにカーソルを合わせ、**(ENTER)** ボタンを押す。

選択していたスライドが画面いっぱいに投写されます。

参考

- デジタルカメラで撮影した画像ファイルの中には、一覧表示用の画像が含まれている場合があります。一覧表示用の画像がある場合、本機ではスライド一覧およびフォルダー一覧でこれらの画像を表示します(一覧表示用の画像を表示できない場合もあります)。また、本機でキャプチャを行った場合、キャプチャ画像とともに一覧表示用の画像も作成されます。
- リモコンの (SLIDE +/-)、(FOLDER LIST)、(SLIDE LIST) ボタンを押して、フォルダやスライドを切り替えることもできます。
- ビューワツールバーが表示されていないときには、(SELECT ◀▶) ボタンで直接逆送り／順送りが行えます。また、フォルダー一覧画面、スライド一覧画面では、(ENTER) ボタンを押して、選択されている画像を画面いっぱいに投写することができます。

ビューワを終了する

1 (SOURCE) ボタンを押して、「ビューワ」以外の入力を選択する。

- リモコンで操作する場合は、(VIEWER) ボタン以外の (RGB) ボタンや (VIDEO) ボタンを押してください。
- オンスクリーンメニューから選ぶ場合は、[信号選択] で「ビューワ」以外を選択してください。

5-5. 本機で投写している画像を保存する(キャプチャ)

重要

- キャプチャ機能を使用して映像・写真・イラストなどを取り込んだり、取り込んだものを加工または編集する場合、著作権者の目的となっている著作物は、個人で使用する以外は、著作権法により権利者に無断で使用できません。

キャプチャをスタートする

準備：(1) フラッシュメモ리카ードを本機のPCカードスロットにセットしてください(▶ 65ページ)。
(2) メニューモードをアドバンスメニューに切り替えてください(▶ 81ページ)。

1 (MENU) ボタンを押す。

2 [ツール] にカーソルを合わせる。

サブメニューが表示されます。

3 [キャプチャ] にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

画面の左下にキャプチャツールバーが表示されます。



注意

- フラッシュメモ리카ードを本機にセットしていないと[キャプチャ]は選択できません。

●キャプチャツールバー(各アイコンの働き)



移動

USBマウスを接続時左クリックしたままドラッグすると、ビューワツールバーを移動できます。リモコンでは操作できません。



キャプチャ

キャプチャ(画面の保存)を実行します。



- キャプチャ中は、アイコンが表示されます。このとき、フラッシュメモリカードを抜いたり、本機の電源を切ったりしないでください。フラッシュメモリカードが破損します。
- キャプチャ(保存処理)が終了するまで、キャプチャツールバーは操作できません。



静止画

ビデオ映像やパソコンの動画を静止画にします。



アイコンを選択した瞬間の画像を、本機の静止画メモリに記憶します。もう一度アイコンを選択すると、動画に戻ります。



ドライブ

キャプチャ(画面の保存)するときのPCカードスロットを切り替えます。



終了

キャプチャツールバーを閉じ、キャプチャを終了します。

●画像をキャプチャする

1 保存したい画像を本機で投写する。

2 キャプチャツールバーを表示する
( 70ページ)。

3 (SELECT /▶) ボタンで  (キャプチャ) アイコンにカーソルを合わせ、
(ENTER) ボタンを押す。

画面が保存されます。



- キャプチャ中は、アイコンが表示されます。このとき、フラッシュメモリカードを抜いたり、本機の電源を切ったりしないでください。フラッシュメモリカードが破損します。
- キャプチャ(保存処理)が終了するまで、キャプチャツールバーは操作できません。

キャプチャ(保存処理)が終了すると、アイコンが消えます。



- キャプチャされた画像ファイルのサイズは、入力信号の解像度により異なります。
- キャプチャした画像は、JPEG形式で圧縮されるため、若干画質が劣化します。
- キャプチャには5~10秒かかります。解像度や絵柄によって、さらに時間がかかる場合があります。
- 正常に保存できなかったり、フラッシュメモリカードの空き容量がなくなった場合は、カードエラーが表示されます。



- ビデオ映像や動画をキャプチャするときは、 (静止画) アイコンで目的の画面を静止画にしてからキャプチャしてください。
- チョークボード画面をキャプチャすることもできます( 58ページ)。

●キャプチャした画像を表示する

1 ビューフに切り替えて、ビューワツールバーを表示する(● 67、68 ページ)。

2 ビューワーツールバーを操作して、フォルダー一覧を表示する。

- ・ (SELECT◀/▶) ボタンで  (フォルダー一覧) アイコンにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。

フォルダー一覧が表示されます。

 A-1 	B-1	C-1	D-1
E-1	F-1	G-1	H-1
キャプチャ専用フォルダ 01:0001/0012 Cap 1			

3 (SELECT◀/▶) ボタンで  /  (逆送り／順送り) アイコンにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを数回押して、画面右下のフォルダを選択する。

A-1	B-1	C-1	D-1
E-1	F-1	G-1	H-1
09:0001/0006 Cap 1			

4 (SELECT◀/▶) ボタンで  (スライド一覧) アイコンにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

キャプチャした画像の一覧が表示されます。

 Cap 1	Cap 2	Cap 3	Cap 4
Cap 5	Cap 6		
09:0001/0006			

5 (SELECT◀/▶) ボタンで  /  (逆送り／順送り) アイコンにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを数回押して、画面に大きく投写したい画像を選択する。

6 (SELECT◀/▶) ボタンで  (再生) アイコンにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

選択していた画像が画面いっぱいに投写されます。

- リモコンの (SLIDE +/−)、(FOLDER LIST)、(SLIDE LIST) ボタンを押して、フォルダやスライドを切り替えることもできます。
- キャプチャツールバーが表示されていないときには、(SELECT ◀/▶) ボタンで直接逆送り／順送りが行えます。また、フォルダ一覧画面、スライド一覧画面では、(ENTER) ボタンを押して、選択されている画像を画面いっぱいに投写することができます。

●キャプチャした画像を削除する

●キャプチャした画像の削除

1 ビューワーツールバーを操作して、フォルダ一覧を表示する。

- (SELECT ◀/▶) ボタンで  (フォルダ一覧) アイコンにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押します。

フォルダ一覧が表示されます。

 A-1 	B-1	C-1	D-1
E-1	F-1	G-1	H-1
キャプチャ専用フォルダ 01:0001/0012			
			Cap 1

2 (SELECT ◀/▶) ボタンで (順送り) アイコンにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを数回押して、画面右下のキャプチャ専用フォルダを選択する。

A-1	B-1	C-1	D-1
E-1	F-1	G-1	H-1
09:0001/0006			
			Cap 1  

3 (SELECT ◀/▶) ボタンで (スライド一覧) アイコンにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

キャプチャした画像の一覧が表示されます。

 Cap 1	Cap 2	Cap 3	Cap 4
Cap 5	Cap 6		
09:0001/0006			

4 (SELECT ◀/▶) ボタンで / (逆送り／順送り) アイコンにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを数回押して、削除したい画像を選択する。

5 (SELECT ◀/▶) ボタンで (削除) アイコンにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

選択していた画像が削除されます。

●キャプチャ専用フォルダの削除



- フォルダを削除すると、フォルダ内の画像はすべて削除されます。

- 1 前のページの手順 1 2 を行い、画面右下のキャプチャ専用フォルダを選択する。

A-1	B-1	C-1	D-1
E-1	F-1	G-1	H-1
09:0001/0006			
			Cap 1

- 2 (SELECT ◀/▶) ボタンで (削除) アイコンにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

キャプチャ専用フォルダが削除されます。

5-6. ファイル一覧画面で選択する(ファイル選択)

フラッシュメモリカード内のファイル一覧を表示し、選択します。

●ファイル選択をスタートする

- 準備：(1)フラッシュメモリカードを本機のPCカードスロットにセットしてください(☞ 65ページ)。
(2)メニューモードをアドバンスメニューに切り替えてください(☞ 81ページ)。

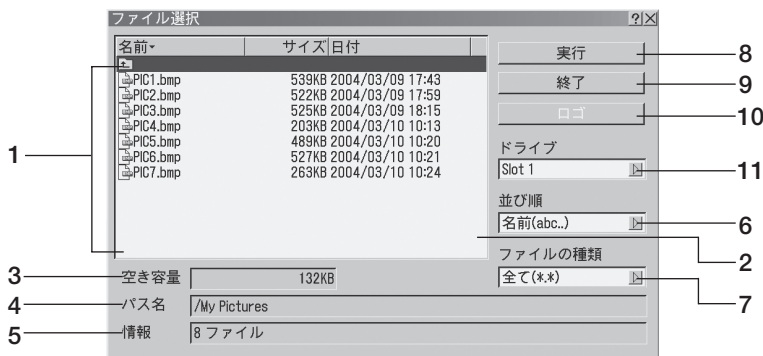
- 1 (MENU) ボタンを押す。
- 2 [ツール]にカーソルを合わせる。
サブメニューが表示されます。
- 3 [ファイル選択]にカーソルを合わせ、
(ENTER) ボタンを押す。
ファイル選択画面が表示されます。

注意

- フラッシュメモリカードを本機にセットしていないと[ファイル選択]は選択できません。



ファイル選択画面



1 ファイルリスト……フラッシュメモリカードに保存されているファイルのリストを表示します。

- リストには、ファイル名(拡張子付き)、サイズ(キロバイト単位)、日付(西暦、24時間表示)を表示します。
- (SELECT▼/▲)ボタンを押してカーソルを移動します。
- カーソルがファイルリストの最も上または最も下にあるときに(SELECT▲/▼)ボタンを押すと、リストがスクロールします(スクロールバーが表示されているときに限ります)。

2 スクロールバー……ファイルの数が、ファイルリストの最大表示数を超えたときに表示されます。

- USBマウス接続時は、スクロールバー上端の「▲」または下端の「▼」を左クリックすると、リストがスクロールします。

3 空き容量……フラッシュメモリカードの空き容量をキロバイト単位(KB)で表示します。

4 パス名……表示しているフォルダのパス名を表示します。

5 情報……ファイルリストの総ファイル数を表示します。

6 並び順……ファイル名／種類／日付／サイズを基準にして、昇順または降順にファイルリストを並び替えます。

- 項目にカーソルを合わせ、(SELECT▶)ボタンを押すとプルダウンリストが表示されます。

7 ファイルの種類……全て／Text／Index／HTML／JPEG／BMPの中から選択した種類のファイルをファイルリストに表示します。

- 項目にカーソルを合わせ、(SELECT▶)ボタンを押すとプルダウンリストが表示されます。
- [全て]を選択した場合は開けないファイルでもファイルリストに表示します。

8 実行……選択されたファイルを映します。

- 項目にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押します。
- ファイル形式がJPEGおよびBMPの画像を実行するとビュー画面に切り替わります。
- ビュー画面左下に表示されているツールバーの[戻る]アイコンにカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押すと、ファイル選択画面に戻ります。

9 終了……ファイル選択を終了し、オンスクリーンメニュー画面に戻ります。

- 項目にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押します。

10 ログ……パソコンで作成した画像ファイルを、本機のバックグラウンドログとして表示したいときに選択します。

11 ドライブ……PCカードスロット1と2を切り替えます。

●バックグラウンドロゴを変更する

- 準備：(1) バックグラウンドロゴにする画像をパソコンで作成し、フラッシュメモリカードに保存してください。
- ・画像のファイル形式はJPEGまたはBMPとし、ファイルサイズは256キロバイト以下にしてください。
- (2) フラッシュメモリカードを本機のPCカードスロットにセットしてください(🕒 65ページ)。
- (3) ファイル選択画面を表示してください(🕒 74ページ)。

1 ファイルリストのバックグラウンドロゴにしたい画像ファイルにカーソルを合わせる。

2 (SELECT▶) ボタンを押す。

[実行]にカーソルが移動します。

3 (SELECT▼) ボタンを押して、[ロゴ]にカーソルを合わせる。

4 (ENTER) ボタンを押す。

確認画面が表示されます。

5 (SELECT◀/▶) ボタンを押して[確定]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

本機のバックグラウンドロゴが変更されます。



- バックグラウンドロゴを変更すると、データリセットをしても工場出荷状態のロゴ(NECロゴ)には戻りません。
バックグラウンドロゴを、工場出荷状態のNECロゴに戻すには、添付のCD-ROMに収録されているNECロゴ(¥Logo¥nec_bb_x.jpg)をフラッシュメモリカードにコピーし、上記の手順でロゴを変更してください。

●キャプチャした画像をパソコンで削除・保存する

キャプチャした画像はパソコンで削除したりパソコンに保存することができます。パソコンでの削除はキャプチャされた画像すべてを一括して消去します。

●画像フォルダを削除する

1 キャプチャ画像を保存したフラッシュメモリカードを、パソコンのPCカードスロットにセットする。

2 エクスプローラなどで、セットしたフラッシュメモリカード内のフォルダを表示する。

3 [__cap__]というフォルダを削除する。

●画像をパソコンに保存するとき

1 キャプチャ画像を保存したフラッシュメモ리카ードを、パソコンのPCカードスロットにセットする。

2 エクスプローラなどで、セットしたフラッシュメモ리카ード内の[__cap__]フォルダを開く。

3 表示される○○○○.jpg(○○○○は任意の数字 .jpgはJPEGフォーマット形式を示す拡張子)の中から、必要なファイルをハードディスクに保存する。

参考

- ハードディスクなどに保存した画像ファイルは、Dynamic Image Utilityで呼び出し、プレゼンテーション資料として再びフラッシュメモ리카ードに保存することができます。

●デジタルカメラで撮影した画像を見る

キャプチャした画像およびデジタルカメラで撮影した画像を見る場合は、本体の(SOURCE)ボタンやリモコンの入力選択ボタン、またはオンスクリーンメニューより[ビュー]を選んで手動または自動で再生します。

以下の条件にあう場合には、ビューワでの再生が可能です。

- 画像をMS-DOSフォーマットのフラッシュメモ리카ードに保存できる。
- 本機に対応している形式(以下の条件)の画像で保存できる。
 - ビューワでは、カード内でのディレクトリを検索し、その中に存在するJPEGまたはBMP形式の画像をスライドとして認識します。
 - 表示の対象となるディレクトリは、ルートディレクトリから2階層かつ最初から12個までです。

注意

- スライドとして認識する画像は、1つのディレクトリにつき128枚までです。

参考

- 編集を行うには、デジタルカメラに添付されている専用ソフトウェアでフラッシュメモ리카ードから画像を読み込んで編集し、別のフラッシュメモ리카ードに画像を保存してください。
- デジタルカメラで撮影した画像ファイルの中には、一覧表示用の画像が含まれている場合があります。一覧表示用の画像がある場合、本機ではスライド一覧およびフォルダ一覧でこれらの画像を表示します(一覧表示用の画像を表示できない場合もあります)。また、本機でキャプチャを行った場合、キャプチャ画像とともに一覧表示用の画像も作成されます。

第6章

オンスクリーンメニュー

.....

6-1. オンスクリーンメニューの基本操作 …	80
6-2. オンスクリーンメニュー一覧	85
6-3. 信号選択	87
6-4. 映像調整	90
6-5. 音声調整	91
6-6. 画像設定	91
6-7. ピクチャーマネージメント	96
6-8. 機器設定	98
6-9. ツール	123
6-10. ヘルプ	124
6-11. データリセット	126

6-1. オンスクリーンメニューの基本操作

● オンスクリーンメニューの種類

本機で投写する画像の画質調整や、本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

本機のメニューには次の3つのモードがあり、お客様の用途に応じて切り替えることができます。

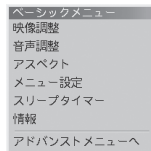
1. ベーシックメニュー……………本機の工場出荷状態のメニューです。最も基本的なメニュー項目を表示します。
2. アドバンスドメニュー……………本機のすべてのメニュー項目を表示します。
3. カスタムメニュー……………お客様のお好みによって、画面に表示するメニュー項目を選択できます。
カスタムメニューについて詳しくは、[メニュー設定]
( 103ページ)をご覧ください。

● メニューを操作する

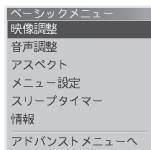
準備：本機の電源を入れて、スクリーンに画像を投写してください。

- 1** (MENU) ボタンを押す。

工場出荷状態では、ベーシックメニューが表示されます。

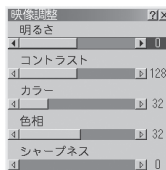


- 2** (SELECT▼/▲) ボタンを押して、[映像調整]にカーソルを合わせる。

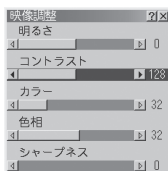


- 3** (ENTER) ボタンを押す。

映像調整画面が表示されます。



- 4** (SELECT▼/▲) ボタンを押して、調整バーを選択する。



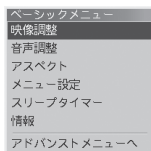
- 注意** • 入力信号によって、選択できない項目があります (▶ 90ページ)。

- 5** (SELECT◀/▶) ボタンを押して、映像の明るさやコントラストを調整する。

- 6** 必要に応じて手順**4**、**5**を繰り返す。

- 7** 映像の調整が終わったら、(ENTER) ボタンを押す。

メニュー画面に戻ります。



- 8** (CANCEL) ボタンを押す。

メニュー画面が消えます。

- 注意** • メニューを表示した状態で45秒間(工場出荷状態)操作をしないと、メニューは自動的に消えます。その場合、(MENU) ボタン、(ENTER) ボタン、(CANCEL) ボタン、(SELECT▼▲◀▶) ボタンのいずれかを押すと、消える前の状態のメニューが表示できます。
- メニューが自動的に消えるまでの時間は変更することができます (▶ 103ページ)。
 - インターレース信号の動画を映しているときにメニューを表示すると、画面が乱れることがあります。

メニューモードを切り替える

ベーシックメニューをアドバンスメニューに切り替えます。

- 1** (MENU) ボタンを押す。

ベーシックメニューが表示されます。

- 2** (SELECT▼) ボタンを押して[メニュー設定]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

メニュー設定画面が表示されます。

- 3** (SELECT▼) ボタンを押して[メニューモード]にカーソルを合わせ、(SELECT▶) ボタンを押す。

プルダウンリストが表示されます。

- 4** (SELECT▼) ボタンを押して[アドバンス]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

アドバンスメニューが選択されます。

- 5** (SELECT▼) ボタンを数回押して[確定]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

メニューモードがアドバンスメニューに切り替わり、サブメニューに戻ります。

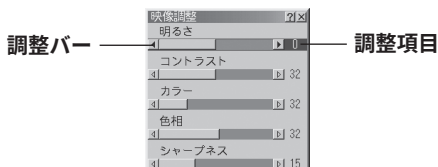
- 6 (CANCEL) ボタンを押す。
サブメニューが閉じます。
- 7 もう一度 (CANCEL) ボタンを押す。
メニューが消えます。
これで、アドバンストメニューに切り替わりました。

参考

- ベーシックメニューの一番下にある[アドバンストメニューへ]を選択すると、一時的にアドバンストメニューに切り替えることができます。

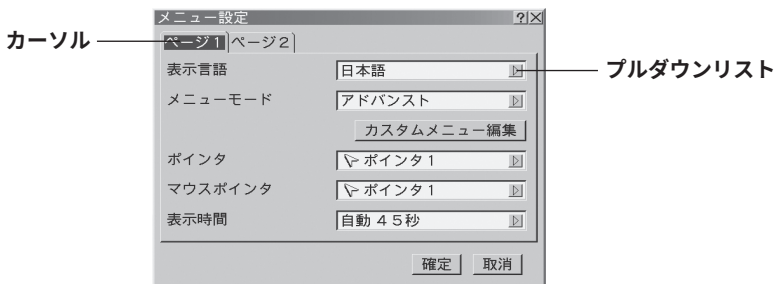
調整画面、設定画面の操作例

調整表示例



- 1 (SELECT▼/▲) ボタンを押して、調整する項目を選ぶ。
- 2 (SELECT◀/▶) ボタンを押して、調整する。

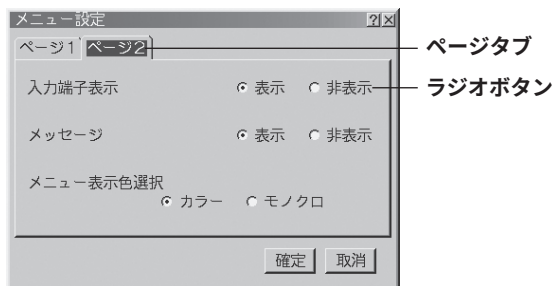
設定表示例 1



プルダウンリストの選択

リストの中から項目を選択します。

- 1 (SELECT▼/▲) ボタンを押して、設定項目を選ぶ。
- 2 項目名の右側に「▶」マークがある項目にカーソルを合わせ、(SELECT▶) ボタンを押す。
プルダウンリストが表示されます。
- 3 (SELECT▼/▲) ボタンを押して項目にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。



ページタブの選択

ページタブで複数ページにわかれた設定画面を切り替えます。

- 1 (SELECT▼/▲) ボタンを押して、ページタブにカーソルを合わせる。
- 2 (SELECT◀/▶) ボタンを押して、ページを切り替える。

ラジオボタンの選択

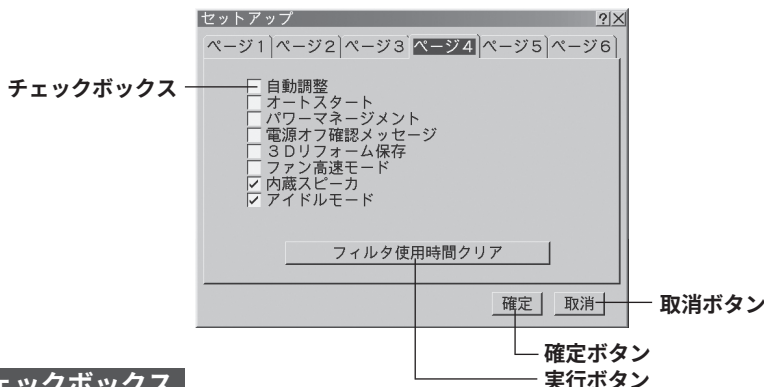
2～3個の選択肢から1つ「☒」を選びます。

- 1 (SELECT▼/▲) ボタンを押して、ラジオボタンの項目にカーソルを合わせる。
- 2 (SELECT◀/▶) ボタンを押す。

選択されているマーク(☒)が移動します。

- 3 選択する項目に「☒」を移動したら、(SELECT▼/▲) ボタンを押す。
別の設定項目に移動します。

●設定表示例 2



チェックボックス

複数の項目を選択できます。

- 1 (SELECT▼/▲) ボタンを押して、チェックボックスの項目にカーソルを合わせる。
- 2 (ENTER) ボタンを押す。
☐ にチェックマーク(☒)が付き、選択されたことを表します。
・チェックマーク(☒)を取り消す場合は、その設定項目にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押してください。チェックマーク(☒)が消えます。

設定ボタン または 実行ボタン

設定画面を表示します。または機能を実行します。

- 1 (SELECT▼/▲) ボタンを押して、[設定] ボタンの項目にカーソルを合わせる。
- 2 (ENTER) ボタンを押す。

設定ボタンの場合は、設定画面が表示されます。実行ボタンの場合は、機能を実行します。

確定ボタン

設定内容を確定します。

- 1 (SELECT▼/▲) ボタンを押して、[確定] ボタンの項目にカーソルを合わせる。
- 2 (ENTER) ボタンを押す。

設定が確定され、設定画面が消えます。

取消ボタン

設定内容を中止し、もとに戻します。

- 1 (SELECT▼/▲) ボタンを押して、[取消] ボタンの項目にカーソルを合わせる。
- 2 (ENTER) ボタンを押す。

設定が取り消され、設定画面が消えます。



注意

- 入設定ボタンや実行ボタンを選択して表示された設定画面内で確定した設定は、取消ボタンを選択しても、もとに戻せません。



参考

- 設定画面で (CANCEL) ボタンを押しても設定を取り消すことができます。

英数字の入力方法

[LANモード]のIPアドレスやプロジェクト名などの項目には英数字を入力します。

- 1 文字を入力する項目にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

文字入力画面が表示されます。

- USBマウスで操作している場合は、文字入力欄左側の▼を左クリックします。
- 文字入力画面には、英数字用と数字用の2種類があります。

英数字用



数字用



- 2 (SELECT▼▲◀▶) ボタンを押して、文字などにカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

文字が入力されます。

- 文字以外の項目は、次のような働きをします。
 - [◀] [▶] …… 英数字入力欄のカーソルを左右に移動します。
 - [モード] …… 英大文字、英小文字、特殊文字の切り換えを行います。
 - [SP] …… スペースを入力します。
 - [BS] …… カーソルの左側にある1文字を消します。
 - [確定] …… 入力した文字を確定して、文字入力画面を閉じます。
 - [取消] …… 入力した文字を取り消して、文字入力画面を閉じます。

- 3 (SELECT▼▲◀▶) ボタンを押して、[確定]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

入力した文字が確定して、文字入力画面が閉じます。

6-2. オンスクリーンメニュー一覧

は、各項目の初期値を表しています。

アドバンスメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	サブメニュー3	参照ページ	
信号選択	RGB1 RGB2 ビデオ S-ビデオ DVI(デジタル) ビューワ LAN			87	
	続き	ユーザー1／ユーザー2／ユーザー3			
	信号リスト（呼出／登録／カット／コピー／貼付け／編集／全削除）				
映像調整	明るさ／コントラスト／カラー／色相／シャープネス			88	
音声調整	音量	小←→大		90	
	低音	小←→大			
	高音	小←→大			
画像設定	アスペクト	(スクリーンタイプが4:3のとき)4:3／レターボックス／16:9／ワイドズーム (スクリーンタイプが16:9のとき)4:3／レターボックス／16:9／スタジアム		91	
	ブラッキング	上端／下端／左端／右端		92	
	位置・周波数	水平／垂直／クロック周波数／位相		93	
	解像度	フル／リアル		94	
	オーバースキャン	0％／5％／10％／25％		95	
	ビデオ帯域フィルタ	オフ／弱／強		95	
	ノイズリダクション	オフ／弱／中／強		95	
	信号形式	RGB／コンポーネント		95	
ピクチャー マネジメント	プレゼンテーション／sRGB／グラフィック／ビデオ／ムービー			96	
	ユーザー1	ガンマ補正	ダイナミック／ナチュラル／ソフト		
	ユーザー2	色補正	赤／緑／青／イエロー／マゼンタ／シアン／カラーゲイン		
	ユーザー3	色温度	5000／6500／7800／8500／9300／10500		
	ユーザー4	(ホワイトバランス)	明るさ赤／明るさ緑／明るさ青／コントラスト赤／ コントラスト緑／コントラスト青		
		参照	プレゼンテーション／sRGB／グラフィック／ビデオ／ムービー		
機器設定	3Dリフォーム		4点補正	98	
			台形補正	98	
	壁色補正		オフ／ユーザー1(自動／手動)／ユーザー2(自動／手動)／ ユーザー3(自動／手動)／ユーザー4(Auto Adjustボタン)(自動／手動)	99	
	メニュー 設定	ページ1	表示言語	English／Deutsch／Francais／ Italiano／Espanol／Svenska／日本語	102
			メニューモード	ベーシック／カスタム／アドバンスト	102
			カスタムメニュー編集		103
			ポインタ	ポインタ1／・・・／ポインタ9	103
			マウスポインタ	ポインタ1／・・・／ポインタ9	103
			表示時間	手動／自動5秒／自動15秒／自動45秒	103
		ページ2	入力端子表示	表示／非表示	104
			メッセージ	表示／非表示	104
			メニュー表示色選択	カラー／モノクロ	104
			セット アップ	ページ1	投写方法
	バックグラウンド	ブルーバック／ブラックバック／ロゴ			105
	RGB OUT端子設定	ラスト／RGB1／RGB2			106
	クローズドキャプション	オフ／キャプション1～4／テキスト1～4			106

ページ 2	ビューワオプション	フォルダー一覧(オン/オフ) 自動再生/手動再生 間隔(5~300秒)	106
	キャプチャオプション	高画質/標準/高圧縮	107
	マウス設定	ボタン設定(右手用/左手用) スピード設定(高速/標準/低速) 操作モード(自動/プロジェクト)	107
ページ 3	信号選択	RGB1 (RGB/コンポーネント/RGB/コンポーネント/Scart) RGB2 (RGB/コンポーネント/RGB/コンポーネント/Scart) ビデオ(自動判別/PAL-M/PAL-N/NTSC3.58/ NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/ PAL-N/PAL60/SECAM) S-ビデオ(自動判別/PAL-M/PAL-N/NTSC3.58/ NTSC3.58/NTSC4.43/PAL/PAL-M/ PAL-N/PAL60/SECAM)	107
ページ 4	自動調整	オン/オフ	108
	オートスタート	オン/オフ	108
	パワーマネージメント	オン/オフ	108
	電源オフ確認メッセージ	オン/オフ	108
	3Dリフォーム保存	オン/オフ	109
	ファン高速モード	オン/オフ	109
	内蔵スピーカ	オン/オフ	109
	アイドルモード	オン/オフ	109
	フィルタ使用時間クリア		109
ページ 5	リモコン受光部設定	前側/後側/左側/右側	110
	S-ビデオモード	オフ/S2	110
ページ 6	通信速度	4800/9600/19200/38400	110
	初期入力選択	ラスト/自動/指定 RGB1/RGB2/ビデオ/S-ビデオ/DI(デジタル)/ビューワ/LAN	111
	本体キーロック	有効/無効	111
ランプ設定	ランプモード	ノーマル/エコモード	111
	ランプ種類		111
スクリーン設定	スクリーンタイプ	4:3/16:9	112
	表示位置	下↔上	112
自動調整選択	フォーカス	オン/オフ	112
	壁色補正	オン/オフ	113
	スクエアショット	オン/オフ	113
		調整(内側合わせ/外側合わせ) 感度(弱/中/強)	
LAN モード	IPアドレス	自動/手動	115
		IPアドレス	
		サブネットマスク	
		プロジェクト名	
		ゲートウェイ	
		DNS設定	
		ドメイン名	
	通信モード	通信モード	116
		インフラストラクチャ/802.11アドホック/ アドホック/かんたん接続	
		SSID	
		チャンネル	
	WEP	通信速度	117
		WEP	
		キー選択	
	メール	キー1/キー2/キー3/キー4	118
		メール通知	
		差出人アドレス	
		SMTPサーバ名	
		宛先アドレス1/宛先アドレス2/宛先アドレス3	
		送信テスト	

参考

- ビューワまたはLANに切り替えると、DVI入力部の音声入力端子に入力された音声信号がスピーカーから出力されます。
- コンポーネント入力信号をRGB1およびRGB2の映像入力端子に接続している場合も、「RGB1」および「RGB2」を選択してください(29ページ)。

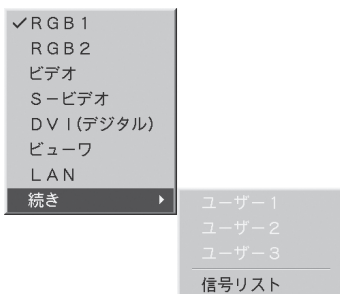
●信号リストを利用する

画像設定を少しでも行くと、信号の調整値が本機の「信号リスト」に自動的に登録されます。登録された信号(の調整値)は、必要なときに信号リストから呼び出すことができます。

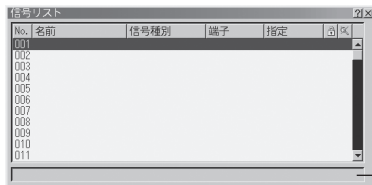
ただし、信号リストには100パターンまでしか登録できません。信号リストへの登録数が100パターンに達すると、それ以降エラーメッセージを表示して登録できなくなります。必要なくなった信号(の調整値)は、信号リストから削除してください。

●信号リストを表示する

- 1 [信号選択]のサブメニューで、[続き]にカーソルを合わせる。
さらにサブメニューが表示されます。



- 2 [信号リスト]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号リストが表示されます。



クリップボード

●投写している信号を登録する[登録]

- 1 信号リストで (SELECT▼/▲) ボタンを押して登録する番号にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。



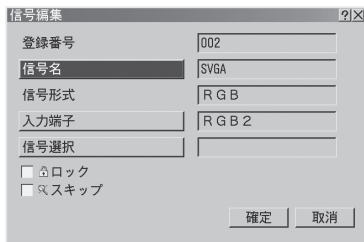
- 2 (SELECT◀/▶) ボタンを押して[登録]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

●信号リストから信号を選択する[呼出]

- 1 信号リストで (SELECT▼/▲) ボタンを押して選択する信号にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。
- 2 (SELECT◀/▶) ボタンを押して[呼出]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

●信号リストの項目を編集する[編集]

- 1 信号リストで (SELECT▼/▲) ボタンを押して編集する信号にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。
- 2 (SELECT◀/▶) ボタンを押して[編集]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集画面が表示されます。



信号編集

登録番号	002
信号名	SVGA
信号形式	R G B
入力端子	R G B 2
信号選択	
☐ ロック	
☐ スキップ	

確定 取消

- ・信号名 …… 最大英数18文字で、信号名を入力します。
 - ・入力端子 …… 入力端子の変更ができます。RGB信号は、RGB1／RGB2の切り替えができます。ビデオ、S-ビデオ信号は、ビデオ／S-ビデオの切り替えができます。
 - ・信号選択 …… 信号の選択方法を設定します。
 - ・ロック (🔒) … [✓] (チェックマーク) を付けておくと、[全削除]を行ったときに残しておくことができます。
 - ・スキップ (🔍) … [✓] (チェックマーク) を付けておくと、入力信号を自動検出するときにスキップすることができます。
- 3 各項目を設定し、[確定]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。



- 現在投写中の信号を編集する場合、信号名、信号選択は変更できますが、入力端子は変更できません。

●信号リストの項目を削除する[カット]

- 1 信号リストで (SELECT▼/▲) ボタンを押して削除する信号にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。
- 2 (SELECT◀/▶) ボタンを押して[カット]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号リストから削除され、信号リストの一番下の「クリップボード」に、削除した信号が表示されます。



- 現在投写中の信号を削除することはできません。



- クリップボードの内容は、信号編集コマンドの[貼付け]で信号リストに貼り付ける(複製する)ことができます。
- クリップボードの内容は、信号リストを閉じてでも消えません。

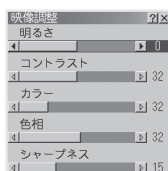
●信号リストの項目をコピーする[コピー][貼付け]

- 1 信号リストで (SELECT▼/▲) ボタンを押してコピーする信号にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。
- 2 (SELECT◀/▶) ボタンを押して[コピー]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号リストの一番下の「クリップボード」に、コピーする信号が表示されます。
- 3 (SELECT▼/▲) ボタンを押して、コピーしたい項目へカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。
- 4 (SELECT◀/▶) ボタンを押して[貼付け]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
クリップボードの内容がコピーされます。

●信号リストの項目をすべて削除する[全削除]

- 1 信号リストで、(ENTER) ボタンを押す。
信号編集コマンド画面が表示されます。
- 2 (SELECT◀/▶) ボタンを押して[全削除]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

6-4. 映像調整



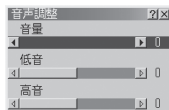
スクリーンに投写している映像の調整を行います。

調整項目は、明るさ、コントラスト、カラー、色相、シャープネスがありますが、入力信号によって調整できる項目が異なります。

入力信号	明るさ	コントラスト	カラー	色相	シャープネス
RGB1、2	○	○	×	×	×
DVI(デジタル)	×	×	×	×	×
コンポーネント	○	○	○	○	○
ビデオ、S-ビデオ	○	○	○	○	○

(○：調整可、×：調整不可)

6-5. 音声調整



本機の内蔵スピーカ、および音声出力端子(AUDIO OUT)から出される音量、低音、高音を調整します。

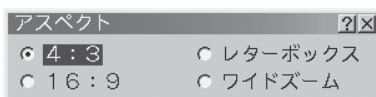
参考

- 工場出荷時、音量は最小に設定されています。
- 音量は、リモコンの (VOLUME+/-) ボタンでも調整できます。

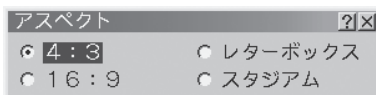
6-6. 画像設定

アスペクト

[スクリーンタイプ]が「4 : 3」のとき



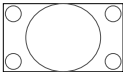
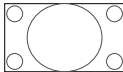
[スクリーンタイプ]が「16 : 9」のとき



画面の縦横の比率を選択します。

4 : 3	通常の画面サイズです。4 : 3の入力信号を4 : 3の画面サイズで映します。
レターボックス	16 : 9のレターボックス信号を映します。
16 : 9	16 : 9のスクイーズ信号入力時、垂直方向を圧縮して16 : 9の画面サイズで映します。
ワイドズーム	[スクリーンタイプ]が「4 : 3」のときに選択できます。16 : 9のスクイーズ信号入力時、左右に引き伸ばして4 : 3の画面サイズで映します。そのため、左右の両端は表示されません。
スタジアム	[スクリーンタイプ]が「16 : 9」のときに選択できます。4 : 3の入力信号を左右に引き伸ばして16 : 9の画面サイズで映します。

入力信号の例

投写されたイメージ		 4:3 ↓	 レターボックス ↓	 スクイーズ ↓	
スクリーンタイプ	4 : 3	 4:3	 レターボックス	 16:9	 ワイドズーム
	16 : 9	 4:3	 スタジアム	 レターボックス	 16:9

 は、選択項目を表しています。



- [解像度]を「リアル」に設定すると、アスペクトは白文字になり選択できません。また、アスペクトの設定は4 : 3になります。
- アスペクトを設定する前に、[スクリーンタイプ](4 : 3 / 16 : 9)を選択してください(112ページ)。
- 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機を使って映像を投写する場合、[アスペクト]や[スクリーンタイプ]などの画面サイズ切り替え機能を使って画面の圧縮や引き伸ばしを行うと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがあります。
- 3Dリフォームで投写画面の台形歪みを調整している場合、[アスペクト]の設定を変更できないことがあります。そのときは、3Dリフォームの調整値をいったんリセットし、[アスペクト]の設定を変更したあと、再度3Dリフォームで投写画面を調整してください。
[アスペクト]の設定を変更した場合、3Dリフォームの調整範囲が狭くなることがあります。

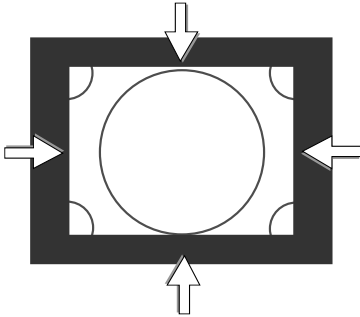


- スクリーンタイプを16 : 9にしているときは、[表示位置]で垂直位置を調整できます(112ページ)。
- ビデオ映像の標準アスペクト比4 : 3より横長の映像を、「レターボックス」と呼びます。映画フィルムのビスタサイズ1.85 : 1やシネマスコープ2.35 : 1のアスペクト比があります。
- アスペクト比16 : 9の映像を横方向にスクイーズ(圧縮)して4 : 3にした映像を、「スクイーズ」と呼びます。

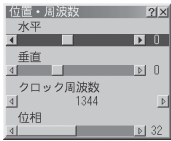
■ブランキング



映像信号の上端、下端、左端、右端の表示範囲(ブランキング)を調整します。



位置・周波数

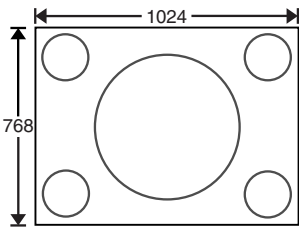
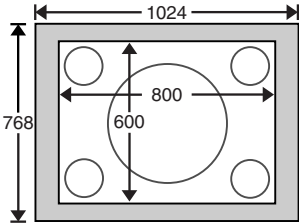


水平	画面を水平方向に移動します。
垂直	画面を垂直方向に移動します。
クロック周波数	画面の明るさが一定になる(明暗の縦帯が出なくなる)ように調整します。
位相	画面の色ずれ、ちらつきが最小になるように調整します。

解像度



RGB信号を投写するとき、(信号の解像度に関係なく)本機の表示画素数(1024×768ドット)になるように自動的に拡大・縮小して表示するか、信号の解像度のまま表示するかを選択します。

フル	信号の解像度(VGA、SVGA、XGA、SXGA、U-XGAなど)を、本機の表示画素数(1024×768)になるように自動的に拡大・縮小して投写します。	例：信号が800×600ドットの場合 
リアル	そのままの解像度で投写します。	例：信号が800×600ドットの場合 



- [解像度]を「リアル」に設定すると、[3Dリフォーム]、[アスペクト]、[スクリーン設定]、[オーバースキャン]は白文字になり選択できません。また、設定を「フル」に戻すまで、各調整値、設定値は工場出荷状態になります。
- 本機の表示画素数より上の解像度(SXGA、U-XGAなど)の信号を表示した場合、[解像度]は白文字になり選択できません。

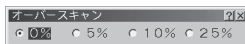


- 「フル」を選択した場合は、アドバンスド・アキュブレンドを使って拡大・縮小しています。

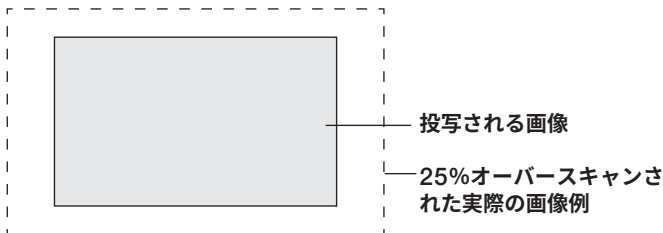
アドバンスド・アキュブレンドとは、パソコンの出力信号のドット数とプロジェクタの液晶パネルのドット数が一致しない場合(例：パソコン出力が1280×1024ドット、プロジェクタが1024×768ドット)や拡大表示する場合に、NEC独自のデジタル補間技術を用いて、より見やすい状態で解像度を変換し表示する技術です。

従来方式では、単純に間引いたり二度書きしているだけだったので、表の罫線が数本完全に消えてしまう、斜め線がギザギザになってしまうなど見づらい場合がありました。アドバンスド・アキュブレンドにより、そのような点が解消、軽減されました。

オーバースキャン



オーバースキャン(画面周囲のフレーム部分をカットする処理)の割合を設定します。



注意

- [解像度]を「リアル」に設定しているときは、白文字になり選択できません。また、[解像度]を「リアル」に設定すると、すでに設定しているオーバースキャンの設定は無効(0%)になります。
- [アスペクト]で「ワイドズーム」および「スタジアム」を選択しているときは、白文字になり選択できません。

ビデオ帯域フィルタ



RGB信号とコンポーネント信号の映像のざらつきやジッター(文字などの微妙な揺れ)を低減させます。

工場出荷状態は、あらかじめ信号ごとに適した状態に設定されています。信号によって、映像のざらつきやジッターが気になる場合に設定します。

ノイズリダクション



ビデオ信号、S-ビデオ信号、コンポーネント信号の映像のざらつきや色彩の濁りの原因となるノイズを低減させます。

信号形式

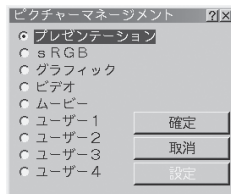


RGBまたはコンポーネント信号を投写したとき、画像の色彩が不自然な場合に設定を切り替えます。

[信号選択] (107ページ)を切り替えてもきれいに投写されない場合に、[信号形式]の設定を切り替えてみてください。

RGB	RGB入力に切り替えます。
コンポーネント	コンポーネント信号入力に切り替えます。

6-7. ピクチャーマネージメント



映像ソースに最適な設定を選択する

投写した映像に最適な設定を選択します。

鮮やかな色調にしたり、淡い色調にしたり、ガンマ(階調再現性)を設定できます。

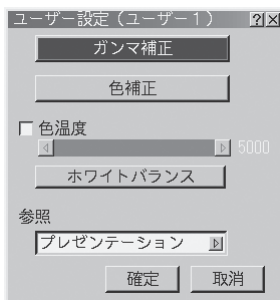
また、お好みの色調およびガンマにするための細かな調整ができ、調整値をユーザー 1～4に登録できます。

プレゼンテーション	PowerPointなどでプレゼンテーションを行うときに適した設定にします。
sRGB	sRGBに準拠した色が再現されます。
グラフィック	グラフィック画面に適した設定にします。
ビデオ	テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した設定にします。
ムービー	映画を投写するときに適した設定にします。
ユーザー 1～4	お客様のお好みに調整した設定にします。 調整値を登録するには、ユーザー 1～4のいずれかを選択し、 [設定]にカーソルを合わせ、 (ENTER) ボタンを押します。

参考

- 「sRGB」は、機器間の色再現の違いを統一するために、パソコンやモニタ、スキャナ、プリンタなどの色空間を規定・統一した国際標準規格です。1996年にHewlett-Packard社とMicrosoft社が策定し、1999年にIECの国際規格となりました。

ユーザー設定(ユーザー 1～4 選択時)



ガンマ補正、色補正、色温度、ホワイトバランスの項目について、細かな調整ができます。最初に、ユーザー設定画面の一番下にある[参照]から、調整のもととなるモードを選択してください。

●ガンマ補正

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

ダイナミック	メリハリのある映像設定です。
ナチュラル	標準的な設定です。
ソフト	信号の暗い部分が鮮明になります。

●色補正

赤、緑、青、イエロー、マゼンタ(紫)、シアン(明るい青緑)の各色の色味と色の濃さを調整できます。

赤	赤色を中心とした赤色付近の色を調整します。 黄あるいはマゼンタがかった赤色に調整できます。
緑	緑色を中心とした緑色付近の色を調整します。 黄あるいはシアンがかった緑色に調整できます。
青	青色を中心とした青色付近の色を調整します。 紫あるいはシアンがかった青色に調整できます。
イエロー	黄色を中心とした黄色付近の色を調整します。 赤あるいは緑がかった黄色に調整できます。
マゼンタ	マゼンタを中心としたマゼンタ付近の色を調整します。 赤あるいは青がかったマゼンタに調整できます。
シアン	シアンを中心としたシアン付近の色を調整します。 緑あるいは青がかったシアンに調整できます。
カラーゲイン	全体の色の濃さを調整します。

●色温度

色(R、G、B)のバランスを調整して色再現性を最良にします。色温度の ☒ (チェックマーク)を外すと、[ホワイトバランス]の調整が行えます。

右 ↓ 左	色温度が高くなり、青みがかった白になります。 色温度が低くなり、赤みがかった白になります。
-------------	--

注意

● ビューフおよびLANのときは、[ホワイトバランス]は選択できません。

●ホワイトバランス

信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

明るさ 赤 明るさ 緑 明るさ 青	画像の黒色を調整します。
コントラスト 赤 コントラスト 緑 コントラスト 青	画像の白色を調整します。

6-8. 機器設定

3Dリフォーム

4点補正



- 1 (SELECT **▼▲◀▶**) ボタンを押して、画面の外枠を動かしたい角の「▲」を選ぶ。
- 2 (ENTER) ボタンを押す。
- 3 (SELECT **▼▲◀▶**) ボタンを押して、画面の外枠を動かす。
- 4 (ENTER) ボタンを押す。
- 5 (SELECT **▼▲◀▶**) ボタンを押して、別の角の「▲」を選ぶ。
- 6 2～5 の操作を繰り返し、画面サイズを調整する。
- 7 画面サイズの調整が終わったら、4点補正画面で[終了]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
確認画面が表示されます。
- 8 (SELECT **◀▶**) ボタンを押して[確定]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
調整結果が確定します。
 - ・[取消]を選ぶと、4点補正画面に戻ります。
 - ・[リセット]を選ぶと、3Dリフォームの調整値を工場出荷状態に戻します。
 - ・[元に戻す]を選ぶと、4点補正を行う前の状態に戻ります。

台形補正



- 1 (SELECT **◀▶**) ボタンを押す。
水平方向の画面サイズが調整できます。
- 2 (SELECT **▼▲**) ボタンを押す。
「垂直」を選択します。
- 3 (SELECT **◀▶**) ボタンを押す。
垂直方向の画面サイズが調整できます。
- 4 画面サイズの調整が終わったら、(ENTER) ボタンを押す。
メニューに戻ります。



- [解像度]を「リアル」に設定しているときは、[3Dリフォーム]は白文字になり選択できません。また、[解像度]を「リアル」に設定すると、すでに設定している3Dリフォームの設定は無効(工場出荷状態)になります。
- [アスペクト]を「スタジアム」に設定しているときは、[4点補正]および[台形補正(水平)]は白文字になり選択できません。[台形補正(垂直)]のみ調整できます。
- 3Dリフォームで台形歪みを調整している場合、[アスペクト]や[スクリーン設定]が変更できなくなることがあります。そのときは、3Dリフォームの調整値をいったんリセットし、各設定を変更したあと、再度3Dリフォームで台形歪みを調整してください。[アスペクト]や[スクリーン設定]を変更した場合、3Dリフォームの調整範囲が狭くなることがあります。

- [台形補正]は電気的な補正を行っているため、画質が劣化する場合があります。
- レンズのズーム位置を最小にして[台形補正]を行い、その後ズーム位置を最大にすると、3Dリフォームの補正範囲をオーバーしてしまうことがあります。その場合は[台形補正]の補正值が工場出荷状態に戻ります。

参考

- (3D REFORM) ボタンを2秒以上押すと、3Dリフォームの調整値を工場出荷状態に戻すことができます。
- 市販のUSBマウスを本機に接続すると、4点補正をUSBマウスで操作することができます。その場合、「4点補正」画面は表示されません。
左クリックで4つの角の位置合わせを行い、右クリックで確認画面を表示します。
- 3Dリフォームでの調整範囲は次の通りです。
水平方向……………最大±約35度
垂直方向……………最大+約50度 ー約25度
※上記の最大調整範囲の条件(すべてを満たす場合)
 - ・ズームレバーをワイド側に最大にした場合。
 - ・入力信号がXGA信号の場合。
本機の表示画素数より上の解像度の信号を入力した場合は調整範囲が狭くなります。
 - ・メニュー項目を次のように設定した場合。
[アスペクト]……………「4：3」
[スクリーンタイプ](スクリーン設定)……………「4：3」
上記以外の設定では調整範囲は狭くなります。
 - ・水平・垂直を各々単独で調整した場合。
水平・垂直を組み合わせて調整すると、調整範囲は狭くなります。

壁色補正



情報欄

画像を投写する面がスクリーンではなく、部屋の壁などの場合、壁の色を本機前面のイメージセンサで感知し、最適な色合いに補正します。

ワンタッチで壁色補正を実行する「自動」と、R(赤)、G(緑)、B(青)、W(白)の各色ごとに設定する「手動」があります。

オフ	壁色補正を無効にします。
ユーザー1～4	壁色補正を実行します。 補正した壁色の状態は、4パターンまで保存することができます。
情報欄	ユーザー1～4を選択したときに、すでに設定されている調整方法(自動／手動)が表示されます。 ユーザー4 (Auto Adjustボタン) には、(AUTO ADJUST) ボタンまたは (AUTO ADJ.) ボタンを2秒以上押して[壁色補正]を実行したときの補正值が保存されます。

注意

- 極端な色や極端に明るいところでは、正常に補正できない場合があります。

【例】 柄、斑などがある壁、黒い壁、濃い原色の壁、光沢のある壁

- 上記のような状態の壁で自動壁色補正をした場合、「補正範囲を超えています。」というエラーメッセージが表示され、壁色補正が行われない場合があります。このエラーメッセージが表示された壁の状態では壁色補正はできません。
- イメージセンサの受光部の前に障害物があったり、周囲の光の影響により、イメージセンサが正常に動作しなかった場合、「壁色補正の自動調整に失敗しました。」というエラーメッセージが表示されます。この場合は、障害物を取り除いたり、周囲の光を変えたりして、再度自動壁色補正を行ってみてください。

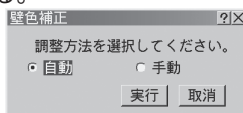
●自動壁色補正

- 1 壁色補正画面で、「ユーザー 1～4」のいずれかを選択し、[設定]にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。

調整方法選択画面が表示されます。

- すでに保存している調整値(壁色)に切り替える場合は、壁色補正画面で「ユーザー 1～4」のいずれかを選択し、[確定]にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押します。

- 2 「自動」にカーソルを合わせる。



- 3 (SELECT▼)ボタンを押して[実行]にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。
自動壁色補正が実行されます。

注意

- 自動壁色補正の有効範囲は、スクリーンサイズが40型から150型までです。

参考

- アドバンスドメニューの[機器設定]→[自動調整選択]で、「壁色補正」にチェックマークを付けると、(AUTO ADJUST)ボタンまたは(AUTO ADJ.)ボタンを2秒以上押したときに壁色補正の自動調整が行えるようになります(113ページ)。

●手動壁色補正

準備： 壁色補正を手動で行う際は、A3サイズ(297mm×420mm)ほどの白い紙を用意してください。

白い紙は、透過性のないもの、光沢のないもの、および汚れていないものにしてください。

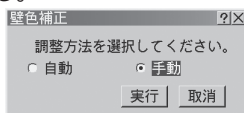
以降、手動の壁色補正で使用する白い紙を「壁色補正用スクリーン」と呼びます。

- 1 壁色補正画面で、「ユーザー 1～4」のいずれかを選択し、[設定]にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。

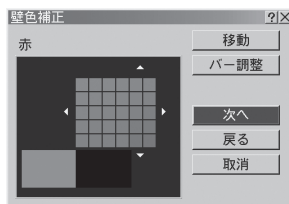
調整方法選択画面が表示されます。

- すでに保存している調整値(壁色)に切り替える場合は、壁色補正画面で「ユーザー 1～4」のいずれかを選択し、[確定]にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押します。

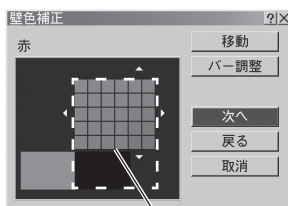
- 2 「手動」にカーソルを合わせる。



- 3 (SELECT▼) ボタンを押して[実行]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
手動壁色補正(赤)画面が表示されます。



- 4 手動壁色補正(赤)画面の点線部分に、壁色補正用スクリーンを固定する。
別の人に壁色補正用スクリーンを持ってもらったり、壁色補正用スクリーンを壁に軽く貼り付けるなどして固定してください。



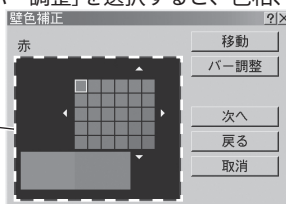
壁色補正用スクリーンの固定位置

注意

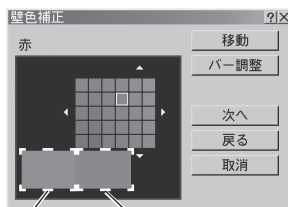
- 上の壁色補正画面の大きさは、投写するサイズによって変化します。

- 5 (SELECT◀/▶) ボタンで、壁色補正欄に青い枠を移動し、(ENTER) ボタンを押す。
壁色補正欄内の黄色い枠の色が壁色補正用スクリーンの部分に表示されます。
- 手動壁色補正(赤)画面で[移動]を選択すると、手動壁色補正(赤)画面の表示位置を移動することができます。
 - 手動壁色補正(赤)画面で[バー調整]を選択すると、色相、彩度、明るさのスライドバー調整が行えます。

壁色補正欄

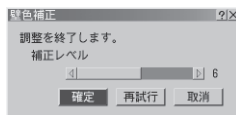


- 6** (SELECT ▼▲◀▶) ボタンで黄色い枠を移動する。
黄色い枠が移動すると、壁色補正用スクリーン部分の色も変化します。
壁色補正用スクリーン部分の色を、実際の壁に投写した部分の色にできるだけ近くなるように、黄色い枠を動かします。



実際の壁に投写した色 ————— 壁色補正用スクリーンに投写した色

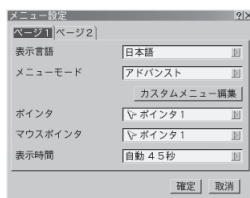
- 7** 壁色補正用スクリーン部分の色と、実際の壁に投写した部分の色がもっとも近付いたところで、(ENTER) ボタンを押す。
[次へ]にカーソルが移動します。
- 8** (ENTER) ボタンを押す。
手動壁色補正(緑)画面が表示されます。
- 9** **4** ~ **8** の操作を繰り返し、赤→緑→青→白に分けて壁色を調整する。
手動壁色補正(白)画面での調整が終わると、調整終了画面が表示されます。



- 10** 補正レベルバーにカーソルを合わせ、(SELECT ◀/▶) ボタンを押して色合いの微調整を行う。
- 11** [確定]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

メニュー設定

ページ 1



表示言語

メニューに表示される言語を選択します。



- 表示言語は、[データリセット]を行っても変更されません。

メニューモード

本機のオンスクリーンメニューには、次の3つのモードがあります。

アドバンスト	本機のすべてのメニュー項目を表示できます。
ベーシック	基本的なメニュー項目だけを表示します。
カスタム	表示したいメニュー項目を登録したり、解除したりできます。

参考

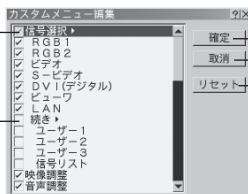
- 工場出荷状態は、「ベーシック」が設定されています。
- カスタムメニューへのメニュー項目の登録／解除は、[カスタムメニュー編集]で行います。

カスタムメニュー編集

カスタムメニューへのメニュー項目の登録／解除を行います。

メニュー項目として登録
されます。

メニュー項目が解除され
ます。



設定を決定します。

設定を取り消し(中止)ます。

工場出荷状態のカスタムメ
ニューに戻ります。

参考

- [信号選択]や[画像設定]など、メニュー項目名の右側に「▶」マークがあるのは、サブメニューの親項目です。
親項目にチェックマークを付けると、そのサブメニューが表示されます。親項目のチェックマークを外すとサブメニューは表示されません。
- 親項目にチェックマークがなく、そのサブメニュー項目にチェックマークが付いている場合は、チェックマークが付いたサブメニュー項目がトップメニューに表示されます。
- サブメニュー項目のチェックマークを1つでも外すと、親項目はグレー表示になります。
- カスタムメニューでは、1度に12項目(12行)までしか表示できません。

ポインタ

投写画面にポインタを表示する(🔍 50ページ)ときのポインタの形状(デザイン)を選択します。

マウスポインタ

市販のUSBマウスを本機に接続したときに画面に表示される(🔍 55ページ)マウスポインタの形状(デザイン)を選択します。

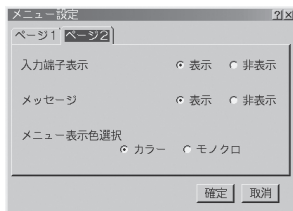
表示時間

メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動で閉じる時間を選択します。

注意

- メニューが自動的に画面から消えたあとに (MENU) ボタン、(ENTER) ボタン、(CANCEL) ボタン、(SELECT ◀▶) ボタンのいずれかを押すと、閉じる前に表示していた状態のメニューが表示されます。
ただし、メニューが閉じている間に入力信号を切り替えた場合は、閉じる前に表示していたメニューは表示されず、通常のメニュー操作と同様になります。

●ページ2



入力端子表示

画面右上に入力信号を表示するか、しないかを選択します。

「表示」を選択した場合は、次の表示を行います。

- 入力信号を切り替えたときに、画面右上に[RGB1]などの信号名を表示します。
- 信号が入力されていないとき、画面右上に[無信号]と表示されます。



- 画面右上の表示は、[表示時間]で設定している時間だけ表示されます。[表示時間]で「手動」を選択している場合、画面右上の表示は消えません。

メッセージ

投写画面下側に本機のメッセージを表示するか、しないかを選択します。

「非表示」を選択すると、次のメッセージを表示しません。

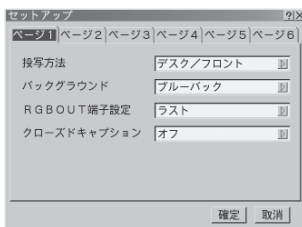
- ランプ時間の警告
- 「フィルタ清掃時期です。」
- パワーオフ3分前の予告
- 「しばらくお待ちください。」

メニュー表示色選択

本機のメニューをカラーで表示するか、モノクロで表示するかを選択します。

●セッティングアップ

●ページ1



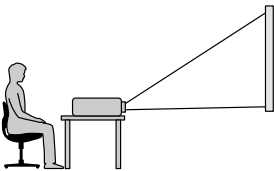
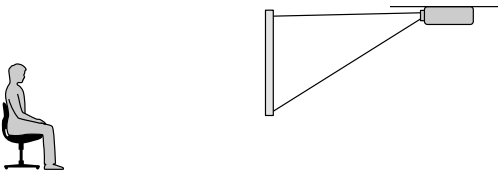
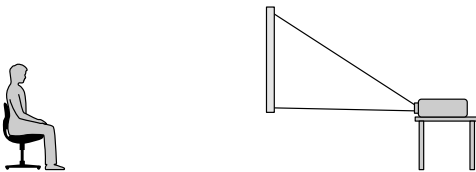
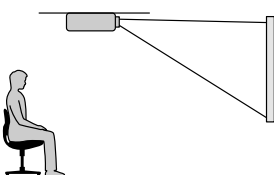
投写方法

本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。



警告

天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買い上げの販売店にご相談ください。
お客様による設置は絶対にしないでください。
落下してけがの原因となります。

デスク／フロント	テーブルに設置してスクリーンの前面から投写 
天吊り／リア	天井に設置してスクリーンの背面から投写 
デスク／リア	テーブルに設置してスクリーンの背面から投写 
天吊り／フロント	天井に設置してスクリーンの前面から投写 

バックグラウンド

入力信号が無いときの背景色を選択します。

ブルーバック	背景色が青色
ブラックバック	背景色が黒
ロゴ	背景に画像を表示



- 「ロゴ」を選択すると、工場出荷状態ではNECロゴが表示されます。
- 自作の背景をバックグラウンドに設定するには、「バックグラウンドロゴを変更する」をご覧ください(76ページ)。

RGB OUT端子設定

アイドル状態(▶ 109ページ)のときのRGBモニタ出力端子(RGB OUT)から出力するRGB信号を選択します。

ラスト	アイドル状態になる前に出力していたRGB信号を出力します。
RGB1	RGB1映像入力端子(RGB 1 IN)の信号をそのまま出力します。
RGB2	RGB2映像入力端子(RGB 2 IN)の信号をそのまま出力します。

クローズドキャプション

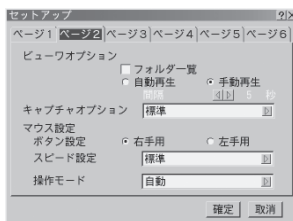
ビデオ信号にクローズドキャプション信号が含まれている場合に、字幕や文字を画面に表示します。

オフ	表示しません。
キャプション1～4、テキスト1～4	選択した字幕や文字を表示します。

参考

- クローズドキャプションは、アメリカで聴覚に障害を持つ人々のために、ビデオ信号などを画面に映し出す際、音声情報を字幕や文字で表示する技術です。

● ページ 2



ビューワオプション

ビューワ再生時の初期設定です。ビューワについては、63ページをご覧ください。

フォルダー一覧	ビューワを選択したときのスタートの状態を設定します。 <table border="1"> <tr> <td>☒ (チェックマークを付ける)</td><td>フォルダー一覧が表示されます。</td></tr> <tr> <td>☐ (チェックマークを外す)</td><td>スライド画面が映ります。</td></tr> </table>	☒ (チェックマークを付ける)	フォルダー一覧が表示されます。	☐ (チェックマークを外す)	スライド画面が映ります。
☒ (チェックマークを付ける)	フォルダー一覧が表示されます。				
☐ (チェックマークを外す)	スライド画面が映ります。				
自動再生／手動再生	ビューワツールバーの再生[▶]アイコンを選んだときの動作を選択します。 <table border="1"> <tr> <td>自動再生</td><td>スライドを自動で再生します。</td></tr> <tr> <td>手動再生</td><td>スライドを手動で再生します。</td></tr> </table>	自動再生	スライドを自動で再生します。	手動再生	スライドを手動で再生します。
自動再生	スライドを自動で再生します。				
手動再生	スライドを手動で再生します。				
間隔	自動再生時のスライド送り時間を設定します。 5～300秒まで1秒刻みで設定できます。 注意 ● Dynamic Image Utilityでスライドを作成し、再生間隔を設定している場合は、その時間が有効になります。				

キャプチャオプション

キャプチャ機能により取り込んだデータを圧縮(少なく)する設定です。

キャプチャされた画像はJPEG形式で圧縮されます。キャプチャについては、70ページをご覧ください。

高品質	画質を優先します。画像データ量は大きくなります。
標準	標準で圧縮します。
高圧縮	多少画質は劣化しますが、画像データ量が少なくなります。

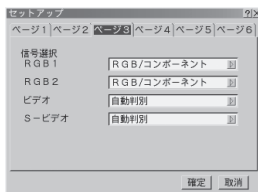
マウス設定

市販のUSBマウスを本機と接続すると、マウスを使用してメニュー操作ができます(▶ 55ページ)。

このときのマウスの設定です。

ボタン設定	マウスの左右ボタンの役割を入れ替えます。 <table border="1"> <tr> <td>右手用</td><td>マウスボタンが右手用の動作をします。</td></tr> <tr> <td>左手用</td><td>マウスボタンが左手用の動作をします。</td></tr> </table>	右手用	マウスボタンが右手用の動作をします。	左手用	マウスボタンが左手用の動作をします。
右手用	マウスボタンが右手用の動作をします。				
左手用	マウスボタンが左手用の動作をします。				
スピード設定	マウスを動かしたときのポインタの速度を3つのレベルから選択します。				
操作モード	本機のUSBポート(タイプA)に接続したUSBマウスの動作を設定します。 <table border="1"> <tr> <td>自動</td><td>本機のUSBポート(タイプB)とパソコンのUSBポート(タイプA)の接続状況によって、次のようにUSBマウスが動作します。 - 本機とパソコンを接続しているとき 本機に接続しているUSBマウスで、パソコンのマウス操作が行えます。 - 本機とパソコンを接続していないとき 本機に接続しているUSBマウスで、本機のメニューを操作します。 </td></tr> <tr> <td>プロジェクト</td><td>本機に接続しているUSBマウスで、本機のメニューを操作します。</td></tr> </table>	自動	本機のUSBポート(タイプB)とパソコンのUSBポート(タイプA)の接続状況によって、次のようにUSBマウスが動作します。 - 本機とパソコンを接続しているとき 本機に接続しているUSBマウスで、パソコンのマウス操作が行えます。 - 本機とパソコンを接続していないとき 本機に接続しているUSBマウスで、本機のメニューを操作します。	プロジェクト	本機に接続しているUSBマウスで、本機のメニューを操作します。
自動	本機のUSBポート(タイプB)とパソコンのUSBポート(タイプA)の接続状況によって、次のようにUSBマウスが動作します。 - 本機とパソコンを接続しているとき 本機に接続しているUSBマウスで、パソコンのマウス操作が行えます。 - 本機とパソコンを接続していないとき 本機に接続しているUSBマウスで、本機のメニューを操作します。				
プロジェクト	本機に接続しているUSBマウスで、本機のメニューを操作します。				

●ページ3



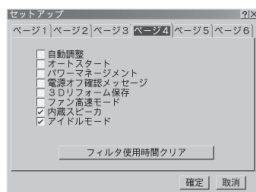
信号選択

RGB1入力端子(RGB 1 IN)、RGB2入力端子(RGB 2 IN)、ビデオ映像入力端子(VIDEO IN)、S-ビデオ映像入力端子(S-VIDEO IN)の信号モードの選択を行います。RGB1およびRGB2で「RGB/コンポーネント」を選択すると、RGB信号とコンポーネント信号の自動判別を行います。

自動判別できないとき、本機に接続している出力機器の信号モードに合わせてください。

RGB	DVDプレーヤなどのコンポーネント出力を、本機のRGB1入力端子(RGB 1 IN)およびRGB2入力端子(RGB 2 IN)と専用ケーブルで接続している場合などに設定します。
ビデオ／S-ビデオ	NTSCやPALなど、国によってテレビジョンの映像信号方式が異なります。 ビデオ映像入力端子(VIDEO IN)およびS-ビデオ映像入力端子(S-VIDEO IN)の入力信号の設定ができます。

● ページ 4



自動調整

調整されていないRGB信号に切り替わったときに、表示位置と画素のずれの調整を自動で行うかを設定します。

☒ (チェックマークを付ける)	表示位置と画素調整を自動で行います。
☐ (チェックマークを外す)	調整しません。



- 画像によっては、自動で行うと正しく調整できない場合や、信号を切り替えたとき調整までに時間がかかる場合があります。このようなときは手動で調整を行ってください。

オートスタート

本機の電源プラグに電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

☒ (チェックマークを付ける)	オートスタートが動作し本機の電源が入ります。
☐ (チェックマークを外す)	スタンバイ状態またはアイドル状態になります。



- オートスタートを有効にする場合は、本機の主電源スイッチを常に「入」にしておいてください。

パワーマネージメント

入力選択がRGB1、RGB2、ビデオ、S-ビデオ、DVI(デジタル)のとき、5分以上信号入力がないと自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態またはアイドル状態にします。

☒ (チェックマークを付ける)	自動的にスタンバイ状態またはアイドル状態になります。
☐ (チェックマークを外す)	パワーマネージメント機能は働きません。

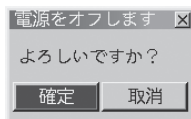
電源オフ確認メッセージ

電源を切るときに確認表示を出します。

☒ (チェックマークを付ける)	確認メッセージを表示します。
☐ (チェックマークを外す)	確認メッセージがでません。



- 設定を有効(チェックマークを付けたとき)にすると、本機の電源を切るときに次のようなメッセージが表示されます。



3Dリフォーム保存

[3Dリフォーム]で調整した調整値を保存します。電源を切っても調整値は失われません。

☒ (チェックマークを付ける)	本機の電源が切れる際に、本体内部のメモリに調整値を上書き保存します。
☐ (チェックマークを外す)	次に本機の電源を入れたときに、調整値を工場出荷状態に戻します。

ファン高速モード

本機内部の温度を下げるための冷却ファンを、常に高速で回転させます。

☒ (チェックマークを付ける)	常に高速で回転します。
☐ (チェックマークを外す)	本機内部の温度センサにより、適切な速度で回転します。



- 数日間連続して本機を使用する場合は、必ずチェックマークを付けてください。

内蔵スピーカ

内蔵スピーカから音声を出します。

オーディオケーブルを接続し、別のオーディオ機器から音声を出す場合は☒ (チェックマーク)を外してください。

☒ (チェックマークを付ける)	内蔵スピーカの音声が出ます。
☐ (チェックマークを外す)	内蔵スピーカから音声が消えます。

アイドルモード

本機のスタンバイ状態をアイドル状態に切り替えます。

☒ (チェックマーク)を付けると、本機の電源を切ったときにアイドル状態になります。アイドル状態では次のことが可能になります。

- ・RGBモニタ出力端子(RGB OUT)から映像信号が出力されます(▶「RGB OUT端子設定」106ページ)。
- ・本機とパソコンをUSBケーブルで接続し、添付CD-ROMのDynamic Image Utilityを使って、パソコン側の操作で本機の電源を入れることができます。
- ・本機とパソコンをLAN環境で使用しているとき、HTTPサーバ機能が使用できます(▶ 134ページ)。

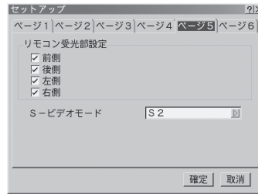
フィルタ使用時間クリア

フィルタの清掃または交換を行ったときに[フィルタ使用時間]をクリアします。



- 確定をすると、[セットアップ]画面で取消をしてももとは戻りません。
- フィルタ使用時間は、[データリセット]ではクリアされません。

●ページ5



リモコン受光部設定

リモコンを赤外線送信で使用する時、本機の前後左右4箇所にあるリモコン受光部を有効／無効にします。

☒ (チェックマークを付ける)	この方向からのリモコンの赤外線送信を受け付けます (リモコン操作ができます)。
☐ (チェックマークを外す)	この方向からのリモコンの赤外線送信を受け付けません (リモコン操作ができなくなります)。



- すべての受光部のチェックマークを外すと、赤外線送信の場合のリモコン操作ができなくなります。
- リモコンと本機をリモコンケーブルで接続して使用する場合は、[リモコン受光部設定] を変更する必要はありません。

S-ビデオモード

S-ビデオ入力信号に含まれているS2識別信号を検知して、16：9のスクイーズ信号を適切なアスペクト比で表示できます。

オフ	S2識別信号を判別しません。
S2	S2識別信号を判別します。

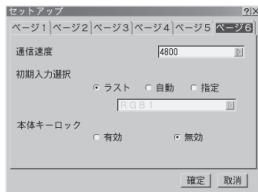


- S2識別信号を検知しているときは、[アスペクト]を切り替えることができません。



- アスペクト比16：9の映像を横方向にスクイーズ(圧縮)して4：3にした映像を、「スクイーズ」と呼びます。

●ページ6



通信速度

PCコントロール端子(PC CONTROL)のデータ転送速度の設定を行います。接続する機器と転送速度を合わせてください。

初期入力選択

本機の電源を入れたとき、どの入力信号(入力端子)にするかの設定を行います。

ラスト	最後に映した入力信号を映します。
自動	入力信号の自動検出を行い、最初に見つかった入力信号を映します。
指定	設定した入力信号を映します。指定を選択した場合は、次の項目(RGB1／RGB2／ビデオ／S-ビデオ／DVI(デジタル)／ビューワ／LAN)で目的の入力信号を選択します。

本体キーロック

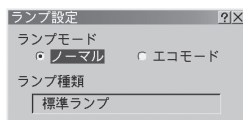
プロジェクタ本体にある操作ボタンを動作しないようにします。

有効	本体操作部のボタンがきかなくなります。
無効	本体操作部のボタンが動作します。



- 本体操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。
- 本体操作ボタンがロックされているときに、本体の (CANCEL) ボタンを約10秒間押すと、ロックが解除されます(本体キーロックの設定が無効になります)。

ランプ設定



●ランプモード

小さいスクリーンサイズで映して画面が明るすぎるときや、暗い室内で映す場合、ランプモードを「エコモード」にし、ランプ寿命を延ばすことができます。

ノーマル	ランプの輝度が100%になります。明るい画面になります。
エコモード	ランプの輝度が約80%になります。ランプ寿命が延びます。



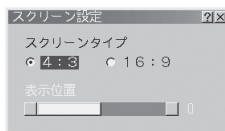
- 長寿命ランプを使用しているときは、[ランプモード]の切り替えができません。

●ランプ種類

セットしているランプの種類が表示されます。

ランプ種類	ランプ使用時間		形名
	ノーマルモードでのみ使用 (最小)	エコモードでのみ使用 (最大)	
標準ランプ	2000時間	3000時間	MT70LP
長寿命ランプ	4000時間		MT60LPS

●スクリーン設定



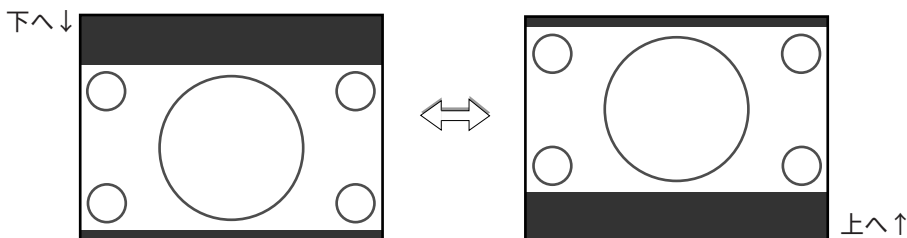
●スクリーンタイプ

投写するスクリーンの比率を設定します。

4 : 3	縦横比が4 : 3のスクリーンの場合。
16 : 9	縦横比が16 : 9のスクリーンの場合。

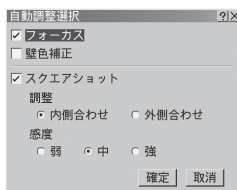
●表示位置

[スクリーンタイプ]が「16 : 9」のときに、表示領域の垂直位置を調整します。



- スクリーンタイプを変更したら、必ず[アスペクト]の設定を確認してください(▶ 91ページ)。
- [解像度]を「リアル」に設定すると、[スクリーン設定]は白文字になり選択できません。また、スクリーンタイプの設定は4 : 3になります。
- [スクリーンタイプ]が「4 : 3」のとき、および[アスペクト]が「レターボックス」のときは、[表示位置]は白文字になり選択できません。
- 3Dリフォームで投写画面の台形歪みを調整している場合、[スクリーンタイプ]および[表示位置]の設定を変更できないことがあります。そのときは、3Dリフォームの調整値をいったんリセットし、[スクリーンタイプ]や[表示位置]の設定を変更したあと、再度3Dリフォームで投写画面を調整してください。
[スクリーンタイプ]や[表示位置]の設定を変更した場合、3Dリフォームの調整範囲が狭くなることがあります。

●自動調整選択



●フォーカス

(AUTO ADJUST) ボタンまたは (AUTO ADJ.) ボタンを2秒以上押したときの[フォーカス]を有効／無効にします(▶ 40ページ)。

☒ (チェックマークを付ける)	オートフォーカスが作動します。
☐ (チェックマークを外す)	オートフォーカスは作動しません。

●壁色補正

(AUTO ADJUST) ボタンまたは (AUTO ADJ.) ボタンを 2 秒以上押したときの [壁色補正] を有効／無効にします (● 99 ページ)。

(AUTO ADJUST) ボタンまたは (AUTO ADJ.) ボタンを 2 秒以上押して [壁色補正] を実行したときの補正值は、[壁色補正] の「ユーザー 4 (Auto Adjust ボタン)」の補正值として保存されます。

☒ (チェックマークを付ける)	壁色補正が作動します。
☐ (チェックマークを外す)	壁色補正は作動しません。

●スクエアショット

3 D リフォーム (4 点補正) 画面が表示中に (AUTO ADJUST) ボタンまたは (AUTO ADJ.) ボタンを 2 秒以上押したときのオートスクエアショット (自動補正機能) を有効／無効にします (● 00 ページ)。

☒ (チェックマークを付ける)	オートスクエアショットが作動します。		
	調整	内側合わせ	スクリーンの内側に収まるように投写画面を補正します。
		外側合わせ	スクリーンより少し大きめに投写画面を補正します。
	感度(弱／中／強)		スクリーン内の線などを検出してしまうときは「弱」に、またスクリーンが検出できないときは「強」に設定します。
☐ (チェックマークを外す)	オートスクエアショットは作動しません。		

注意 ● [調整] で「内側合わせ」に設定し、オートスクエアショットを実行してスクリーンの内側に補正できなかった場合は、自動的にスクリーンより少し大きめに投写画面を補正します。

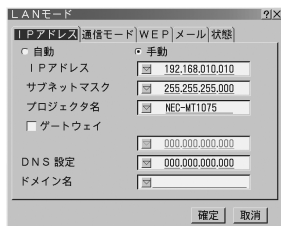
参考 ● [フォーカス] と [壁色補正] のどちらにも、チェックマークが付いていない場合、(AUTO ADJUST) ボタンまたは (AUTO ADJ.) ボタンを 2 秒以上押すと、映像の自動調整 (● 43 ページ) が実行されます。

LANモード

重要

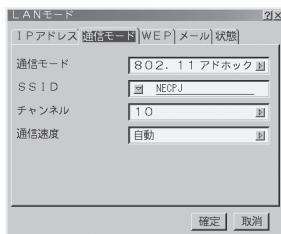
- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- 本機のPCカードスロットにLANカードをセットしてください。
- 当社にて動作確認をしていないLANカードを、本機のPCカードスロットにセットすると、本機が誤動作する場合があります。その場合は、すみやかに本機の電源を切り、LANカードを本機のPCカードスロットから取り出してください。
- 使用可能な有線LANカードについては、NECプロジェクタ・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。
無線LANを使用する場合は、別売の無線LANカード(形名 SWL-2100N-NJ)をお買い求めください。
- LANカードのセット／取り出しは、本機の主電源スイッチが「O(切)」のとき、またはスタンバイ状態のときにのみ行ってください。
本機の電源が入っているときやアイドル状態のときにLANカードのセット／取り出しを行うと、LANカードが壊れる場合があります。
- PCカードスロットへのセット方法は、「5-3. フラッシュメモ리카ードを本機にセットする」(65ページ)を参考にしてください。
- LANカードは、PCカードスロット1と2のどちらにもセットすることができます。
PCカードスロット1と2の両方にLANカードをセットしている場合は、先にセットしたLANカードが有効になります。

●IPアドレス



自動／手動	本機を接続するネットワークが、DHCPサーバによってIPアドレスを自動的に割り当てる場合は、「自動」を選択します。自動的に割り当てられない場合は、「手動」選択し、下の「IPアドレス」と「サブネットマスク」を設定してください。 ・自動……DHCPサーバによってIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが自動的に割り当てられます。 ・手動……ネットワーク管理者から割り当てられたIPアドレスやサブネットマスクを設定します。	—
IPアドレス	上の項目で「手動」を選択した場合に、本機を接続するネットワークにおける本機のIPアドレスを設定します。	数字 12文字
サブネットマスク	上の項目で「手動」を選択した場合に、本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。	数字 12文字
プロジェクト名	本機を含む複数のプロジェクトがLANに接続されている場合、パソコン側でプロジェクトを識別するのに使います。	英数字、記号 最大16文字
ゲートウェイ	本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。上の[自動／手動]で「手動」を選択したときのみ設定できます。 ・☒ (チェックマークを付ける) …… 以下でデフォルトゲートウェイとして設定したアドレスを有効にします。 ・☐ (チェックマークを外す) …… デフォルトゲートウェイを設定しません。	数字 12文字
DNS設定	本機を接続するネットワークのDNSサーバのIPアドレスを設定します。	数字 12文字
ドメイン名	本機を接続するネットワークのドメイン名を設定します。	英数字 最大60文字

●通信モード(無線LAN使用時のみ設定が必要)



通信モード	無線LANを使用するときの通信方式を選択します。 ・インフラストラクチャ…… アクセスポイントを経由して、有線LANや無線LANで接続されている複数の機器と通信を行うときに選択します。 ・802.11アドホック…… 通信手段として無線LANのみを使って、本機とパソコンを1対1で通信する際に選択します。IEEE 802.11規格に準拠した方式です。 ・アドホック…… 通信手段として無線LANのみを使って、本機とパソコンを1対1で通信する際に選択します。 ・かんたん接続…… パソコンと本機の無線LAN(通信モード：アドホック)を簡単に設定するモードです。	—
SSID	無線LANの識別名(SSID)を入力します。SSIDが一致する機器とのみ、通信が行えます。	英数字 最大32文字 注：大文字と小文字は区別されます。
チャンネル	[通信モード]で「802.11アドホック」または「アドホック」を選択した場合に設定します。 1～14の値を設定できます(国によって使用できるチャンネルが異なります)。 無線LANで通信をする機器同士は、同じチャンネルにしてください。	—
通信速度	無線転送速度を設定します。 通常は自動判別しておきます。うまくつながらない場合は、値を変えてみてください。	—



●「かんたん接続」については「アプリケーションガイド」をご覧ください。

●WEP(無線LAN使用時のみ設定が必要)

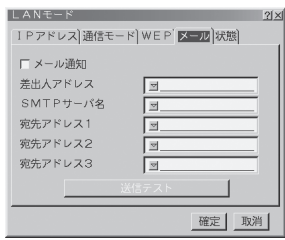


WEP	WEP(暗号化)をするかしないかを選択します。 暗号化する場合は、暗号キーを設定します。 ・無効 …… WEP(暗号化)を行いません。他人から通信内容を傍受されるおそれがあります。 ・64bit …… 秘密鍵に64bit長のデータを使います。 ・128bit …… 秘密鍵に128bit長のデータを使います。64bit長のデータを使った暗号化に比べ、セキュリティ面で強化されています。 注意 ●WEPは、無線をする相手の機器(パソコンやアクセスポイント)と同じ設定にしてください。 ●WEPを使用すると、画像転送速度が低下します。	—
キー選択	[WEP]で「64bit」または「128bit」を選択した場合、下のキー1～キー4のどの暗号キーを使うかを選択します。	—
キー1／キー2／ キー3／キー4	[WEP]で「64bit」または「128bit」を選択した場合、暗号キーを入力します。	英数字 (64bitの場合) 5文字、 (128bitの場合) 13文字



- キーは16進数で設定することもできます。
 - ・キーの先頭に、0X(ゼロ、エックス)を入力します。
 - ・16進数は、0～9とA～Fを使用します。
 - ・設定が必要な文字数は、64bitの場合は10桁、128bitの場合は26桁です。

●メール

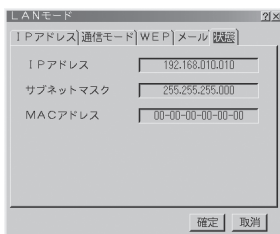


メール通知	本機をLANに接続して使用する場合、本機のランプ寿命や各種エラーが発生したときに、本機の状態をEメールでパソコンなどへ通知します。 ・☒ (チェックマークを付ける) …… 以下の設定に基づいてメール通知機能が働きます。 ・☐ (チェックマークを外す) ……… メール通知機能は停止します。 【本機から送信されるEメールの例】 ランプの交換時期です。新しいランプに交換してください。 プロジェクト名：xxxx ランプ使用時間：xxxx [H] 機器使用時間：xxxx [H]	—
差出人アドレス	本機からEメールを送信する際の差出人アドレスを設定します。 Eメールの「from」にあたるアドレスです。	英数字、記号 最大60文字
SMTPサーバ名	本機が接続をするネットワークのSMTPサーバを設定します。	英数字 最大60文字
宛先アドレス1 宛先アドレス2 宛先アドレス3	本機からメールを送信する際の宛先のアドレスを設定します。宛先は3つまで設定できます。 Eメールの「to」にあたるアドレスです。	英数字、記号 最大60文字
送信テスト	Eメールの設定を確認するために、テストメールを送信します。 注意 ● 送信テストを行って、送信エラーになったりメールが届かない場合は、LANモードの設定を確認してください。 ● 宛先アドレスが間違っている場合は、送信テストエラーにならないことがあります。テストメールが届かない場合は、宛先アドレスの設定を確認してください。	—

注意

- 無線LANでメール通知を使用する場合は、[通信モード]で「インフラストラクチャ」を選択してください。
- LANカードを本機にセットしていないと、[送信テスト]は選択できません。
- 次の3つの項目が設定されていないと[送信テスト]は選択できません。
「差出人アドレス」、「SMTPサーバ名」、「宛先アドレス1～3 (のいずれか)」
- 「メール」以外のLANモードの設定を変更した場合は、[確定]を選んで変更した設定を決定したあとで、[送信テスト]を行ってください。

●状態



- IPアドレスの[自動/手動]で「自動」を選択しているときは、DHCPサーバから取得した「IPアドレス」、「サブネットマスク」と、セットしているLANカードの「MACアドレス」を表示します。
- IPアドレスの[自動/手動]で「手動」を選択しているときは、設定されている「IPアドレス」、「サブネットマスク」と、セットしているLANカードの「MACアドレス」を表示します。

●パスワード

本機の管理者以外の操作による誤操作を防止するために、パスワードを設定することができます。

パスワードは、メニュー用とバックグラウンドロゴ用(ロゴ用)の2つがあります。

- メニュー用パスワードを設定すると、ベーシックメニューやカスタムメニューからアドバンスドメニューに切り替えるとき(➡ 81ページ)、およびカスタムメニュー編集を行うときに、パスワード確認画面を表示します。
- ロゴ用パスワードを設定すると、バックグラウンドを切り替えるとき(➡ 105ページ)、およびファイル選択画面からロゴデータを変更するとき(➡ 76ページ)に、パスワード確認画面を表示します。

●登録



パスワードを登録します(英数字で最大15桁)。

1 パスワードを入力する。

- パスワード入力欄にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます(➡ 84ページ)。
- USBマウスで操作している場合は、パスワード入力欄左側の▼を左クリックします。
- 1文字入力すごに、パスワード入力欄に「*」が表示されます。



パスワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

2 パスワードを入力したら、[確定]にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタン押す。 パスワード確認画面が表示されます。

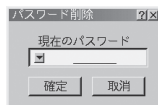
3 手順1で入力したパスワードを、再度入力する。

- 1文字入力すごに、パスワード入力欄に「*」が表示されます。

4 [確定]にカーソルを合わせ、(ENTER)ボタンを押す。

パスワードが登録されメニューに戻ります。

●削除



登録しているパスワードを削除します。

1 パスワードを入力する。

- ・1文字入力するごとに、パスワード入力欄に「*」が表示されます。

2 [確定]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

パスワードが削除されメニューに戻ります。

参考

- 登録したメニュー用パスワードを忘れてしまった場合は、次の手順で削除できます。

1 ベーシックメニューからアドバンスメニューに切り替えて、パスワード入力画面を出す。

2 「1111」と入力し[確定]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

「パスワードが不正です」とメッセージが表示されます。

3 「3333」と入力し[確定]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

「パスワードが不正です」とメッセージが表示されます。

4 「5555」と入力し[確定]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

パスワード削除の確認画面が表示されます。

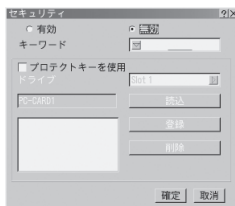
5 (SELECT◀/▶) ボタンで「はい」を選択し、(ENTER) ボタンを押す。

登録していたパスワードが削除されます。

- 登録したロゴ用パスワードを忘れてしまった場合は、お客様問い合わせ窓口(NECプロジェクタ・カスタマサポートセンター)にご連絡ください。

●セキュリティ

キーワードを設定することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。また、フラッシュメモリカードをプロテクトキーとして登録することで、本機の電源を入れたときに、登録したカードが本機にセットされていないと投写できないようにします。



有効/無効	セキュリティを有効にするか、無効にするかを選択します。					
キーワード	セキュリティを使用する際に必要なキーワードを入力します(最大10文字)。 キーワードを入力しないとセキュリティは有効になりません。					
プロテクト キーを使用	<table><tr><td>☒ (チェックマークを付ける)</td><td>キーワードとフラッシュメモリカードの両方を登録してセキュリティロックをかけます。</td></tr><tr><td>☐ (チェックマークを外す)</td><td>キーワードのみでセキュリティロックをかけます。</td></tr></table>		☒ (チェックマークを付ける)	キーワードとフラッシュメモリカードの両方を登録してセキュリティロックをかけます。	☐ (チェックマークを外す)	キーワードのみでセキュリティロックをかけます。
☒ (チェックマークを付ける)	キーワードとフラッシュメモリカードの両方を登録してセキュリティロックをかけます。					
☐ (チェックマークを外す)	キーワードのみでセキュリティロックをかけます。					
ドライブ	プロテクトキーにするPCカードスロットを切り替えます。					
読込	登録するフラッシュメモリカードの情報を読み込みます。					
登録	読み込んだフラッシュメモリカードの情報を登録します。 [プロテクトキーを使用]に <input 2"="" checked="" type="checkbox/>(チェックマーク)を付けた場合、フラッシュメモリカードが1枚も登録されていないとセキュリティは有効になりません。
最大カード5枚まで登録できます。</td></tr><tr><td>削除</td><td colspan="/> 登録したフラッシュメモリカードの情報を削除します。					

●セキュリティを有効にする

〈フラッシュメモリカードを使用しない場合〉

- 1 (SELECT▼/▲) ボタンで[キーワード]にカーソルを合わせ、キーワードを入力する。



● キーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

- 2 (SELECT▼/▲) ボタンで[無効]にカーソルを合わせ、(SELECT◀/▶) ボタンで[有効]にカーソルを合わせる。
- 3 (SELECT▼/▲) ボタンで[確定]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
セキュリティが有効になります。

〈フラッシュメモリカードをプロテクトキーとして使用する場合〉

準備：フラッシュメモリカードを本機のPCカードスロットにセットしてください
(65ページ)。

- 1 (SELECT▼/▲) ボタンで[プロテクトキーを使用]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
☒ (チェックマーク)が付きます。
- 2 (SELECT▼/▲) ボタンで[読込]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
フラッシュメモリカードの情報が読み込まれます。
- 3 (SELECT▼/▲) ボタンで[登録]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
読み込まれたフラッシュメモリカードの情報が登録され、登録リストに表示されます。
- 4 (SELECT▼/▲) ボタンで[キーワード]にカーソルを合わせ、キーワードを入力する。



● キーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

- 5 (SELECT▼/▲) ボタンで[無効]にカーソルを合わせ、(SELECT◀/▶) ボタンで[有効]にカーソルを合わせる。
- 6 (SELECT▼/▲) ボタンで[確定]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。

●セキュリティを有効にしているときの電源の入れかた

〈フラッシュメモリカードを使用しない場合〉

- 1 (POWER) ボタンを2秒以上押す。

本機の電源が入り、セキュリティロック中のメッセージが表示されます。

- 2 メニューの[機器設定]→[セキュリティ]を選択して、(ENTER) ボタンを押す。
解除コード入力画面が表示されます。
- 3 解除コード入力画面にキーワードを入力する。
セキュリティロックが解除され、選択されている信号を投写します。

〈フラッシュメモリカードをプロテクトキーとして使用する場合〉

準備：情報を登録したフラッシュメモリカードを本機のPCカードスロットにセットしてください(65ページ)。

- 1 (POWER) ボタンを2秒以上押す。

電源が入り、フラッシュメモリカードが認識されると入力信号を投写します。

電源が入ったあとはフラッシュメモリカードを抜いてもそのまま動作します。



注意

- 本機は、FAT32形式やNTFS形式でフォーマットされたフラッシュメモリカードやUSBメモリを認識できません。
本機にセットしたフラッシュメモリカードやUSBメモリが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。
本機のビューワやセキュリティで使用するフラッシュメモリカードやUSBメモリは、FAT16形式またはFAT形式でフォーマットしてください。
フォーマット方法については、お使いのWindowsの取扱説明書またはヘルプファイルを参照してください。
- 本機の電源を入れたとき、情報を登録したフラッシュメモリカードが本機のPCカードスロットにセットされていないと、セキュリティロック中のメッセージが表示され画面が投写されません。その場合は、情報を登録したフラッシュメモリカードを本機のPCカードスロットにセットすると、セキュリティロックを解除することができます。
- セキュリティロックの解除状態は、主電源をOFFする(主電源スイッチを「O(切)」)にするか、電源コードを抜く)まで保持されます。
次の場合に、プロテクトキーのチェック、もしくはキーワードの要求を行います。
(1) セキュリティ設定画面で[確定]して電源をOFFしたあと電源をONしたとき。
(2) セキュリティ有効中に主電源をOFFしたあと再び主電源をONにし電源をONしたとき。
(3) セキュリティ有効中にセキュリティ設定画面を表示しようとしたとき。
- キーワードに空白(スペース)は使用できません。

●登録したカード情報を削除する

- 1 (SELECT▼/▲) ボタンで[削除]にカーソルを合わせ、(SELECT◀) ボタンで登録リスト内にカーソルを移動する。
- 2 (SELECT▼/▲) ボタンで削除したいフラッシュメモリカードの情報を選択する。
- 3 (SELECT▶) ボタンで[削除]にカーソルを合わせ、(ENTER) ボタンを押す。
フラッシュメモリカードの情報が削除されます。



注意

- フラッシュメモリカードによってはプロテクトキーとして登録できないものもあります。
- 登録したフラッシュメモリカードが破損、紛失したときのために、複数のフラッシュメモリカードを登録しておくことをおすすめします。
- プロテクトキーとして登録したあと、カードをフォーマットすると、プロテクトキーとして認識できなくなります。



参考

- プロテクトキーとして登録したカードを紛失してしまったときの対応

- 1 (POWER) ボタンを2秒以上押す。

本機の電源が入り、セキュリティロック中のメッセージが表示されます。

- 2** メニューの[機器設定]→[セキュリティ]を選択して、**(ENTER)** ボタンを押す。
キーワード入力画面といっしょにお問い合わせコード (Request Code) (英数字24文字)が表示されます。

• セキュリティ設定画面で登録したキーワードと、表示されたお問い合わせコードの2つをお客様問い合わせ窓口 (NEC プロジェクタ・カスタマサポートセンター) にご連絡ください。解除コード (Release Code) をお知らせします。

- 3** キーワード入力画面に解除コードを入力する。

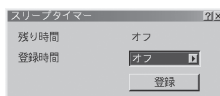
セキュリティロックが解除されます。

- キーワードを忘れたときの対処
お客様問い合わせ窓口 (NEC プロジェクタ・カスタマサポートセンター) にご連絡ください。

.....

6-9. ツール

スリープタイマー



スリープタイマーを設定しておく、本機の電源の切り忘れ防止になり、省エネになります。

[登録時間]後に本機の電源が切れます (スタンバイ状態またはアイドル状態になります)。

[残り時間]には、本機の電源が切れるまでの残り時間が表示されます。

キャプチャ



「5. ビューワを使う」(63ページ)をご覧ください。

ファイル選択



「5. ビューワを使う」(63ページ)をご覧ください。

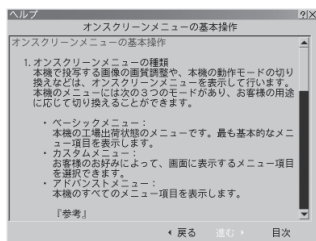
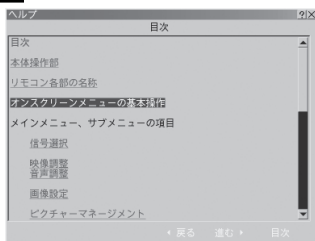
【チョークボード】



「4-10. 投写画面に文字や図形を描く(チョークボード)」(▶ 58ページ)をご覧ください。

6-10. ヘルプ

【目次】



本機の操作説明が書かれています。

リモコンの (HELP) ボタンを押して直接開くこともできます。

リンクの選択

(SELECT ▲/▼) ボタンを押すと、カーソルが関連のある項目へ移動します。

下線のある単語や文にカーソルを合わせ (ENTER) ボタンを押すと、青色の文字は関連ある項目のページに、緑色の文字は調整画面や設定画面に変わります。

スクロールするとき

画面内に関連ある項目がない場合は、(SELECT ▲/▼) ボタンを押すと次の関連ある項目まで画面がスクロールします。

戻るとき／進めるとき

戻る／進むは、たどってきたページを戻したり、進めたりする機能です(1ページずつ進めたり、戻したりするものではありません)。

たどってきた前のページに戻るときは (SELECT ◀) ボタンを押します。戻る前に表示していたページを再び表示するときは (SELECT ▶) ボタンを押します。

終わるときは

(CANCEL) ボタンを押します。

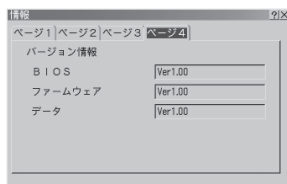
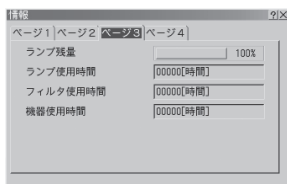
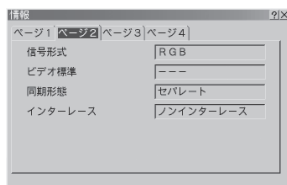
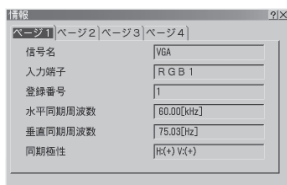


- オーバースキャン (▶ 95ページ) をしている場合、「ヘルプ」画面が正常に表示されないことがあります。



- 本機にUSBマウスを接続している場合、調整・設定画面のヘルプアイコン(下図)をUSBマウスでクリックすると、その項目の操作説明が書かれたヘルプページを開きます。





入力選択されている入力信号の詳細、ランプ使用時間、本機の使用時間などを表示します。

ページ1、ページ2は、色が極端におかしかったり、画面が流れたり、映像が映らない場合、入力信号が本機に適しているかの確認に使います。「対応解像度一覧」(143ページ)もあわせてご覧ください。

ページ3は、ランプの寿命時間の確認に使います。

ページ4は、本機のBIOSやファームウェアなどのバージョンの確認に使います。

参考

● ランプ残量／ランプ使用時間の表示について

本機には標準ランプと長寿命ランプの2種類のランプを使用することができます。また、標準ランプ使用時は、ランプモード(ノーマルモード／エコモード)を選択することができます。

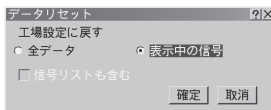
ノーマルモードとエコモードではランプの寿命が異なります。

[ランプ使用時間]はランプの通算使用時間を示し、[ランプ残量]はランプの使用時間に対する残量をパーセントで表示しています。

- 0%になると画面上に「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」のメッセージが表示されます(メッセージは、投写中も表示され続けます)。新しいランプと交換してください。交換のしかたは「7-4. ランプとフィルタの交換」(130ページ)をご覧ください。
- ランプ寿命に到達(ランプ残量0%)後、[ランプ残量]表示は赤色の時間表示に変わります。このとき、[ランプ残量]表示は「100時間」と表示され、そのあとランプを投写しただけ時間がマイナスされていきます。そして[ランプ残量]表示が「0時間」になると、本機の電源が入らなくなります。新しいランプに交換してください。

ランプ種類	ランプ使用時間		形名
	ノーマルモードでのみ使用 (最小)	エコモードでのみ使用 (最大)	
標準ランプ	2000時間	3000時間	MT70LP
長寿命ランプ	4000時間		MT60LPS

6-11. データリセット



本機に記憶されている全調整・設定値、または表示中の信号について、調整した調整値を工場出荷状態に戻します。

データリセットの処理には多少時間がかかります。

●全データ

すべての調整・設定値が工場出荷状態になります。

信号リストも含む

信号リストの内容を工場出荷状態に戻す場合に設定します(☞ 88ページ)。

☒ (チェックマークを付ける)	信号リスト内の登録信号を削除して工場出荷状態に戻します。
☐ (チェックマークを外す)	信号リスト内の登録信号(およびその調整値)を残して工場出荷状態に戻します。



- 信号リストでロックされている信号の調整値は削除されません。

【リセットされないデータ】

[表示言語]・[アイドルモード]・[通信速度]・[ランプ残量]・[ランプ使用時間]・[フィルター使用時間]・[機器使用時間]・[セキュリティ]・[パスワード]・[バックグラウンドロゴ]・[LANモード]

●表示中の信号

表示中の信号について、調整した調整値が工場設定値になります。

【リセットされるデータ】

明るさ／コントラスト／カラー／色相／シャープネス／アスペクト／ブランキング／ノイズリダクション／水平位置／垂直位置／クロック周波数／位相／解像度／ビデオ帯域フィルタ／オーバースキャン／信号形式／ピクチャーマネージメント／音量／低音／高音

第7章

本体のお手入れ／ランプの交換

.....

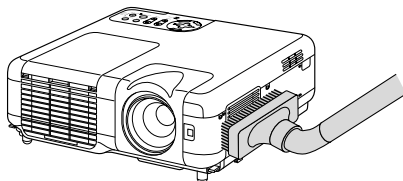
7-1. フィルタの清掃	128
7-2. レンズの清掃	128
7-3. キャビネットの清掃	129
7-4. ランプとフィルタの交換	130

7-1. フィルタの清掃

- 吸気孔のフィルタはプロジェクタ内部をほこりや汚れから守っています。フィルタにほこりがたまると、空気のとおりが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに掃除をしてください。設置場所にもよりますが100時間を目安に掃除をしてください。

1 フィルタを掃除する。

フィルタは本体右側面に1個あります。
電源を切り電源プラグをコンセントから抜きます。
掃除機でフィルタカバー越しにフィルタの掃除を行ってください(フィルタカバーを外す必要はありません)。

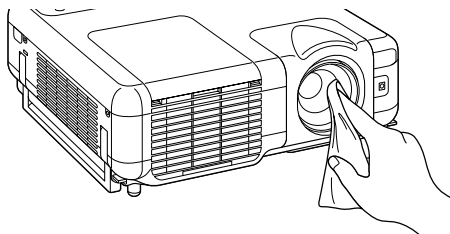


2 フィルタ使用時間をクリアする。

電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。
メニューの[機器設定]→[セットアップ]→[ページ4]の「フィルタ使用時間クリア」ボタンを選択して、[確定]を選択してください(▶ 109ページ)。

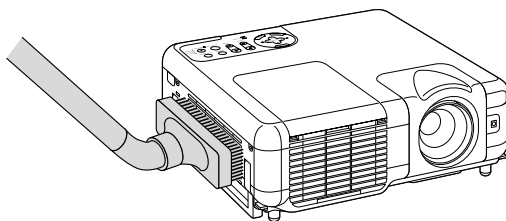
7-2. レンズの清掃

カメラのレンズと同じ方法で(市販のカメラ用ブローワーやメガネ用クリーニングペーパーを使って)クリーニングしてください。その際レンズを傷つけないようにご注意ください。



7-3. キャビネットの清掃

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



- 毛羽立ちの少ない柔らかい乾いた布でふいてください。
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
化学そうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風孔やスピーカ部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用して吸い取ってください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。
- 通風孔にほこりがたまると、空気のとおりが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに掃除をしてください。設置環境にもよりますが100時間を目安に掃除をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の掃除については、お買い上げの販売店またはNECプロジェクタ・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

注意

- キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

7-4. ランプとフィルタの交換

光源に使われているランプの使用時間が2000時間（標準ランプでノーマルモードのみ使用時）を超えるとLAMPインジケータが赤点灯し、メッセージ「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」が画面上に表示されます。

この場合は光源ランプの交換時期ですので、新しいランプと交換してください。

なお、エコモードで使用している割合が多いとランプ寿命が延びます。したがってこの場合ランプ使用時間は延びることになります。現在のランプ使用残量の目安は125ページをご覧ください。

- 交換用ランプは販売店で求めください。ご注文の際は交換用ランプ形名MT70LP（標準ランプ）またはMT60LPS（長寿命ランプ）とご指定ください。
- 交換用ランプにはフィルタが添付されていますので、ランプを交換したあとにフィルタも交換してください。
- 指定のネジ以外は外さないでください。
- ランプハウスには、ランプ保護のためガラスが付いています。誤って割らないよう取り扱いには注意してください。
また、ガラス表面には触れないでください。輝度にかかわる性能劣化の原因となります。
- メッセージが表示されてもなお使用を続けると、ランプが切れることがあります。ランプが切れるときには、大きな音をともなって破裂し、ランプの破片がランプハウス内に散らばります。この場合は、お買い上げの販売店またはNECプロジェクタ・カスタマサポートセンターに交換を依頼してください。
- ランプ寿命に到達後100時間を超えて使用すると、LAMPインジケータが赤く点灯するとともにスタンバイ状態になり電源が入らなくなります。



注意

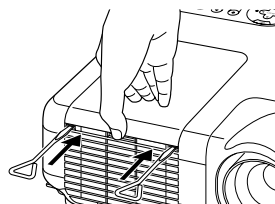
ランプの交換は、電源を切り約90秒間待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約60分おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。

● ランプの交換

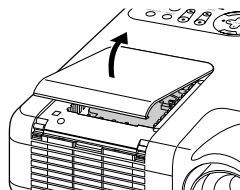
準備： 交換用ランプにはマイナスドライバー（1本）を添付しています。添付のマイナスドライバーは、ランプカバーやランプハウスの取り外しに使用します。

1 ランプカバーを外す

- ① ランプカバーを持ち上げながら、ランプカバーの溝に沿った2箇所をマイナスドライバーの先端で軽く押す。

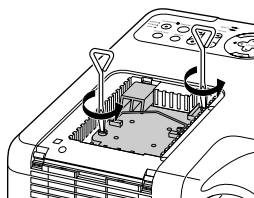


- ② ランプカバーを持ち上げて外す。



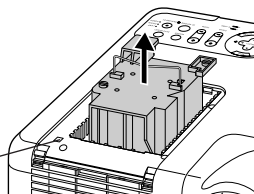
2 ランプハウスを外す

- 1 ランプハウス固定のネジ(2箇所)を左に空転するまでゆるめる。
ネジは外れません。



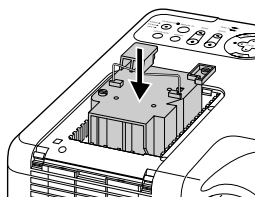
- 2 ランプハウスの取っ手を持ち上げる。
・本機には安全スイッチが付いています。
安全スイッチには触れないでください。

安全スイッチ



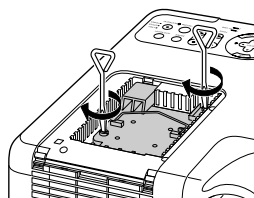
3 新しいランプハウスを取り付ける

- 1 ランプハウスを静かに入れる。



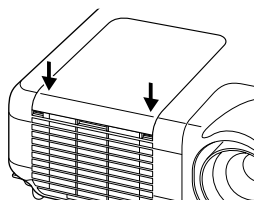
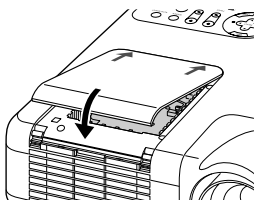
- 2 ランプハウス固定のネジ(2箇所)を右に回してしめる。
・ネジは確実にしめてください。

- 3 ランプハウスの取っ手を倒す。



4 ランプカバーを取り付ける

- 1 ランプカバーのツメを本体のガイドに入れ、ランプカバーを閉める。
・「カチッ」と音がしてランプカバーが固定されるまで押します。



フィルタの交換

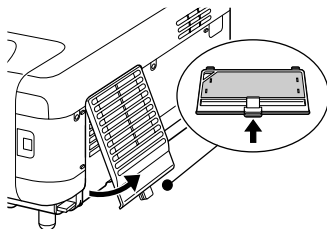


- フィルタを交換するときは、プロジェクタ本体のほこりをよくふき取ってから行ってください。
- プロジェクタは精密機器ですので、内部にほこりが入らないようにご注意ください。
- フィルタは水洗いしないでください。目づまりの原因となります。
- 必ずフィルタカバーを正しく取り付けてください。カバーを正しく取り付けていないと、内部にほこりなどが入り故障の原因となります。

準備：先にランプの交換を行ってください(130ページ)。

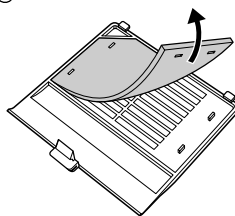
1 フィルタカバーを外す。

- ① ボタンを矢印方向に押す。
- ② カバーを外す。



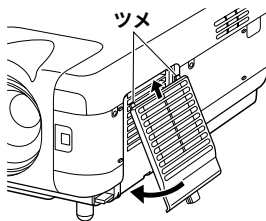
2 フィルタを交換する。

- ① フィルタを外して、フィルタカバーを清掃する。
- ② 新しいフィルタを、向きに注意してフィルタカバーに取り付ける。



3 フィルタカバーを取り付ける。

- ① ツメを本体に入れる。
- ② カバーを取り付ける。



4 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる。

5 フィルタ使用時間をクリアする。

メニューの[機器設定]→[セットアップ]→[ページ4]の「フィルタ使用時間クリア」ボタンを選択して、[確定]を選択してください(109ページ)。



- 新しいランプに交換すると、ランプ使用時間は自動的にクリアされます。
- ランプ寿命(標準ランプでノーマルモードのみ使用時2000時間)に到達後100時間を超えて使用すると電源が入らなくなります。
- 本機の交換用ランプにはランプ使用時間が記憶されます。そのため、すでに数時間使用したことのあるランプをセットした場合は、そのランプの使用時間が表示されます。

第8章

付録

.....

HTTPを使用したブラウザによる操作.....	134
故障かな？と思ったら	136
インジケータ表示一覧	139
投写距離とスクリーンサイズ	141
対応解像度一覧	143
外観図	144
RGB INPUT端子のピン配列と信号名	145
仕様	146
関連商品一覧	147
トラブルチェックシート	148
保証と修理サービス(必ずお読みください) ...	150
海外でご使用になる場合：トラベルケアのご紹介 ...	151
索引	159

HTTPを使用したブラウザによる操作

概要

HTTPサーバ機能を使用することにより、Webブラウザから本機を操作することができます。なお、Webブラウザは「Microsoft Internet Explorer 4.x」以上を必ず使用してください。

本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能な設定をブラウザに対して行ってください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトにあるヘルプなどの説明を参照してください。

HTTPサーバ機能へのアクセスは、本機とネットワークで接続されたパソコンでWebブラウザを起動し、アドレスまたはURLの入力欄へ

http://<本機のIPアドレス>/index.html と指定することで行えます。



注意

- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。
その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
また続けてボタン操作を行うとプロジェクトが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作を行ってください。しばらく待っても応答がない場合は、一度本機のLANカードを取り出してセットしなおしてください。LANカードのセット／取り出し方法については「LANモード」(▶ 114ページ)をご覧ください。
- HTTPサーバ機能と添付CD-ROMのDynamic Image Utilityを同時に使用しないでください。接続できなかったり、通信に時間がかかることがあります。
- HTTPサーバ機能を使って本機の電源の入／切を行う場合は、メニューの[機器設定]→[セットアップ]→[ページ4]の[アイドルモード]にチェックマークを付けてください(▶ 109ページ)。

使用前の準備

ブラウザによる操作を行う前にあらかじめ本機に対して、ネットワークとの接続と設定を行ってください(▶ 114ページ)。

プロキシサーバの種類や設定方法によっては、プロキシサーバを経由したブラウザ操作ができないことがあります。プロキシサーバの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ブラウザから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。極力プロキシサーバは使用されないことを推奨します。

ブラウザによる操作のアドレスの扱い

ブラウザによる操作に際しアドレスまたはURL欄に入力する実際のアドレスについてネットワーク管理者によってドメインネームサーバへ本機のIPアドレスに対するホスト名が登録されている場合、もしくは使用しているコンピュータの「HOSTS」ファイルに本機のIPアドレスに対するホスト名が設定されている場合には、ホスト名がそのまま利用できます。

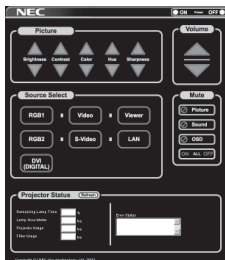
(例1) 本機のホスト名が「pj.nec.co.jp」と設定されている場合

HTTPサーバ機能へのアクセスはアドレスまたはURLの入力欄へ
http://pj.nec.co.jp/index.html と指定します。

(例2) 本機のIPアドレスが「192.168.73.1」の場合

HTTPサーバ機能へのアクセスはアドレスまたはURLの入力欄へ
http://192.168.73.1/index.html と指定します。

HTTPサーバの構成



Power	本機の電源をオン／オフします。 On 電源をオンにします。 Off 電源をオフにします。
Volume	本機の音量をコントロールします。 ▲ 音量調整値をアップします。 ▼ 音量調整値をダウンします。
Mute	本機のMUTEをコントロールします。 ALL On 映像、音声、メニュー表示をすべてミュート(一時的に消去)します。 ALL Off 映像、音声、メニュー表示のミュートをすべて解除します。 Picture On 映像をミュート(一時的に消去)します。 Picture Off 映像ミュートを解除します。 Sound On 音声をミュート(一時的に消去)します。 Sound Off 音声ミュートを解除します。 OSD On メニュー表示をミュート(一時的に消去)します。 OSD Off メニュー表示のミュートを解除します。
Picture	本機の映像調整をコントロールします。 Brightness ▲ 明るさの調整値をアップします。 Brightness ▼ 明るさの調整値をダウンします。 Contrast ▲ コントラストの調整値をアップします。 Contrast ▼ コントラストの調整値をダウンします。 Color ▲ カラーの調整値をアップします。 Color ▼ カラーの調整値をダウンします。 Hue ▲ 色相の調整値をアップします。 Hue ▼ 色相の調整値をダウンします。 Sharpness ▲ シャープネスの調整値をアップします。 Sharpness ▼ シャープネスの調整値をダウンします。 ※本機に入力されている信号によって、コントロールできる機能が変わります。詳しくは「6-4. 映像調整」(P. 84ページ)をご覧ください。
Source Select	本機の入力端子を切り替えます。 RGB1 RGB1入力に切り替えます。 RGB2 RGB2入力に切り替えます。 Video ビデオ映像入力に切り替えます。 S-Video S-ビデオ映像入力に切り替えます。 DVI (DIGITAL) DVI(デジタル)入力に切り替えます。 Viewer セットしたフラッシュメモ리카ードのデータ表示に切り替えます。 LAN LANから送られてくるデータ表示に切り替えます。
Projector Status	本機の状態を表示します。 Remaining Lamp Time ランプの残り使用時間を%表示します。 Lamp Hour Meter ランプの使用時間を表示します。 Projector Usage 本機の使用時間を表示します。 Filter Usage フィルタの使用時間を表示します。 Error Status 本機内部のエラー発生状況を表示します。 Refresh 状態表示を更新します。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときはお買い上げの販売店またはNECプロジェクタ・カスタムサポートセンターにお問い合わせください。

現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	32ページ
	主電源スイッチは「I (入)」になっていますか。	35ページ
	本体キーロック中ではありませんか。 本体キーロック中は、本体の操作ボタンはロックされて効きませんが、リモコンを使えば操作できます。	111ページ
	ランプカバーが正しく取り付けられていますか。	131ページ
	ランプ寿命を超えて使用していませんか。 新しいランプと交換してください。交換後、本機をスタンバイ状態にして、リモコンの(HELP) ボタンを10秒以上押し続けてください。本機内部で管理しているランプ時間の値がクリアされ電源が入るようになります。	125ページ
	内部温度が高くなっていますか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	140ページ
映像が出ない	接続している入力を選んでいますか。	37ページ
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	26～31ページ
	画像調整の明るさ、コントラストが最小になっていませんか。	90ページ
	投写しようとしている信号に対し[信号選択]の設定が適切ですか。	107ページ
	DVDプレーヤをRGB端子と接続しているとき、映像が出ない場合RGB/コンポーネントの選択を行っていますか。	107ページ
	RGB入力の場合、標準信号以外の信号が入力されていませんか。	143ページ
	RGB入力の場合、画面調整を正しく行っていますか。	43ページ
	パソコンの画面がうまく投写できない場合は、138ページをご覧ください。	—
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	85ページ
	それでも解決しない場合は、[データリセット]を行ってみてください。	126ページ
	セキュリティが有効になっている場合は、本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたキーワードを入力したり、プロテクトキーとして登録したフラッシュメモ리카ードをセットしないと、映像は投写されません。	120ページ
映像が歪む	正しく設置されていますか。	38ページ
	台形状に歪む場合は3Dリフォームを行ってください。	41ページ

このようなとき	確認してください	参照ページ
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	40ページ
	投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。	38ページ
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	141～142ページ
	レンズなどが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れると レンズや内部の光学部が結露することがあります。このよ うな場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	—
水平または垂直方向に 映像がずれて正常に表 示されない	RGB入力の場合、水平位置、垂直位置を正しく調整しま したか。	93ページ
	RGB入力の場合、入力信号が対応している解像度、周波 数になっていますか。 パソコンの解像度を確認してください。	143ページ
	メニューの[自動調整]にチェックを入れてください。[自 動調整]にチェックを入れていない場合は、[位置・周波 数]でクロック周波数と位相を調整してください。	93、108ページ
リモコンで操作できな い	リモコンのリモコン発信部を本体のリモコン受光部に向 けていますか。	14、15、18 ページ
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交 換してください。	20ページ
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物があり ませんか。	20ページ
	リモコンの有効範囲(7m)を超えていませんか。	20ページ
	(SELECT ▼▲◀▶) ボタン、(CANCEL) ボタン、(ENTER) ボ タンで本機を操作するとき、リモコンがプロジェクタ モード (PJ) ボタンが赤く点灯) になっていますか。	48ページ
	オンスクリーンメニューの[リモコン受光部設定]が無効 になっていませんか。	110ページ
	本機のリモコンを使って、パソコンのマウス操作を行う 場合は、添付のUSBケーブルで、本機とパソコンを接続 してください。	57ページ
インジケータが点滅する	インジケータ表示一覧をご覧ください。	139ページ
USBマウスが動作しな い	USBマウスが正しく取り付けられていますか。	55ページ

●パソコンの画面がうまく投写できない場合

パソコンを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

●パソコンの起動のタイミング

パソコンと本機を接続したあとにパソコンを起動してください。

特にノートパソコンの場合、接続してからパソコンを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

- 参考** ● 本機のメニューを表示して、[ヘルプ]→[情報]の[水平同期周波数]を確認してください（125ページ）。

●パソコンの起動後に操作が必要な場合

ノートパソコンの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります（ノートパソコン自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません）。

- 参考** ● PC98-NXシリーズ、DOS/V対応機（IBM PC/AT 100%互換機）の場合は、[Fn]キー＋[F1]～[F12]キーのいずれか（機種によって異なります）を押します。

●ノートパソコンの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートパソコンの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。

多くの場合、ノートパソコンの制限（パソコン自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない）によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。

上記の場合は、ノートパソコンの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い）操作を行うと、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

●Macintoshを起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Macintosh用信号アダプタ（市販品）を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Macintoshおよび本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなることがあります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを13インチ固定モードに設定し、Macintoshを再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

●PowerBookと本機を同時に表示させる場合

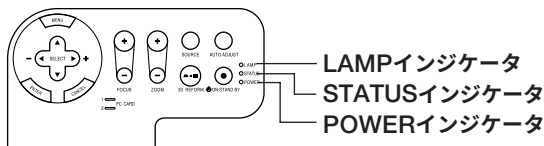
PowerBookディスプレイの「ビデオミラーリング」を「切」にしないと外部出力を1024×768ドットに設定できないことがあります。

●Macintoshの投写画面からフォルダなどが切れている場合

Macintoshに接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、MacintoshのFinder画面で「option」キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。

インジケータ表示一覧表

本体操作部の3つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。



●POWERインジケータ

インジケータ表示		本機の状態	対 処
消灯		主電源OFF	—
点滅	緑色	電源ON準備中	しばらくお待ちください。
	オレンジ色	本体冷却中	しばらくお待ちください。
点灯	緑色	電源ON状態	—
	オレンジ色	スタンバイ状態、 アイドル状態	—

●STATUSインジケータ

インジケータ表示		本機の状態	対 処
消灯		異常なし	—
点滅	1回周期	カバー異常	ランプカバーが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください(➡ 131ページ)。
		ランプなし	ランプハウスが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください(➡ 131ページ)。
	2回周期	温度異常	温度プロテクタが動作しています。室温が高い場合は、本機を涼しい場所へ移動してください。
	3回周期	電源異常	電源が正常に動作していません。販売店へ修理を依頼してください。
	4回周期	ファン異常	冷却ファンの回転が停止しています。販売店へ修理を依頼してください。
	6回周期	ランプ不点灯	ランプが点灯しません。1分以上待って再度電源を入れてください。それでも点灯しない場合は販売店にご相談ください。
	7回周期	ランプデータ異常	ランプハウス内のデータが正しく読み出せませんでした。販売店にご相談ください。
点灯	オレンジ色	本体キーロック中に ボタンを押したとき	本体キーロック中です。操作する場合は、設定を解除する必要があります(➡ 111ページ)。
	緑色	アイドル状態	—

●LAMPインジケータ

インジケータ表示		本機の状態	対 処
消灯		異常なし	—
点滅	赤色	ランプ交換猶予時間中	ランプ残量が0%になり、ランプ交換の猶予時間(100時間)中です。すみやかにランプを交換してください(🔧 130ページ)。
点灯	赤色	ランプ使用時間超過	ランプ使用時間を超過しています。ランプを交換するまで、本機の電源は入りません(🔧 130ページ)。
	緑色	ランプエコモード	—
	オレンジ色	長寿命ランプ	—

●温度プロテクタが作動したときは

本機内部の温度が異常に高くなると、ランプが消灯し、STATUSインジケータが点滅します(2回点滅の繰り返し)。

同時に本機の「温度プロテクタ」機能が作動して、本機の電源が切れることがあります(この場合インジケータは点灯しません)。

このようなときは、以下のことを行ってください。

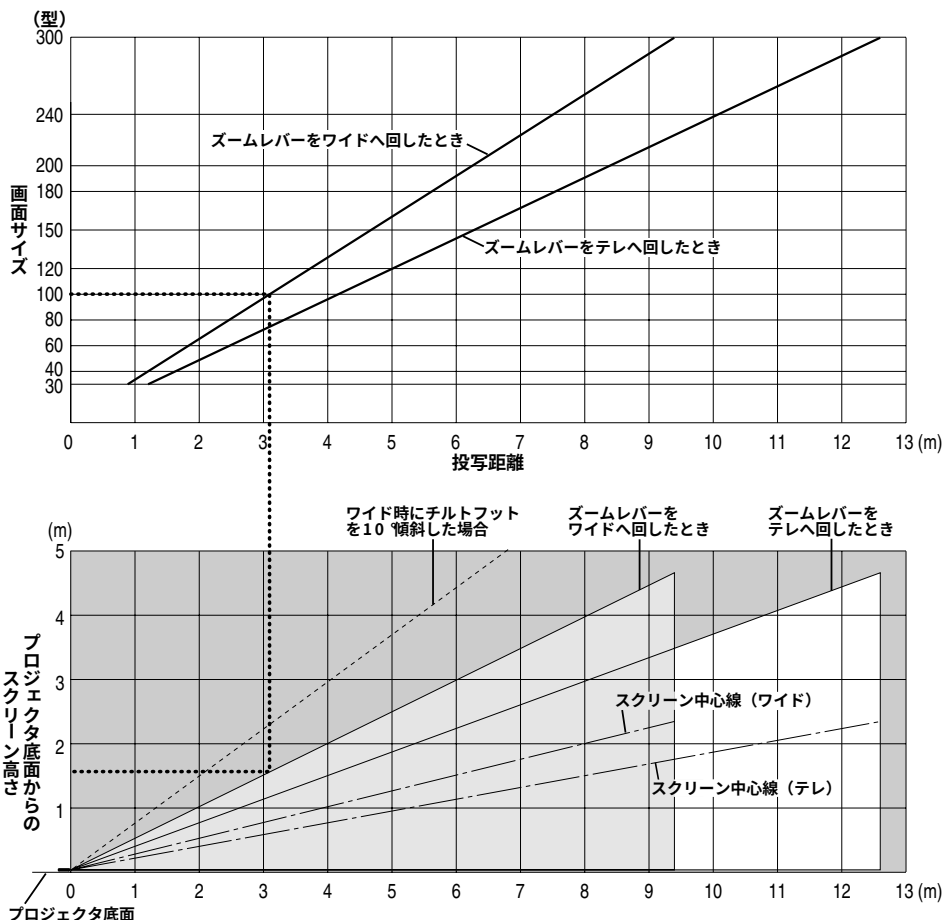
- 主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- 通風孔にほこりがたまっていたら、掃除してください(🔧 129ページ)。
- 本機内部の温度が下がるまで、約60分間そのままにしてください。

投写距離とスクリーンサイズ

この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、どのくらいのスクリーンを用意すればいいのか、また、目的の大きさで映すにはどのくらいの距離が必要かを知りたいときの目安にしてください。

フォーカス(焦点)の合う投写距離は、レンズ前面から0.9m(30型のワイドの場合)～15.6m(500型のワイドの場合)です。この範囲で設置してください。

※以下のイラストは、300型より大きなサイズを省略しています。

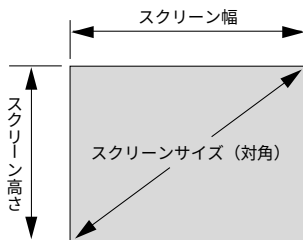


【表のみかた】

100型スクリーンにワイドで映すには表より、3m付近に設置することになります。

また、下の表はプロジェクタ底面からスクリーンの上端までが約2m必要となりますので、プロジェクタを置いた台から天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。(図はプロジェクタを水平に調整した時)チルトフットにより上へ最大約10°上げることができます。

■スクリーンサイズと寸法表



サイズ(型)	スクリーン幅(cm)	スクリーンの高さ(cm)
300	609.6	457.2
240	487.7	365.8
200	406.4	304.8
180	365.8	274.3
150	304.8	228.6
120	243.8	182.9
100	203.2	152.4
80	162.6	122.0
60	121.9	91.4
40	81.3	61.0
30	61.0	45.7

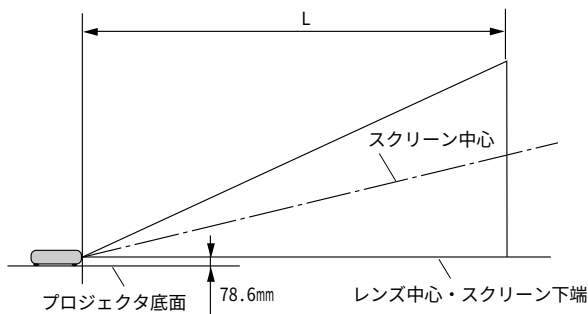
■デスクトップの例

下の図はデスクトップで使用する時の例です。

水平投写位置……レンズを中心に左右均等

垂直投写位置……(下表参照)

スクリーンサイズ(型)	投写距離L (m)	
	ワイド時	テレ時
300	9.4	12.6
240	7.5	10.1
200	6.2	8.4
180	5.6	7.5
150	4.7	6.3
120	3.7	5.0
100	3.1	4.2
80	2.5	3.3
60	1.8	2.5
40	1.2	1.6
30	0.9	1.2



参考

- 設計値のため、±5%の誤差があります。
- 投写距離Lは、投写レンズの先端からスクリーンまでの距離です。
本機の投写レンズの先端は、本体の前面より約10mm奥にあります。

対応解像度一覧

機種	解像度		走査周波数		対応状況
			水平 (kHz)	垂直 (Hz)	
ビデオ (NTSC)	—	—	15.734	60.0	◎
ビデオ (PAL/SECAM)	—	—	15.625	50.0	◎
PC-9800シリーズ	640 × 400	×	24.8	56.4	◎
	640 × 400	×	31.5	70.0	◎
	640 × 480	×	31.5	60.0	◎
	640 × 480	×	37.5	75.0	◎
	800 × 600	×	37.9	60.3	◎
	800 × 600	×	46.9	75.0	◎
	1024 × 768	×	56.5	70.1	◎
	1024 × 768	×	60.0	75.0	◎
PC98-NXシリーズ IBM PC/AT互換機 DOS/V対応機	640 × 350	×	37.9	85.1	◎
	640 × 400	×	31.5	70.1	◎
	640 × 400	×	37.9	85.1	◎
	640 × 480	×	31.5	60.0	◎
	640 × 480	×	37.9	72.8	◎
	640 × 480	×	37.5	75.0	◎
	640 × 480	×	43.3	85.0	◎
	720 × 350	×	31.5	70.1	◎
	720 × 400	×	37.9	85.0	◎
	800 × 600	×	35.2	56.3	◎
	800 × 600	×	37.9	60.3	◎
	800 × 600	×	46.9	75.0	◎
	800 × 600	×	48.1	72.2	◎
	800 × 600	×	53.7	85.1	◎
	1024 × 768	×	48.4	60.0	◎
	1024 × 768	×	56.5	70.1	◎
	1024 × 768	×	60.0	75.0	◎
	1024 × 768	×	68.7	85.0	◎
	1152 × 864	×	67.5	75.0	◎
	1280 × 960	×	60.0	60.0	◎
	1280 × 960	×	85.9	85.0	◎
	1280 × 1024	×	64.0	60.0	◎
	1280 × 1024	×	80.0	75.0	◎
	1280 × 1024	×	91.1	85.0	◎
	1600 × 1200*	×	75.0	60.0	◎
	1600 × 1200*	×	81.3	65.0	◎
	1600 × 1200*	×	87.5	70.0	◎
	1600 × 1200*	×	93.8	75.0	◎
Apple Macintosh®	640 × 480	×	35.0	66.7	◎
	832 × 624	×	49.7	74.6	◎
	1024 × 768	×	60.2	74.9	◎
	1152 × 870	×	68.7	75.1	◎
Apple iMac™	1280 × 1024	×	69.9	65.2	◎
	640 × 480	×	—	117.0	◎
	800 × 600	×	—	95.0	◎
EWSシリーズ	1024 × 768	×	—	75.0	◎
	1280 × 1024	×	75.1	71.2	◎
	1280 × 1024	×	78.1	72.0	◎
HP	1280 × 1024	×	81.1	76.1	◎
SUN	1152 × 900	×	61.8	66.0	◎
SGI	1280 × 1024	×	81.1	76.1	◎
	1024 × 768	×	49.7	60.4	◎
	1152 × 900	×	71.7	76.1	◎
HDTV	720p, 750p	×	45.0	60.0	◎
	1080i, 1125i	×	33.75	60.0	◎
	1080p	×	67.5	60.0	◎
SDTV	480i, 525i	—	15.7	59.9	◎
	480p, 525p	—	31.5	59.9	◎
	576i, 625i	—	15.6	50.0	◎
	576p, 625p	—	31.25	50.0	◎
DVD	—	—	15.7	59.9	◎

・出荷時はその表示解像度／周波数の標準的な信号に合わせていますが、パソコンの種類によっては調整が必要な場合があります。

・ワークステーションとの接続に關しての詳細は、当社にお問合わせください。

・コンボジット同期信号などの場合は、正常に表示できない場合があります。

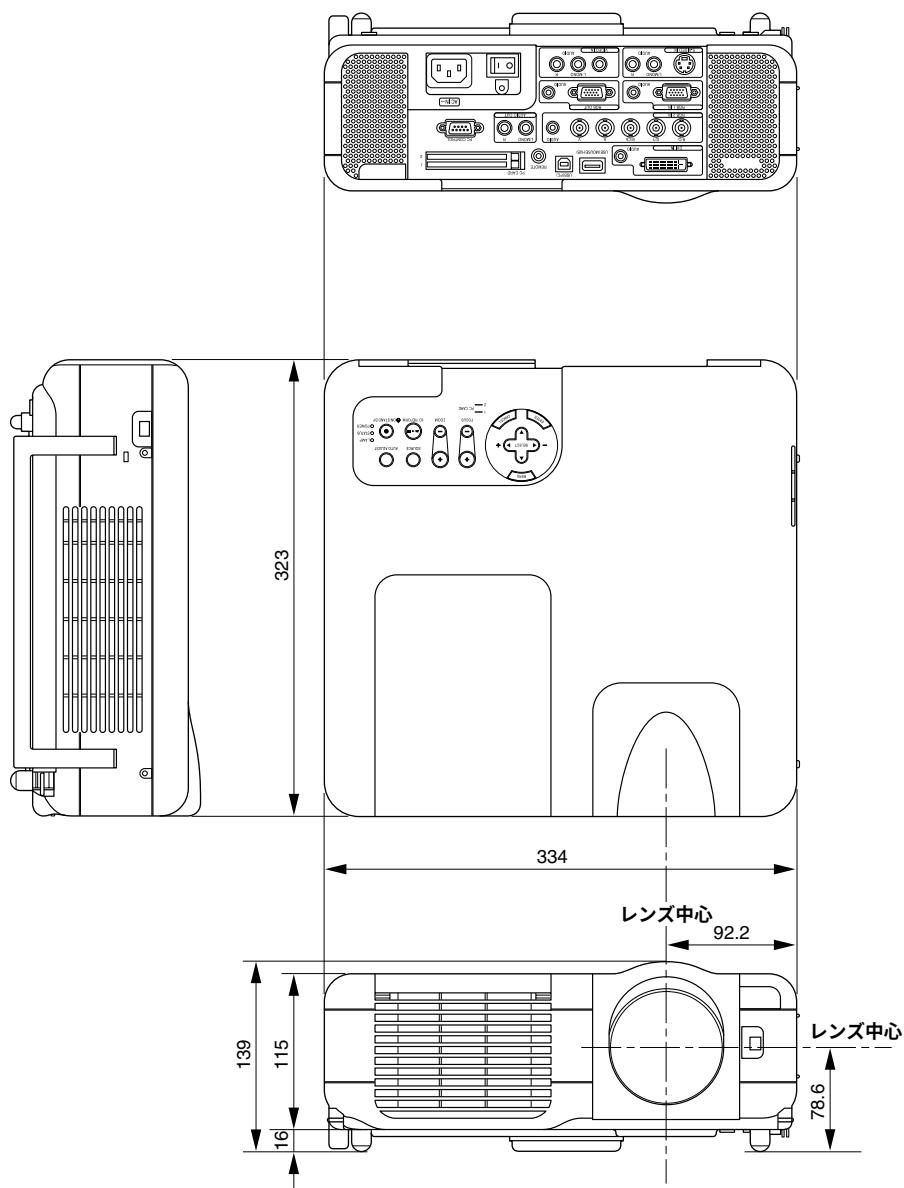
・アドバンスド・アキュブレンド表示の場合、文字や野線の太さなどが不均一になる場合があります。

* U-XGAはセパレート信号のみ対応です。

◎：リアル表示

○：アドバンスド・アキュブレンドにより対応

外観図

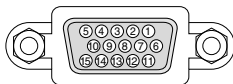


単位：mm

RGB INPUT端子のピン配列と信号名

ミニD-Sub 15ピン(アナログ)入力端子

各ピンの接続と信号レベル



信号レベル

ビデオ信号：0.7Vp-p(アナログ)

同期信号：TTLレベル

ピン番号	RGB信号(アナログ)	YCbCr 信号
1	赤	Cr
2	緑またはシンクオングリーン	Y
3	青	Cb
4	接 地	
5	接 地	
6	赤 接 地	Cr 接 地
7	緑 接 地	Y 接 地
8	青 接 地	Cb 接 地
9	非接続	
10	同期信号 接 地	
11	SCART同期入力* ¹	
12	Bi-directional DATA (SDA) * ²	
13	水平またはコンポジット同期	
14	垂直同期	
15	Data Clock* ²	

*1 11ピンは欧州で使用されているSCARTケーブル用の同期入力です。

*2 RGB1映像入力端子(RGB IN1)のみ対応

仕様

形名		MT1075J
方式		三原色液晶シャッタ投映方式
主要部品仕様	液晶パネル	サイズ 1.0型MLA付き×3枚
		駆動方式 TFTアクティブマトリクス
		画素数*1 786,432画素(1024ドット×768ライン)
		配列 ストライプ
	投映レンズ 電動ズーム、電動フォーカス	
光源		300W DCランプ(標準ランプ)/160W DCランプ(別売の長寿命ランプ)
光学装置		ダイクロイックミラーによる光分離・クロスダイクロプリズムによる合成方式
カラーイメージセンサ		23,040画素(160ドット×144ライン)
画面サイズ		25～500型
色再現性		フルカラー1,677万色
音声出力		5W×2 ステレオスピーカ内蔵
走査周波数	水平	15～100 kHz(RGB入力は24kHz以上)
	垂直	48～120 Hz
調整機能		電動ズーム、電動フォーカス 入力信号切替(RGB1/RGB2/ビデオ/S-ビデオ/DVI(デジタル)/ビューワ/LAN)、オートフォーカス、壁色補正、画像自動調整、画面拡大、3Dリフォーム、画面位置調整、ミュート(映像/音声とも)、電源オン/オフ、オンスクリーン表示/選択(明るさ、コントラスト、カラー*2、色相*2、シャープネス*2、音量)など
最大表示解像度(横×縦)		1600×1200(アドバンスド・アキュブレンドによる表示)
水平解像度		NTSC：600TV本
入力信号	R,G,B,H,V	
	RGB：0.7Vp-p/75Ω 正極性	
	Y：1.0Vp-p/75Ω 正極性(With Sync)	
	Cb,Cr (Pb, Pr)：0.7Vp-p/75Ω	
	H/V Sync：4.0Vp-p/TTL 正極性/負極性	
	Composite Sync：4.0Vp-p/TTL 正極性/負極性	
	Sync on G：0.3Vp-p/75Ω 負極性	
	コンボジットビデオ	
	S-ビデオ	
	C	
	コンポーネント	
	音声	
入出力端子	アナログRGB	映像入力 ミニD-Sub 15ピン×1、BNC×5(コンポーネント入力端子と共用)
		映像出力 ミニD-Sub 15ピン×1
		音声入力 ステレオミニジャック×2
		音声出力 ステレオミニジャック×1
	デジタルRGB	映像入力 DVI(デジタル専用)×1
		音声入力 ステレオミニジャック×1
	ビデオ	映像入力 RCA×1
		音声入力 RCA(L/MONO. R)×1
	Sビデオ	映像入力 ミニDIN 4ピン×1
		音声入力 RCA(L/MONO. R)×1
	音声出力 RCA(L/MONO. R)×1	
	リモコン端子 ステレオミニジャック×1	
	PCコントロール端子 D-Sub 9ピン×1	
	USBポート タイプA×1、タイプB×1	

PCカードスロット	TYPE II ×2
使用環境	動作温度：0～35℃ 動作湿度：20～80%（ただし結露しないこと） 保存温度：－10～50℃ 保存湿度：20～80%（ただし結露しないこと）
電源	AC 100V 50／60Hz*3
消費電力	ランプノーマルモード時 ：415W ランプエコモード時 ：345W 別売の長寿命ランプ時用時：250W
スタンバイ時消費電力	アイドル状態 ：13W スタンバイ状態：約1W
定格入力電流	4.3A
外形寸法	334(幅)×115(高)×323(奥行)mm（突起部含まず）
質量	約5.9kg

- *1 :有効画素数は99.99%です。
- *2 :NTSC/PAL/SECAM／ビデオ／コンポーネント入力時のみ調整可能です。
- *3 :高調波電流回路JIS C 61000-3-2適合品です。
- USBポートはUSB規格Ver 1.1に準拠。
- この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

関連商品一覧

商 品 名		形 名
ランプ	交換用ランプ(標準ランプ)	MT70LP
	交換用ランプ(長寿命ランプ)	MT60LPS
天吊り金具	天井取付けユニット	MT60CM
キャリングケース	ハードキャリングケース	MT60HC
スクリーン	100型広視野角スクリーン	VL-S100E
	100型ハイコントラストスクリーン	VL-NS100B
	80型広視野角スクリーン	VL-S80E
	80型ハイコントラストスクリーン	VL-NS80B
	60型広視野角スクリーン	VL-S60E
	60型ハイコントラストスクリーン	VL-NS60B
	60型／80型共通ハイコントラストスクリーンスタンド	VL-NS6080ST
	40型広視野角スクリーン	VL-S40
スイッチャ	RGB信号入力切替ユニット	VL-SW401
分配器	RGB信号分配ユニット	VL-DA102
資料提示装置	XGAデジタル資料提示装置	DV11J
ケーブル	マルチシンク10mケーブル	VL-CA10MD
	アナログRGB信号ケーブル(1.8m)	VL-CA02MD
	コンポーネントビデオ接続ケーブル(3m)	VL-CA03V
アダプタ	コンポーネントビデオ変換アダプタ	ADP-CV1
	D端子変換アダプタ	ADP-DT1
カード	無線LANカード	SWL-2100N-NJ

トラブルチェックシート

本シートはトラブルに関するお問い合わせの際、迅速に故障箇所を判断させていただくためにご記入をお願いするものです。本書の「故障かな?と思ったら」(● 136ページ)をご覧ください、それでもトラブルが回避できない場合、本シートをご活用いただき、具体的な症状をNECプロジェクタ・カスタマサポートセンターの受付担当者へお伝えください。

※このページと次のページをコピーしてお使いください。

発生頻度 ☐ 常時 ☐ 時々(回中 回) ☐ その他()

電源関係

- | | |
|---|---|
| ☐ 電源が入らない(POWERインジケータが緑色に点灯しない)。 <ul style="list-style-type: none">☐ 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。☐ 主電源スイッチは「入」になっている。☐ ランプカバーは正しく取り付けられている。☐ ランプを交換した場合、ランプ時間をクリアした。☐ (POWER)ボタンを2秒以上押しても電源が入らない。 | ☐ 使用中、電源が切れる。 <ul style="list-style-type: none">☐ 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。☐ ランプカバーは正しく取り付けられている。☐ パワーマネージメント機能のある機種においてパワーマネージメントは「動作」に設定されている。 |
|---|---|

映像・音声関係

- | | |
|---|---|
| ☐ パソコンの画面が投写されない。 <ul style="list-style-type: none">☐ パソコンと本機を接続したあとにパソコンを起動してもなおらない。☐ ノートパソコンにおいて外部出力信号が出力されている。
PC98-NXシリーズ、DOS/V対応機の場合は、[fn]キー+[F1]～[F12]キーのいずれかを押すと外部出力信号が出力されます(パソコンによって異なります)。 ☐ 映像が出ない(ブルーバック・ロゴ・表示なし)。 <ul style="list-style-type: none">☐ (AUTO ADJUST)ボタンを押してもなおらない。☐ [リセット]を実行してもなおらない。☐ 入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。☐ 画面に何かメッセージが出ている。
()☐ 接続している入力を選択している。☐ 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。☐ 入力是对应している解像度・周波数の信号である。 ☐ 映像が暗い。 <ul style="list-style-type: none">☐ 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。 | ☐ 映像が歪む。 <ul style="list-style-type: none">☐ 台形に歪む(台形補正を実行してもなおらない)。 ☐ 映像が切れる。 <ul style="list-style-type: none">☐ (AUTO ADJUST)ボタンを押してもなおらない。☐ [リセット]を実行してもなおらない。☐ 水平または垂直方向に映像がずれる。☐ コンピュータ映像入力の場合、水平位置・垂直位置は正しく調整されている。☐ 入力是对应している解像度・周波数の信号である。☐ 数ドット欠けている。 ☐ 映像がチラつく。 <ul style="list-style-type: none">☐ (AUTO ADJUST)ボタンを押してもなおらない。☐ [リセット]を実行してもなおらない。☐ コンピュータ映像入力力で文字がチラついたり、色がずれている。 ☐ 映像がぼやける・フォーカスが合わない。 |
| ☐ リモコンが効かない。 <ul style="list-style-type: none">☐ リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。☐ 蛍光灯の近くに本体が設置されている。☐ リモコン受光部設定のある機種においてリモコン受光部設定は「有効」に設定されている。 | ☐ 音声が出ない。 <ul style="list-style-type: none">☐ 音声入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。☐ 音量を調整してもなおらない。 |

その他

- | | |
|--|--|
| ☐ リモコンが効かない。 <ul style="list-style-type: none">☐ リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。☐ 蛍光灯の近くに本体が設置されている。☐ リモコン受光部設定のある機種においてリモコン受光部設定は「有効」に設定されている。 | ☐ 本体操作パネルのボタンが効かない。
[本体キーロック]設定のある機種において <ul style="list-style-type: none">☐ 本体キーロック設定は「非動作」または「無効」に設定されている。☐ 本体の (CANCEL)ボタンを10秒以上押してもなおらない。 |
|--|--|

症状を具体的に記入してください。

使用状況・環境

プロジェクタ

形名：MT1075J

製造番号：

購入時期：

ランプ使用時間：

ランプモード：☐ノーマル☐エコ

入力信号情報：

水平同期周波数[kHz]

垂直同期周波数[Hz]

同期極性H☐(+)☐(-)

V☐(+)☐(-)

同期形態☐セパレート☐コンポジット

☐シンク オン グリーン

STATUSインジケータの状態

点灯(オレンジ・緑)

点滅(回周期)

設置環境

スクリーンサイズ： 型

タイプ：☐ホワイトマット☐ビーズ☐偏光

☐広視野角☐ハイコントラスト

投写距離： m

投写方法：☐天吊り☐床置き

電源コンセントは？

☐壁からのコンセントを直接利用している。

☐電源用テーブルタップを利用している。

(他、接続機器の数： 台)

☐電源ドラム(ロール式)を利用している。

(他、接続機器の数： 台)

コンピュータ

メーカー：

形名：

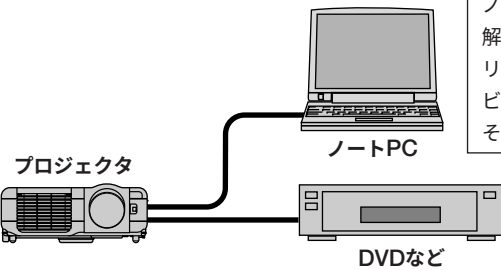
ノートPC・デスクトップ一体型

解像度：

リフレッシュレート：

ビデオボード：

その他：



信号ケーブル

純正・その他

(形名： 長さ： m)

分配器

形名：

スイッチャ

形名：

アダプタ

形名：

接続機器

ビデオ・DVD・カメラ・ゲーム・その他

メーカー：

形名：

保証と修理サービス(必ずお読みください)

●保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

●保証期間

- ・本体：お買い上げ日から1年間です。
- ・本体に付属のランプ：次の(1)と(2)の早いほうまでです。

(1) お買い上げ日から6か月間。

(2) ランプ残量(☉ 125ページ)が50%になるまで。

●補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このプロジェクタの補修用性能部品を製造切後、最低8年保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問はお買い上げの販売店またはNECプロジェクタ・カスタマサポートセンターにお願いいたします。

●修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(☉ 136ページ)に従って調べていただき、あわせて「トラブルチェックシート」(☉ 148、149ページ)で現象を確認してください。

その上でなお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはNECプロジェクタ・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

●保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	投映型フルカラープロジェクタ
形名	MT1075J
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

べんりメモ	お買い上げ店名	☎ () -
-------	---------	---------

修理料金の仕組み

・技術料

故障した製品を正常に修復するための料金です。

技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

+

・部品代

修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

+

・引取費用

製品を引き取りするための費用です。

海外でご使用になる場合：トラベルケアのご紹介

この商品には、NECビューテクノロジーの国際保証「トラベルケア」が適用されています。

なお、このトラベルケアの内容は、お買い上げ時に、本機に添付された保証書の記載内容とは一部異なります。

●トラベルケアで受けられるサービス

本保証では、出張や旅行などの理由により一時的に海外に本機を持ち出した場合につき、本書に記載された国のNECビューテクノロジー指定サービスステーションで下記のサービスを受けることができます。

本サービスをご利用の際は、本書記載のトラベルケア窓口リストの各サービスステーションに電話もしくはEメールにてご連絡いただいたあと、巻末に添付されている申し込み用紙"Application Sheet for TravelCare Service Program" に必要事項をご記入のうえ、FAXにて送信してください。

各サービスステーションのサービス内容については、トラベルケア窓口リストにてご確認ください。

1 修理サービス

輸送期間を除く、実働10日以内に修理してお届けいたします。

保証期間内の場合は、保守部品代、修理工賃、および各サービスステーションの対応地域内のお届けにかかる輸送費が保証範囲です。

2 代替機貸出サービス

お客様の製品修理の間、ご希望があれば有償にて代替機を貸し出しいたします。

料金：12日間US\$ 200 -

料金は、現地のサービスステーションにて現金またはクレジットカードにてお支払いください。

代替機は、実働3日以内にお届けいたします。

ただし、本サービスが受けられない国または地域がございますので、トラベルケア窓口リストにてご確認ください。

また、保証期間を経過している場合は、代替機貸出サービスは受けられません。

輸出に関する注意事項

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、日本国および外国の法に基づいて許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、NECプロジェクタ・カスタマサポートセンター(☎ 153ページ)にお問い合わせください。

●保証期間

1 a お買い上げ時の保証書またはレシートをご提示いただいた場合：

保証書に記載された期間、もしくはご購入された国の通常の保証期間まで有効。

b 本機のみ持ち込まれた場合：

本機に貼付されている製造番号 (SERIAL NO.) の製造年月より14か月以内。

2 保証期間を経過した製品を持ち込まれた場合：

有償にて修理対応いたします。ただし、代替機貸出サービスは受けることはできません。

3 次のような場合には、保証期間中でも有償修理になる場合があります。

- 1) 保証書に、お買い上げ日、形名、および製造番号 (SERIAL NO.)、販売店名の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
- 2) お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損傷の場合。
- 3) お客様による使用上の誤り、あるいは不当な改造、修理による故障および損傷。
- 4) 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
- 5) 高温・多湿の場所、車輛、船舶等で使用された場合に生ずる故障および損傷。
- 6) 本機に接続している当社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損傷。
- 7) 正常なご使用状態のもとで部品が自然消耗、磨耗、劣化により故障した場合。
- 8) ランプ等の消耗品、および添付品、オプション品が故障および損傷した場合。
- 9) その他、本機に添付された保証書の保証規定が適用されます。



注意

海外でご使用になる場合は、使用する国の規格・電源電圧に適合する電源コードを使用することにより100-240Vで使用可能です。

使用する国の規格・電源電圧に適合する電源コードを必ず使用してください。

詳細に関しては、NECプロジェクタ・カスタマサポートセンター(次ページ参照)までお問い合わせください。

● トラベルケア窓口リスト

このリストは、2004年4月1日現在のものです。

最新の連絡先に関しては、トラベルケア窓口リストに記載されている各国のサービスステーションのホームページもしくは当社**ViewLight CLUB**ホームページ<http://www.nevt.co.jp/vlclub/>をご覧ください。

また、詳細に関しては、NECプロジェクト・カスタマサポートセンターまでお問い合わせください。

NECプロジェクト・カスタマサポートセンター 0120-610-161

(受付9:00~12:00、13:00~17:00、土・日・祝祭日、および当社指定日は除く)

〔欧州〕In Europe

NEC Europe, Ltd. / European Technical Centre

Address: Unit G, Stafford Park 12, Telford TF3 3BJ, U.K.

Telephone: +44 1952 237000

Fax Line: +44 1952 237006

Email Address: AFR@uk.necEUR.com

WEB Address: <http://www.necEUR.com>

(対応地域) <Regions Covered>

EU: Austria*, Belgium*, Denmark*, Finland*, France*, Germany*, Greece*, Ireland*, Italy*, Luxembourg*, The Netherlands*, Portugal*, Spain*, Sweden* and the United Kingdom*

EEA: Norway*, Iceland and Liechtenstein

〔北米〕In North America

NEC Solutions (America), Inc.

Address: 1250 N. Arlington Heights Road, Itasca, Illinois 60143, U.S.A.

Telephone: +1 800 836 0655

Fax Line: +1 800 356 2415

Email Address: vsd.tech-support@necsam.com

WEB Address: <http://www.necvisualsystems.com>

(対応地域) <Regions Covered>

U.S.A.*, Canada*

〔大洋州〕In Oceania

NEC Australia Pty., Ltd.

Address: 84A Richmond Road, Keswick SA 5035, Australia

Telephone: 13 16 32(オーストラリア国内からかける場合)
61 8 8375 5706(オーストラリア国外からかける場合)

Fax Line: 61 8 8375 5757

Email Address: lee.gramola@nec.com.au

WEB Address: <http://www.nec.com.au>

(対応地域) <Regions Covered>

Australia*, New Zealand

*: 代替機貸出サービスが受けられます。

〔アジア・中近東〕In Asia and Middle East

NEC Hong Kong Ltd.

Address: 11th Floor, Tower B, New Mandarin Plaza, 14 Science Museum Road,
Tsim Sha Tsui East, Kowloon, Hong Kong
Telephone: +852 2369 0335
Fax Line: +852 2795 6618
Email Address: esmond_au@nechk.nec.com.hk
WEB Address: <http://www.nec.com.hk>

(対応地域) <Regions Covered>

Hong Kong

NEC Taiwan Ltd.

Address: 7F, No.167, SEC.2, Nan King East Road, Taipei, Taiwan, R.O.C.
Telephone: +886 2 8500 1734
Fax Line: +886 2 8500 1420
Email Address: weblord@nec.com.tw
WEB Address: <http://www.nec.com.tw>

(対応地域) <Regions Covered>

Taiwan

NEC Solutions Asia Pacific Pte. Ltd

Address: 401 Commonwealth Drive, #07-02, Haw Par Technocentre,
Singapore 149598
Telephone: +65 6 273 8333
Fax Line: +65 6 274 2226
Email Address: tehgh@rsc.ap.nec.com.sg
WEB Address: <http://www.nec.com.sg/ap>

(対応地域) <Regions Covered>

Singapore

NEC Systems Integration Malaysia Sdn Bhd

Address: Ground Floor, Menara TA One, 22, Jalan P. Ramlee, 50250 Kuala
Lumpur, Malaysia
Telephone: +6 03 2164 1199
Fax Line: +6 03 2160 3900
Email Address: necare@nsm.nec.co.jp
WEB Address: <http://www.necmalaysia.com.my>

(対応地域) <Regions Covered>

Malaysia

Nautilus Hyosung Inc.

Address: 7th Floor, Cheongdam Building, 52, Cheongdam-Dong, Kangnam-
Ku, Seoul, Korea 135-100
Telephone: +82 2 510 0234
Fax Line: +82 2 540 3584
Email Address: hds-ykc@hyosung.com

(対応地域) <Regions Covered>

South Korea

Lenso Communication Co., Ltd.

Address: 292 Lenso House 4, 1st Floor, Srinakarin Road, Huamark, Bangkok,
Bangkok 10240, Thailand
Telephone: +66 2 375 2425
Fax Line: +66 2 375 2434
Email Address: pattara@lenso.com
WEB Address: <http://www.lenso.com>

(対応地域) <Regions Covered>

Thailand

ABBA Electronics L.L.C.

Address: Tariq Bin Ziyad Road, P.O.Box 327, Dubai, United Arab Emirates
Telephone: +971 4 371800
Fax Line: +971 4 364283
Email Address: ABBA@emirates.net.ae

(対応地域) <Regions Covered>

United Arab Emirates

Samir Photographic Supplies

Address: P.O.Box 599, Jeddah 21421, Saudi Arabia
Telephone: +966 2 6828219
Fax Line: +966 2 6830820
Email Address: vartkes@samir-photo.com

(対応地域) <Regions Covered>

Saudi Arabia

Date: / / ,

P-1 / ,

TO: NEC Viewtechnology's Authorized Service Station:

FM:

(Company & Name with signature)

Dear Sir (s),

I would like to apply your TravelCare Service Program and agree with your following conditions, and also the Service fee will be charged to my credit card account, if I don't return the Loan units within the specified period. I also confirm the following information is correct.

Regards.

Application Sheet for TravelCare Service Program

Country, product purchased:	
User's Company Name:	
User's Company Address: Phone No., Fax No.:	
User's Name:	
User's Address: Phone No., Fax No.:	
Local Contact office:	
Local Contact office Address: Phone No., Fax No.:	
User's Model Name:	
Date of Purchase:	
Serial No. on cabinet:	
Problem of units per User:	
Required Service:	(1) Repair and Return (2) Loan unit
Requested period of Loan unit:	
Payment method:	(1) Credit Card (2) Travelers Cheque (3) Cash
In Case of Credit Card: Card No. w/Valid Date:	

Condition of your TravelCare Service Program

Enduser is requested to understand the following conditions of TravelCare Service Program and fill necessary information into the application sheet.

1. Service Options:

There are 3 types of “Service” available. Enduser has to understand the following conditions and is required to fill in the Application sheet.

(1). Repair and Return:

The ‘Faulty unit’ is sent or collected from the customer. It is repaired and returned within 10 days to the customer, excluding transport time.

There may have a case, repair and return can’t be done by Local Service Station, because of shortage of spare parts due to same model is not sold in the territory.

(2). Repair and Return with Loan: (This service is limited to some Service Stations)

This service is offered to the Enduser, who cannot wait until their unit is repaired. The customer can borrow a unit for \$200 up to 12 days. Customer then sends in inoperable unit to nearest NEC Viewtechnology’s Authorised Service Station for service. In order to prevent collection problem, Enduser is required to fill in Application Sheet.

Enduser needs to confirm the availability of the Service to Local Service Stations.

(3). Loan Only:

For this service, the local NEC Viewtechnology’s Authorised Service Station supplies the customer with a loan unit for US\$200 up to 12 days. Customer keeps the inoperable unit and when customer returns home, customer arranges to have the projector serviced in the home country.

2. Warranty Exclusions:

This program does not apply if the Projector’s serial number has been defaced, modified or removed.

If, in the judgement of the NEC Viewtechnology’s Authorised Service Station or its agent the defects or failures result from any cause other than fair wear and tear or NEC Viewtechnology’s neglect, or fault including the following without limitation:

- 1) Accidents, transportation, neglect, misuse, abuse, water, dust, smoke or default of or by the Customer its employees or agents or any third party;
- 2) Failure or fluctuation of electrical power, electrical circuitry, air conditioning, humidity control or other environmental conditions such as use it in smoking area;
- 3) Any fault in the attachments or associated products or components (whether or not supplied by NEC Viewtechnology or its agents which do not form part of the Product covered by this warranty);
- 4) Any act of God, fire, flood, war, act of violence or any similar occurrence;
- 5) Any attempt by any person other than any person authorised by NEC Viewtechnology to adjust, modify, repair, install or service the product.
- 6) Any Cross-border charges such as, duty, insurance, tax etc.

3. Charges for Warranty Exclusions and Out of Warranty Case:

In case faulty unit is under warranty exclusions case or under Out of Warranty period, Local Service Station will Inform estimation of actual service cost to the Enduser with reason.

4. Dead on Arrival (DOA):

Enduser must take this issue up with their original supplier in the country of purchase. Local Service Station will repair the DOA unit as a Warranty repair, but will not exchange DOA unit with new units.

5. Loan Service Charges and Conditions:

Upon acceptance of this NEC Projector, Customer agrees to assume liability for this “loan” replacement unit.

The current cost of use of this loan unit is \$200.00 USD for 12 calendar days.

If Customer does not return the unit within the 12 calendar days, Customer will be charged the next highest cost up to and including the full list price to Credit Cards, which price will be informed by NEC Viewtechnology’s Authorized Service Stations.

Please see the attached listing of contacts for each country to arrange for pickup of the ‘loan’ unit.

If you return to their country of origin with the ‘loan’ unit, you will be charged additional freight to return the unit to the loaning country.

Thank you for your understanding of this program.

索引

数字／アルファベット

3Dリフォーム	38,41,98
3Dリフォーム保存	109
4点補正	41,98
AC IN端子	15
CD-ROM	13
Dynamic Image Utility	61,64
HTTPサーバ	134
IPアドレス	115
LAMPインジケータ	16,140
LANカード	114
LANモード	114
PCカードアクセスインジケータ	16,66
PCカードスロット	18,65
PCカード取り出しボタン	18,65
POWERインジケータ	16,139
RGB OUT端子設定	106
RGB信号ケーブル	13,26
SMTPサーバ名	118
sRGB	96
SSID	116
STATUSインジケータ	16,139
S-ビデオモード	110
USBケーブル	13,57
USBハブ	61
USBマウス	55
USBメモリ	62
USBメモ리카ードリーダー	62
WEP	117

五十音

【ア行】	
アイドルモード	109
アスペクト	91
宛先アドレス	118
アドバンスメニュー	80
アドホック	116
位置・周波数	93
イメージセンサ	14,99
色温度	97
色補正	97
英数字の入力方法	84
映像調整	90
エコモード	111,125

オートスクエアショット	53,113
オートスタート	108
オートフォーカス	40,112
オーバースキャン	95
オンスクリーンメニュー	80
オンスクリーンメニュー一覧	85
音声調整	91
温度プロテクタ	140

【力行】

解像度	94,143
拡大	51
カスタムメニュー	80
カスタムメニュー編集	103
画像設定	91
壁色補正	99
壁色補正用スクリーン	100
ガンマ補正	97
キー選択	117
キーワード	120
機器設定	98
キャプチャ	70,123
キャプチャオプション	107
キャリングハンドル	14
吸気口	14,15
クローズドキャプション	106

【サ行】

差出人アドレス	118
自動調整	43,108
自動調整選択	112
主電源スイッチ	15,35,45
状態	119
情報	125
初期入力選択	111
信号形式	95
信号選択	87,107
信号リスト	87,88
スクエアショット	113
スクリーンサイズ	25,141
スクリーン設定	112
スクリーンタイプ	112
スクロールボタン	56
スピーカ	15,43
スライド	67
スリープタイマー	123

静止画	49	フィルタ	15,128,132
セキュリティ	120	フィルタ使用時間クリア	109
接続端子部	15	フォルダ	67
セットアップ	104	フラッシュメモリカード	65,67
説明(ヘルプ)	52	ブランキング	92
送信テスト	118	プロジェクトモード	48
【タ行】		ベーシックメニュー	80
対応解像度一覧	143	ヘルプ	124
台形補正	98	ポインタ	50,103
ダミーカード	18,65	ホワイトバランス	97
単3乾電池	13,20	本体キーロック	111
チャンネル	116	本体操作部	14
チョークボード	58	【マ行】	
長寿命ランプ	111,125,130	マウス	55,57
チルトフット	14,38,39	マウス設定	107
チルトレバー	14,39	マウスポインタ	103
通信速度	110,116	無線LANカード	114
通信モード	116	メール通知	118
ツール	123	メッセージ	104
データリセット	126	メニュー設定	102
電源オフ確認メッセージ	108	メニュー表示色選択	104
電源コード	13,32	メニューモード	81,102
投写距離	25,141	【ラ行】	
投写方法	104	ランプカバー	15,130
盗難防止用ロック	14	ランプ種類	111
【ナ行】		ランプ使用時間	125,132
内蔵スピーカ	109	ランプ設定	111
入力端子表示	104	ランプモード	111
ノイズリダクション	95	リモコン	13,18
【ハ行】		リモコンケーブル	13,21
排気口	14	リモコン受光部	14,15
パスワード	119	リモコン受光部設定	110
パソコンモード	48	レーザーの発光を禁止する	44
バックグラウンド	105	レーザーポインタ	44
バックグラウンドロゴ	76	レンズ	14,128
パワーマネージメント	108	レンズキャップ	13,14,15
ピクチャーマネージメント	96	レンズキャップ用ヒモ	13
ビデオ帯域フィルタ	95	ロゴ	76,105
ビューワ	64,67		
ビューワオプション	106		
表示位置	112		
表示言語	102		
表示時間	103		
標準ランプ	111,125,130		
ファイル選択	74		
ファン高速モード	109		

輸出に関する注意事項

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、日本国および外国の法に基づいて許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、NECプロジェクタ・カスタマサポートセンター(☎ 裏表紙)にお問い合わせください。

投映型フルカラープロジェクタ

MT1075J

取扱説明書

2004年4月 初版

NECビューテクノロジー株式会社

もう入会はお済みですか？

ビューライトクラブ



インターネット上にViewLight CLUBのホームページを設けています。

<http://www.nevt.co.jp/vlclub/>

お問い合わせは

NECプロジェクタ・カスタマサポートセンター
0120-610161

受付9:00～12:00 13:00～17:00
(土・日・祝祭日、および当社指定日は除く)

NECビューテクノロジー株式会社

第二販売推進本部

〒108-0014 東京都港区芝五丁目37番8号 住友三田ビル

TEL (03) 5232-6148(ダイヤルイン)



古紙配合率100%再生紙を使用しています



大豆油インキを使用しています

7N8P4491